3-211-319-04 (1)

SONY

Data Projector

簡易説明書	JP
Quick Reference Manual	GB
Guide de référence rapide	FR
Manual de referencia rápida	ES
Kurzreferenz	DE
Guida rapida all’uso	IT
快速参考手册	CS

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この簡易説明書と別冊の「安全のために」および付属のCD-ROMに入っている**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-CX100
VPL-CX120/CX125
VPL-CX150/CX155
VPL-CW125

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「203」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/

この説明書は、再生紙を使用しています。
待機時消費電力：0.5 W
キャビネットおよびプリント配線板にハロゲン系難燃剤を不使用
包装用緩衝材に段ボールを使用
Printed on recycled paper.
Standby power consumption: 0.5 W.
Halogenated flame retardants are not used in cabinets and printed wiring boards.
Corrugated cardboard is used for the packing cushions.

Sony Corporation Printed in Japan

付属の説明書について

本機は、以下の説明書とソフトウェアを付属しています。
Macintoshでは、取扱説明書のみご覧いただけます。

説明書

安全のために（別冊）

本機を取り扱う際に事故を防ぐための重要な注意事項を記載しています。

簡易説明書（本書）

本機を接続してから映すまでの、簡単な操作方法を説明しています。

取扱説明書（CD-ROMに収録）

この説明書には本機の操作方法や接続のしかたが記載されています。

取扱説明書（ネットワーク編）（CD-ROMに収録）

ネットワークの設定と使用方法が記載されています。

ソフトウェア（CD-ROMに収録）

Projector Station for Air Shot Version 2 （Version 2.xx）（日本語・英語のみ）

コンピューターの画像をプロジェクターへ転送するためのアプリケーションソフトウェアです。

この説明書について

この説明書では、本機を接続してから映すまでの簡単な操作方法を説明しています。
また使用上のご注意やメンテナンスの際に必要な情報が記載されています。
操作方法について詳しくは、付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書をご覧ください。
また安全のための注意事項は、別冊の「安全のために」をご覧ください。
この取扱説明書では、VPL-CX100、VPL-CX120、VPL-CX125、VPL-CX150、VPL-CX155、VPL-CW125を一緒に説明しています。説明中のイラストは主にVPL-CX155を使用しております。

CD-ROM 取扱説明書の見かた

付属の CD-ROM には、ReadMe および取扱説明書が収録されています（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語）。まず最初に ReadMe をご覧ください。

準備

付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書を読むためには、Adobe Acrobat Reader5.0 以降が必要です。
Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。（無料）

取扱説明書を読むには

付属のCD-ROMを、コンピュータのCD-ROM ドライブにセットしてください。しばらくすると、CD-ROM が自動的に起動します。読みたい取扱説明書を選んでください。取扱説明書のファイルは、CD-ROM の中に収録されています。
お使いのコンピュータによっては、CD-ROM が自動的に起動しない場合があります。
以下の手順で、取扱説明書のファイルを直接開いてください。

（Windows の場合）

① 「マイコンピュータ」を開く。
② 「CD-ROM」のアイコンを右クリックして「エクスプローラ」を選ぶ。
③ ウィンドウの中で「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

（Macintosh の場合）

① デスクトップの「CD-ROM」アイコンをダブルクリックする。
② 「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

ご注意

index.htm ファイルが開かない場合は、「Operating_Instructions」フォルダから読みたい取扱説明書を選んでダブルクリックしてください。

JP

商標について

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- Macintosh は Apple Computer Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。
- Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国及び各国での登録商標です。

使用上のご注意

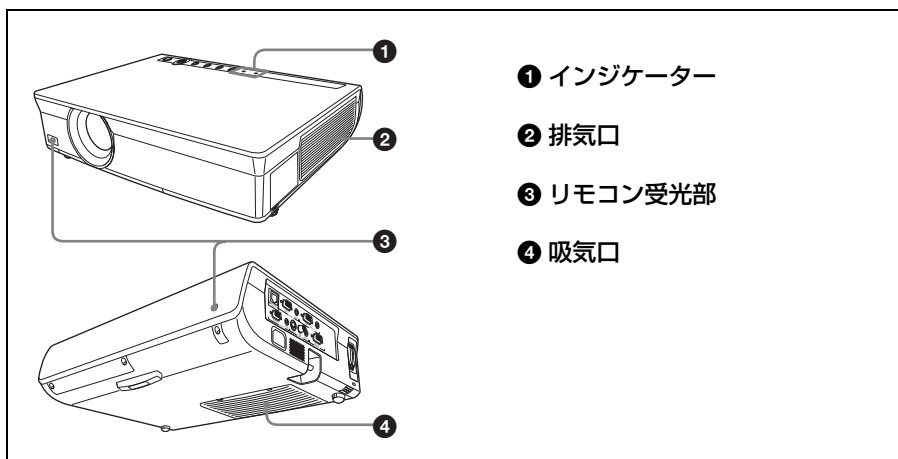
吸気・排気口についてのご注意

吸気・排気口をふさがないでください。吸気・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。以下イラストにて吸気・排気口の位置をご確認ください。

❶ インジケーター

❷ 排気口

❸ リモコン受光部

❹ 吸気口

画像を映す

接続する

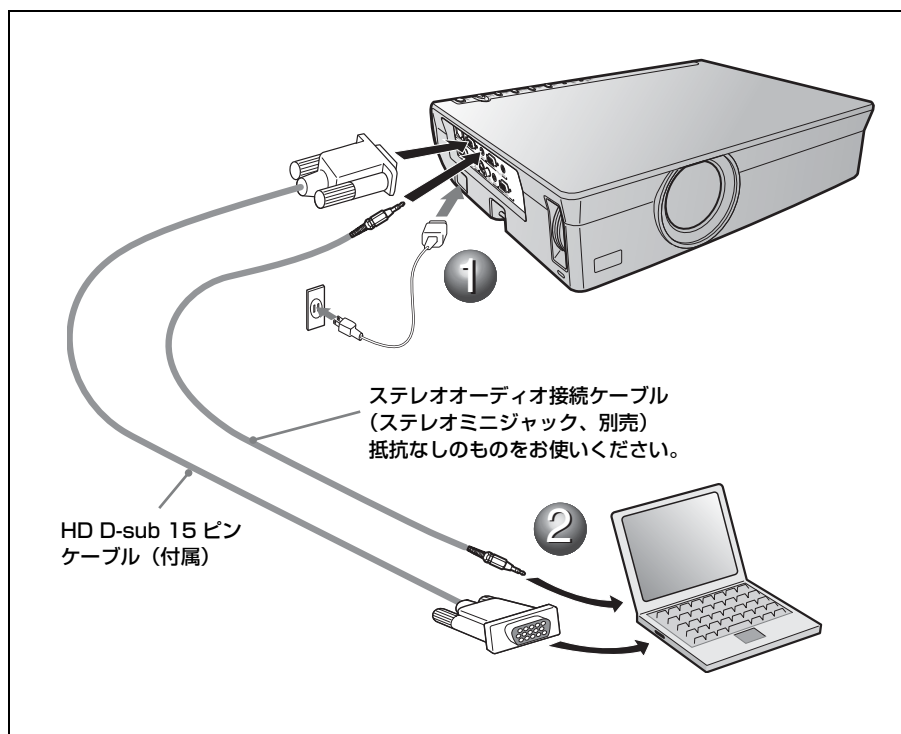
接続するときは

・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

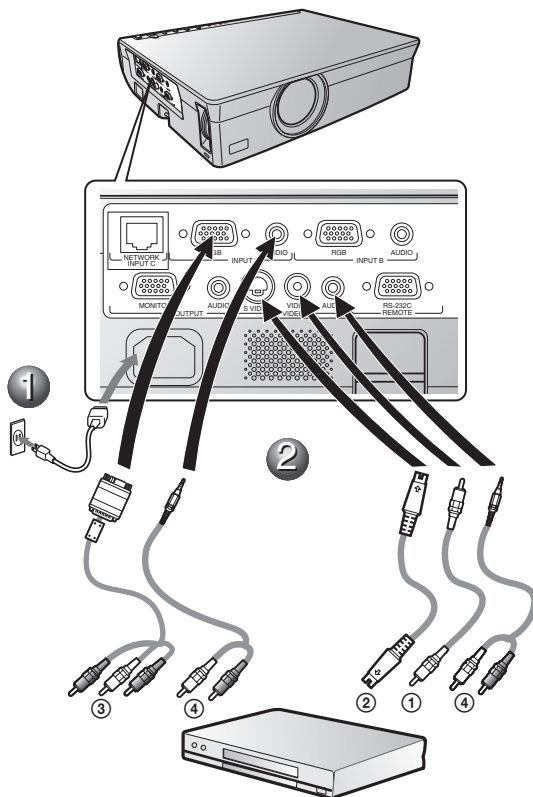
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンピューターとの接続

❶ 本機の電源ケーブルをコンセントに差し込む。

❷ 本機とコンピューターをケーブルでつなぐ。

ビデオ・DVD 機器との接続

❶ 本機の電源ケーブルをコンセントに差し込む。

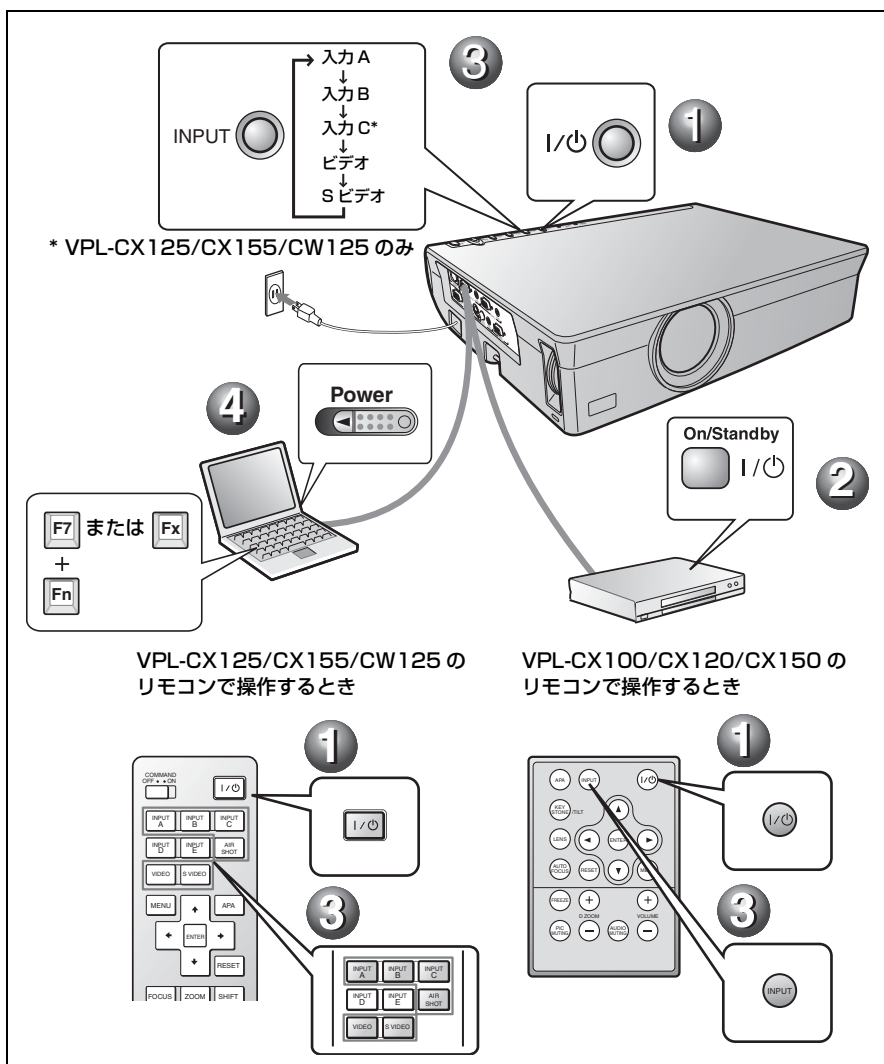
❷ 本機とビデオ機器をケーブルでつなぐ。
映像信号入力には以下の３通りの方法があります。
ビデオ機器の映像出力端子と接続するとき：① と ④ のケーブルで接続します。
ビデオ機器の S 映像出力端子と接続するとき：② と ④ のケーブルで接続します。
ビデオ機器のビデオ GRB/ コンポーネント出力端子と接続するとき：③ と ④ のケーブルで接続します。

① コンポジットビデオ（ピンジャック）ケーブル（別売）
② S ビデオ（MiniDIN4-pin）ケーブル（別売）
③ コンポーネント（HD D-sub15 ピン（凸）←→ ３ ×ピンジャック）ケーブル（別売）
④ ステレオオーディオケーブル（ステレオミニジャック−ピンジャック、別売）（抵抗なしのものをお使いください。）

映す

❶ I/⏻（オン / スタンバイ）キーを押す。

❷ 接続している機器の電源を入れる。

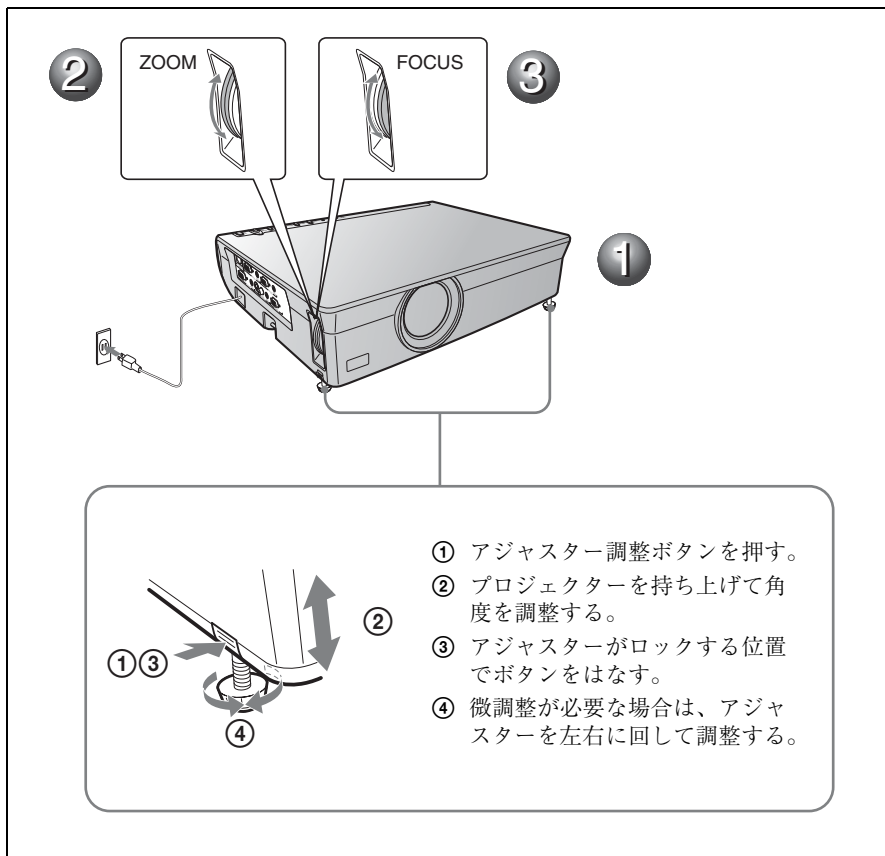
❸ リモートコマンダーまたはコントロールパネルの INPUT キーを押して、映したい画像を選ぶ。

❹ コンピューターとの接続時は映像信号の出力先を切り換える。

調整する

❶ **画像の上下の位置を調整する。**

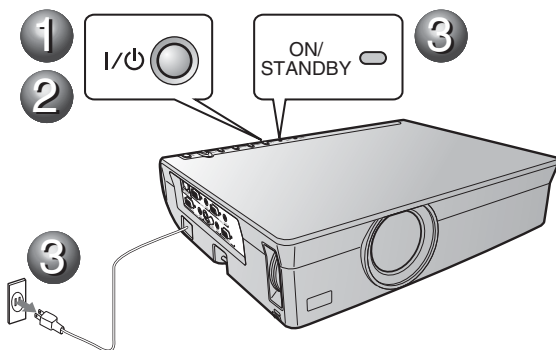
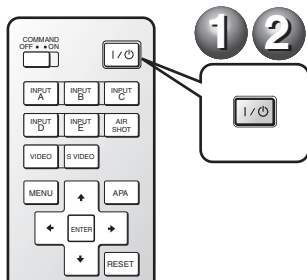
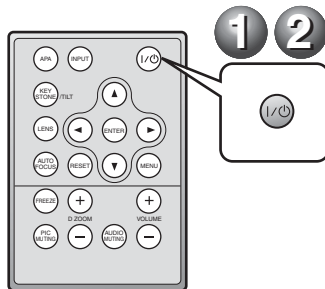
❷ **画像の大きさを調整する。**

❸ **画像のフォーカスを調整する。**

画質モードを選べる画質設定メニューや、最適な画面のアスペクト比（縦横比）を選べる信号設定メニューがあります。

電源を切る

❶ I/⏻(オン / スタンバイ）キーを押す。

❷ メッセージが表示されたらもう一度 I/⏻(オン / スタンバイ）キーを押す。

❸ ファンが止まり、ON/STANDBY（オン / スタンバイ）インジケーターが赤く点灯したら、電源コードを抜く。

ランプを交換する

光源として使用されているランプは消耗品ですので、次のような場合は新しいランプと交換してください。

・光源のランプが切れたとき
・光源のランプが暗くなったとき
・「ランプを交換し、フィルターを掃除してください。」というメッセージが表示されたとき
・LAMP/COVER インジケーターが点滅したとき（3回点滅パターンの繰り返し）

ランプ交換時期はその使用条件によって変わってきます。
交換ランプは、別売のプロジェクターランプLMP-C200をお使いください。
それ以外のものをお使いになると故障の原因になります。

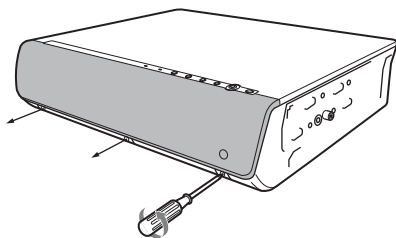
ご注意

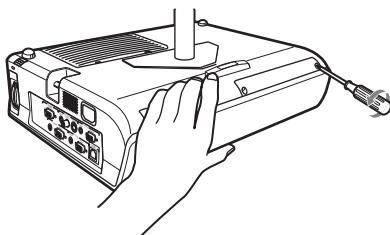
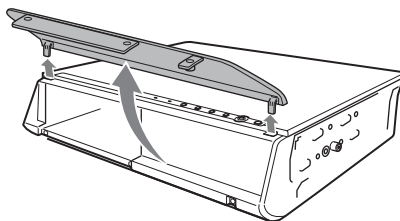
ランプが破損している場合は、テクニカルインフォメーションセンターにランプの交換と内部の点検を依頼してください。ご相談ください。

1 **本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。**

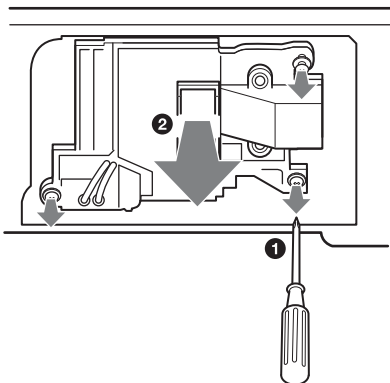
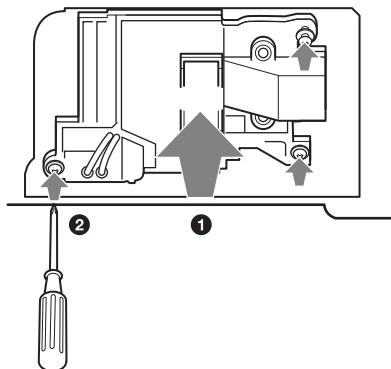
ご注意

本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1時間以上たってからランプを交換してください。

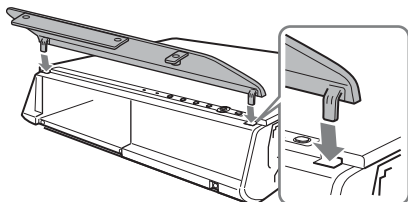
2 **ランプカバーのネジ（3本）をプラスドライバーでゆるめる。**

ご注意

本機を天井に吊るしたまま作業をする場合は、ネジをゆるめるときにランプカバーが落下しないよう手で押さえてください。

3 **ランプカバーの下部に指をかけ、手前に引き上げるようにしてランプカバーをはずす。**

4 **ランプのネジ（3本）をプラスドライバーでゆるめ（❶）、取り出し用ノブをつまんで（❷）ランプを引き出す。**

ご注意

ランプを取りはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。

5 **新しいランプを確実に奥まで押し込み（❶）、ネジ（3本）を締める（❷）。**

ご注意

・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 **ランプカバーを元の位置にもどし、ネジ（3本）をプラスドライバーで締める。**

ご注意

ランプカバーはしっかりと取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。

7 **電源コードを接続する。**
ON/STANDBY インジケーターが赤色に点灯します。

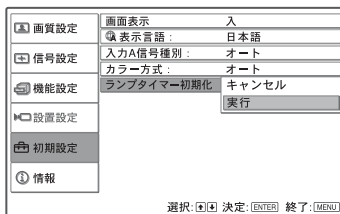
8 **I/⏻ キーを押して電源を入れる。**

9 **MENU キーを押して初期設定メニューを選ぶ。**

10 **「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER キーを押す。**

画質設定
信号設定
機能設定
設置設定
初期設定
情報

画面表示	入
表示言語：	日本語
入力A信号種別：	オート
カラー方式：	オート
ランプタイマー初期化	キャンセル
	実行

選択:⬆⬇ 決定:ENTER 終了:MENU

11 **▼キーで「実行」を選び、ENTER キーを押す。**
ランプタイマーが0に初期化され、「ランプを交換し、フィルターを掃除しましたか？」というメッセージが表示されます。

ランプを交換し、フィルターを掃除しましたか？
はい:⬆ いいえ:⬇

フィルター掃除のしかたは、次の「エアーフィルターをクリーニングする」を参照してください。

12 **▲キーで「はい」を選ぶ。**
「ランプタイマー初期化が完了しました」というメッセージが表示されます。

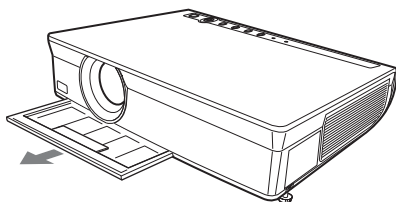
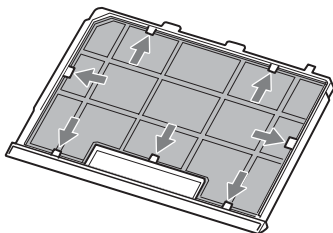
ご注意

メッセージを消す場合は、リモートコマンダーまたはコントロールパネルのいずれかのキーを押してください。

エアーフィルターをクリーニングする

ランプ交換と合わせてエアーフィルターのクリーニングが必要です。エアーフィルターを取りはずし、掃除機で掃除してください。
クリーニング時期は目安です。使用環境や使いかたによって異なります。

1 **電源を切り、電源コードを抜く。**

2 **エアーフィルターカバーを手前に引き出して取りはずす。**

3 **エアーフィルターをエアーフィルターカバーのつめ（7 か所）からはずす。**

4 **掃除機でエアーフィルターを掃除する。**

5 **エアーフィルターをエアーフィルターカバーのつめ（7 か所）にはめこむ。**

ご注意

エアフィルターには表裏があります。図のように、エアフィルターの格子部を上面に見えるように装着してください。

6 **エアーフィルターカバーをもとのところに差し込んで取り付ける。**

ご注意

・フィルターを掃除機で掃除しても汚れが落ちないときは、新しいフィルターに交換してください。新しいフィルターについては、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。
・エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。
・メッセージを消す場合は、リモートコマンダー、または、コントロールパネルのいずれかのキーを押してください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。症状について詳しくは、CD-ROM 内の取扱説明書をご覧ください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・I / ⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 ➔ 約 60 秒たってから電源を入れてください。 ・ランプカバーがはずれている。 ➔ ランプカバーをしっかりとはめてください。 ・エアーフィルターカバーがはずれている。 ➔ エアーフィルターカバーをしっかりとはめてください。

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔ 接続を確認してください。 ・入力切り換えが正しくない。 ➔ INPUT キーで正しく選んでください。 ・映像が消画（ミューティング）されている。 ➔ PIC MUTING キーを押して、ミューティングを解除してください。 ・出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔ 出力信号をコンピューターの外部モニターのみに出力するように設定してください。 ➔ ノートタイプや液晶一体型のコンピューターを接続したときには、キーや設定によって映像の出力先を切り換える必要があります。 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
画面にノイズが出る。	・入力信号のドット数と LCD パネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることがある。 ➔ お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。

症状	原因と対処
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔ フォーカスを合わせてください。 ・結露が生じた。 ➔ 電源を入れたまま約2時間そのままにしておいてください。
画像がスクリーンからはみでている。	・画像のまわりに黒い部分が残っている状態でAPAキーを押した。 ➔ スクリーンいっぱいに画像を映してからAPAキーを押してください。 ➔ 信号設定メニューの「シフト」で正しく調整してください。
画面がちらつく。	・信号設定メニューの「ドットフェーズ」の設定が合っていない。 ➔ 信号設定メニューの「ドットフェーズ」の数値を設定しなおしてください。

インジケーター一覧

メッセージ	意味と対処
LAMP/COVERインジケーターがオレンジ色点滅する。（2回点滅パターンの繰り返し）	・ランプカバーまたはエアーフィルターカバーがはずれている。 ➔ カバーをしっかりはめてください。
LAMP/COVERインジケーターがオレンジ色点滅する。（3回点滅パターンの繰り返し）	・ランプの交換時期がきた。 ➔ ランプを交換してください。 ・ランプが高温になっている。 ➔ 60秒以上たって、ランプが冷えてから、もう一度電源を入れてください。
ON/STANDBYインジケーターが赤色点滅する。（2回点滅パターンの繰り返し）	・内部が高温になっている。 ➔ 排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。 ・標高が高い場所で使用されている。 ➔ 高地モードが「入」に設定されているか確認してください。
ON/STANDBYインジケーターが赤色点滅する。（4回点滅パターンの繰り返し）	ファンが故障している。 ・お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
ON/STANDBYインジケーターが赤色点滅する。（6回点滅パターンの繰り返し）	電源コードを抜いて、ON/STANDBYインジケーターが消えるのを確認してから、電源コードをコンセントに差し込み、もう一度電源を入れる。症状が再発する場合は、電気系統が故障している。 ・お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

主な仕様

投影方式　3LCDパネル、1レンズ、3原色液晶シャッター投写方式

LCDパネル　VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155：0.79インチ（20.1 mm）XGAパネル、約236万画素（1024 × 768 × 3）
VPL-CW125：0.74インチ（18.8 mm）WXGAパネル、約328万画素（1,366 × 800 × 3）

レンズ　1.2倍ズームレンズ
f 23.5 ～ 28.2 mm
F 1.75 ～ 2.17

ランプ　200 W 高圧水銀ランプ

投影画面サイズ
40型～ 300型
（1,016 mm ～ 7,620 mm）

光出力[1)]　VPL-CX150/CX155：3500lm
VPL-CX120/CX125/CW125：3000lm
VPL-CX100：2700lm
（ランプモード高のとき）

1) 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2003データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書2に基づいています。

投影距離（床置き）

VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155

（XGA入力時）

投影画像サイズ（対角）	距離（m）
40型（1,016 mm）	1.2 ～ 1.4
60型（1,524 mm）	1.8 ～ 2.1
80型（2,032 mm）	2.4 ～ 2.8
100型（2,540 mm）	3.0 ～ 3.5
120型（3,048 mm）	3.6 ～ 4.1
150型（3,810 mm）	4.5 ～ 5.2
180型（4,572 mm）	5.4 ～ 6.2
200型（5,080 mm）	6.0 ～ 6.9
250型（6,350 mm）	7.5 ～ 8.7
300型（7,620 mm）	9.1 ～ 10.4

（設計値のため多少の誤差あり）

VPL-CW125

（信号設定メニューの「アスペクト」が「フル2」のとき）

投影画像サイズ（対角）	距離（m）
40型（1,016 mm）	1.3 ～ 1.5
60型（1,524 mm）	1.9 ～ 2.2
80型（2,032 mm）	2.6 ～ 3.0
100型（2,540 mm）	3.2 ～ 3.7
120型（3,048 mm）	3.9 ～ 4.5
150型（3,810 mm）	4.9 ～ 5.6
180型（4,572 mm）	5.9 ～ 6.7
200型（5,080 mm）	6.5 ～ 7.5
250型（6,350 mm）	8.1 ～ 9.4
300型（7,620 mm）	9.8 ～ 11.3

（設計値のため多少の誤差あり）

カラー方式　NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60自動／手動切り換え

対応コンピューター信号
fH: 19 ～ 92 kHz、fV: 48 ～ 92 Hz
(最高入力解像度信号 : SXGA+ 1400 × 1050 fV: 60Hz)

対応ビデオ信号
15k RGB／コンポーネント50/60Hz、プログレッシブコンポーネント50/60Hz、DTV（480/60i、575/50i、480/60p、575/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i）、コンポジットビデオ、Y/Cビデオ

外形寸法　372 × 90 × 298 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量　約4.1 kg

電源　AC100 V、2.9 A、50/60 Hz

消費電力　VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155：最大285 W
スタンバイ時（標準）：7 W
スタンバイ時（低）：0.5W

VPL-CW125：最大 287W
　スタンバイ時（標準）：7 W
　スタンバイ時（低）：0.5W

付属品　リモートコマンダー（1）
単 3 形乾電池
　（2、VPL-CX125/CX155/
　CW125 のみ）
リチウム電池 CR2025
　（1、VPL-CX100/CX120/
　CX150 のみ）
レンズキャップ（1）
HD D-sub 15 ピンケーブル
　（2 m）（1）（1-791-992-xx）
電源コード（1）
CD-ROM（取扱説明書、アプリ
　ケーションソフトウェア）（1）
簡易説明書（1）
安全のために（1）
保証書（1）
セキュリティラベル（1）

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご注意

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失などは保障期間中および保障期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

別売りアクセサリー

プロジェクターランプ
　LMP-C200 (交換用）
プレゼンテーションツール
　RM-PJPK1

About the Supplied Manuals

The following manuals and softwares are supplied with the projector.
On Macintosh system, you can read only the Operating Instructions.

Manuals

Safety Regulations (separately printed manual)

This manual describes important notes and cautions to which you have to pay attention when handling and using this projector.

Quick Reference Manual (this manual)

This manual describes basic operations for projecting pictures after you have made the required connections.

Operating Instructions (on the CD-ROM)

This Operating Instructions describes the setup and operations of this projector.

Operating Instructions for Network (on the CD-ROM)

This Operating Instructions describes how to set up and operate the network presentation.

Software (on the CD-ROM)

Projector Station for Air Shot Version 2 (Version 2.xx) (Japanese and English only)

This is an application software for transmitting data from a computer to the projector.

About the Quick Reference Manual

This Quick Reference Manual explains the connections and basic operations of this unit, and gives notes on operations and information required for maintenance.
For details on the operations, refer to the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.
For safety precautions, refer to the separate “Safety Regulations.”

This manual contains explanations for the VPL-CX100, VPL-CX120, VPL-CX125, VPL-CX150, VPL-CX155 and VPL-CW125 all together. Be aware that the illustration of VPL-CX155 is mainly used for explanation.

Using the CD-ROM Manuals

The supplied CD-ROM contains Operating Instructions and ReadMe file in Japanese, English, French, German, Italian, Spanish and Chinese. First, refer to the ReadMe file.

Preparations

To read the Operating Instructions in the CD-ROM, Adobe Acrobat Reader 5.0 or later is required. If the Adobe Acrobat Reader is not installed in your computer, you can download free Acrobat Reader software from URL of Adobe Systems.

To read the Operating Instructions

The Operating Instructions are contained in the supplied CD-ROM. Insert the supplied CD-ROM into the CD-ROM drive of your computer, and the CD-ROM will start automatically after a while. Select the Operating Instructions you want to read.
The CD-ROM may not start automatically depending on the computer. In this case, open the Operating Instructions file as follows:

(In case of Windows)

① Open “My Computer.”

② Right-click the CD-ROM icon and select “Explorer.”

③ Double-click “index.htm” file and select the Operating Instructions you want to read.

(In case of Macintosh)

① Double-click the CD-ROM icon on the desk top.

② Double-click “index.htm” file and select the Operating Instructions you want to read.

Notes

If you cannot open “index.htm” file, double-click on the Operating Instructions you want to read from among those in “Operating_Instructions” folder.

On trademarks

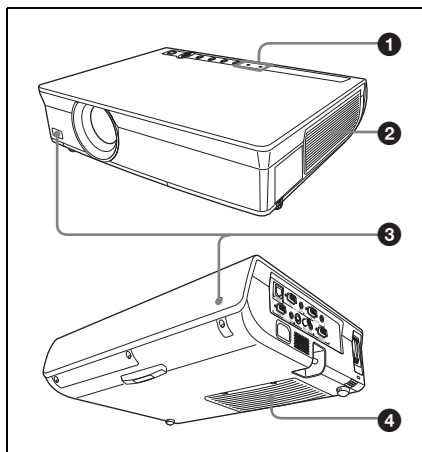
- Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Macintosh is a registered trademark of Apple Computer, Inc. in the United States and/or other countries.
- Adobe and Acrobat Reader is a registered trademark of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

GB

Notes on Use

Note on the Ventilation Holes

Do not block ventilation holes (exhaust/intake). If they are blocked, internal heat may build up and cause fire or damage to the unit.
Check the positions of the ventilation holes shown in the following illustrations.

For other precautions, read the separate "Safety Regulations" carefully.

❶ **Indicators**

❷ **Ventilation holes (exhaust)**

❸ **Remote control detector**

❹ **Ventilation holes (intake)**

Projecting

Connecting the Projector

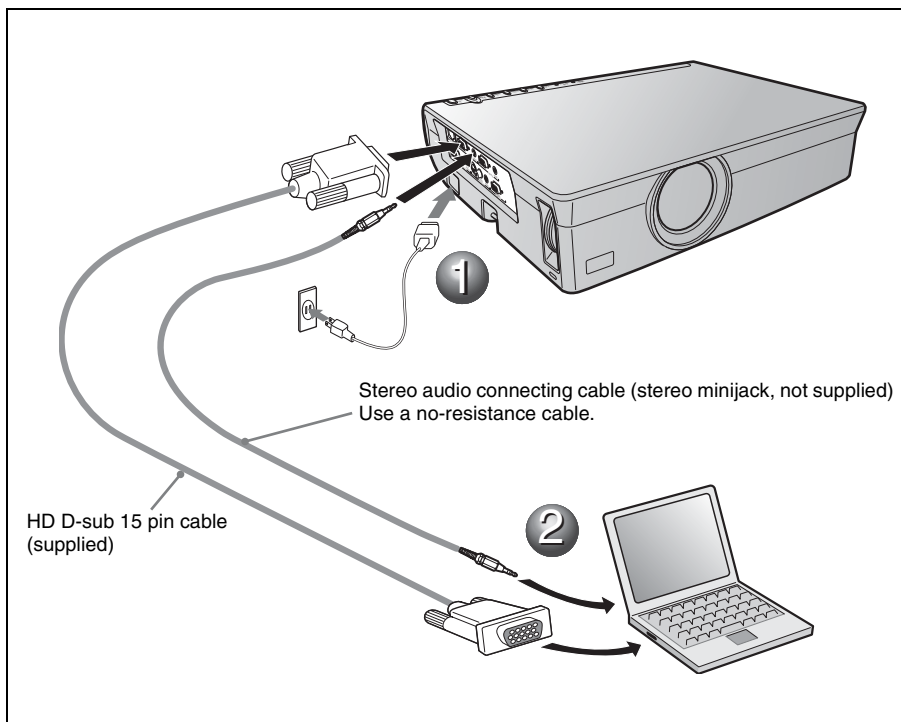
When you connect the projector, make sure to:

- Turn off all equipment before making any connections.
- Use the proper cables for each connection.
- Insert the cable plugs firmly. When pulling out a cable, be sure to pull it out from the plug, not the cable itself.

Refer also to the instruction manual of the equipment to be connected.

To connect a computer

❶ Plug the AC power cord into a wall outlet.

❷ Connect the projector to a computer.

To connect a VCR/DVD player

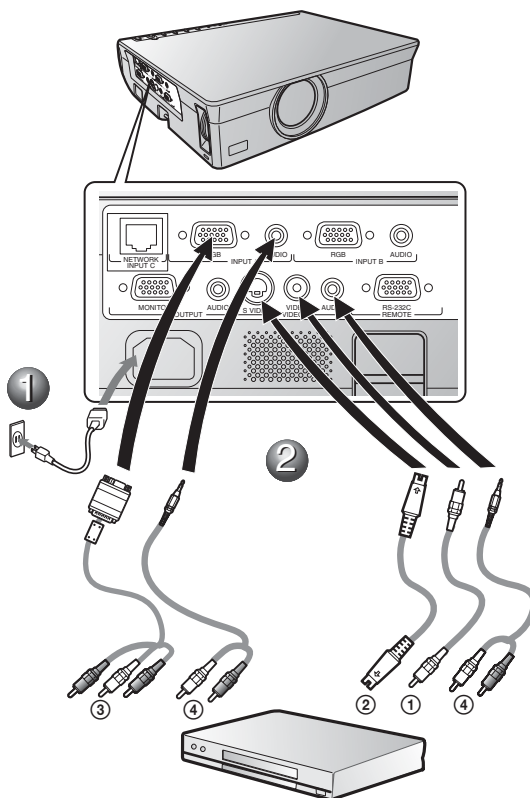
❶ Plug the AC power cord into a wall outlet.

❷ Connect the projector to a video equipment.

For video signal connections, the following three connecting options are available:

To connect to video output conector of a VCR/DVD: Connect with cables ① and ④.

To connect to S video output conector of a VCR/DVD: Connect with cables ② and ④.

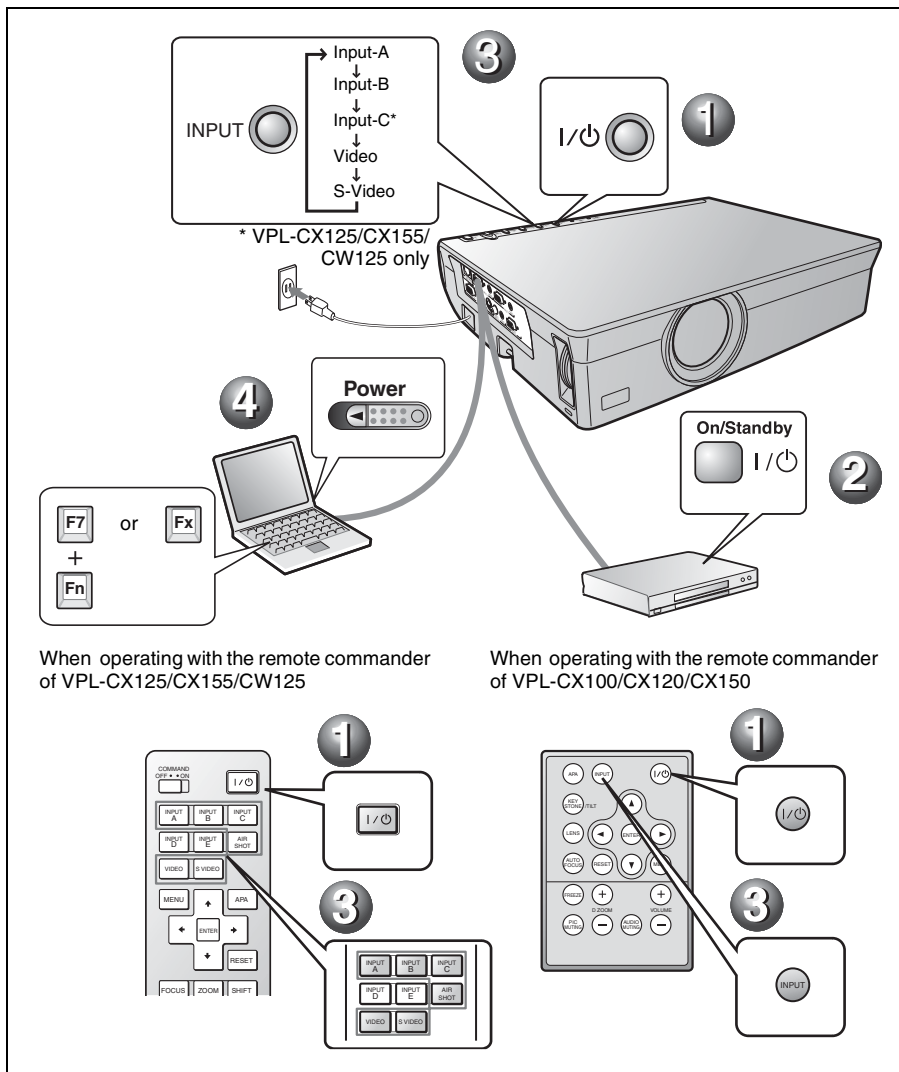
To connect to video GBR/Component conector of a VCR/DVD: Connect with cables ③ and ④.

① Composite video (phono plug) cable (not supplied)
② S video (Mini DIN 4-pin) cable (not supplied)
③ Component (HD D-sub 15-pin (male) ⟷ phono plug × 3) cable (not supplied)
④ Audio input stereo audio connecting cable (stereo minijack-phono type, not supplied) (Use a no-resistance cable)

Projecting

❶ **Press the I/⏻ (on/standby) key.**

❷ **Turn on the equipment connected to the projector.**

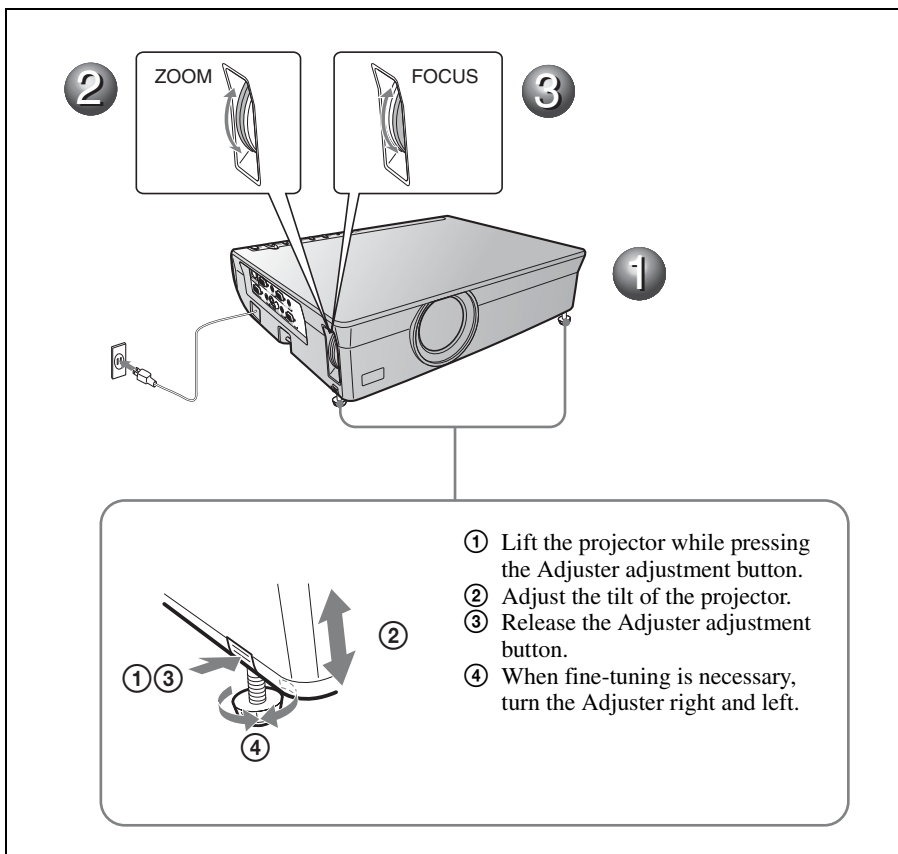
❸ **Press the INPUT key on the Remote Commander or the control panel to select the input source.**

❹ **When the computer is connected, set it to output the signal to only the external monitor.**

Adjusting the Projector

❶ **Adjust the upper or lower position of the picture.**

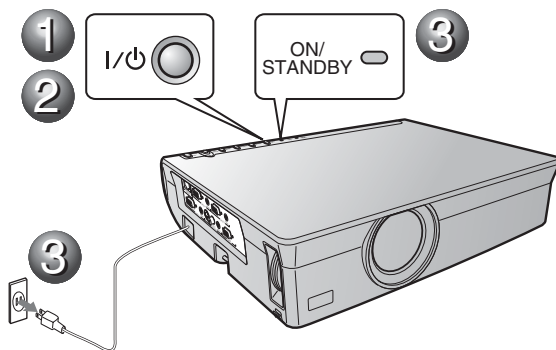
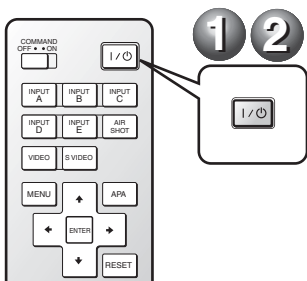
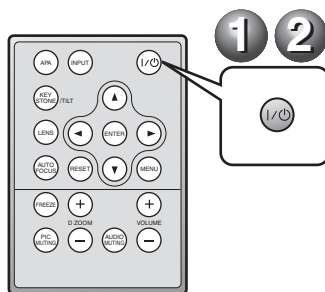
❷ **Adjust the size of the picture.**

❸ **Adjust the focus.**

The projector is equipped with the Picture menu to select the picture mode, and the Signal menu to select the appropriate aspect ratio of the picture.

Turning off the Power

❶ **Press the I/⏻ (on/standby) key.**

❷ **When a message appears, press the I/⏻ (on/standby) key again.**

❸ **Unplug the AC power cord from the wall outlet after the fan has stopped running and the ON/STANDBY indicator has lit in red.**

Replacing the Lamp

The lamp used as a light source is a consumable product. Replace this lamp with a new one in the following cases.

- When the lamp has burnt out or dims
- "Please replace the Lamp and clean the Filter." appears on the screen.
- The LAMP/COVER indicator flashes in red. (Repetition rate of 3 flashes)

The lamp life varies depending on conditions of use.

Use an LMP-C200 Projector Lamp as the replacement lamp.

Use of lamps other than the LMP-C200 may cause damage to the projector.

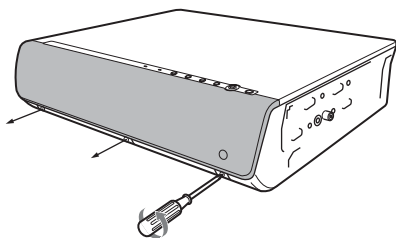
Note

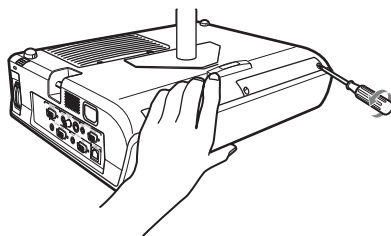
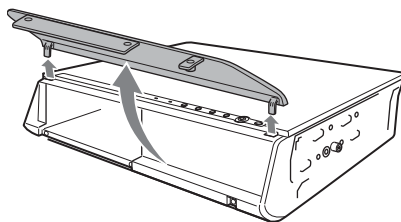
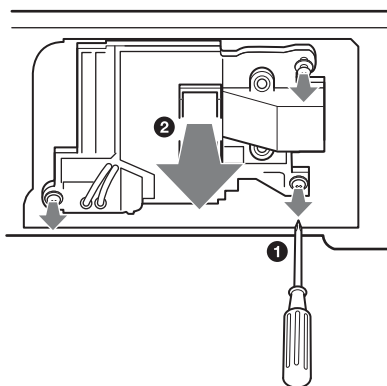
If the lamp breaks, consult with qualified Sony personnel for replacing the lamp and internal checking.

1 Turn off the projector, and disconnect the AC power cord from the AC outlet.

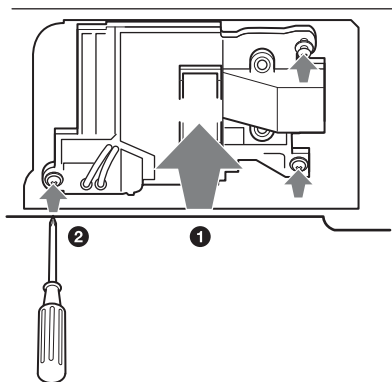
Note

When replacing the lamp after using the projector, wait at least an hour for the lamp to cool.

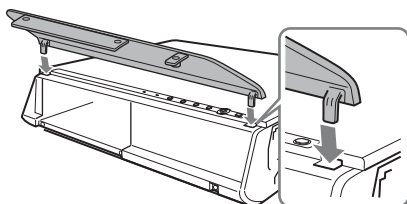
2 Open the lamp cover by loosening the three screws with a Phillips screwdriver.

Note

If you work with the projector hung on the ceiling, hold the lamp cover so it does not fall when you release the screws.

3 Place your fingers under the lamp cover and pull it up to remove the lamp cover.

4 Loosen the three screws on the lamp unit with the Phillips screwdriver (❶), hold the knob (❷), then pull out the lamp unit.

Note

Do not allow any metal objects, flammable objects, etc. into the lamp replacement slot.

5 Insert the new lamp all the way in until it is securely in place (❶). Tighten the three screws (❷).

Notes

- Be careful not to touch the glass surface of the lamp.
- The power will not turn on if the lamp is not secured properly.

6 Restore the lamp cover to the original position and tighten the three screws with the Phillips screwdriver.

Note

Be sure to attach the lamp cover securely as it was. If not, the projector cannot be turned on.

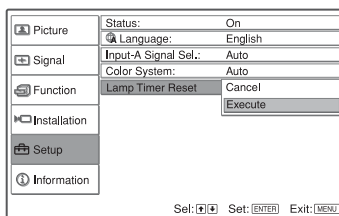
7 Connect the power cord.
The ON/STANDBY indicator lights in red.

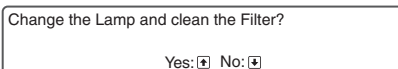
8 Press the I/⏻ key to turn the projector on.

9 Press the MENU key, and then select the Setup menu.

10 Select "Lamp Timer Reset," and then press the ENTER key.

Menu	Item	Setting
Picture	Status:	On
Signal	Language:	English
Function	Input-A Signal Sel.:	Auto
Installation	Color System:	Auto
Setup	Lamp Timer Reset	Cancel
Information		Execute

Sel: ⬆⬇ Set: ENTER Exit: MENU

11 Select "Execute" with the ▼ key, and then press the ENTER key.
The Lamp Timer is initialized to 0.
"Change the Lamp and clean the Filter?" is displayed in the menu screen.

Change the Lamp and clean the Filter?
Yes: ⬆ No: ⬇

Refer to "Cleaning the Air Filter."

12 Select "Yes" with the ▲ key.
"Lamp Timer Reset Complete!" is displayed in the menu screen.

Note

To erase a message, press any key on the control panel of the projector or on the Remote Commander.

Disposal of the used lamp

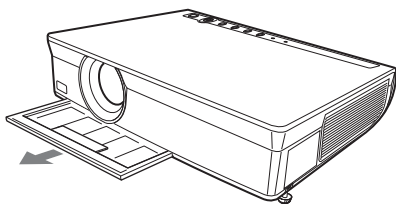
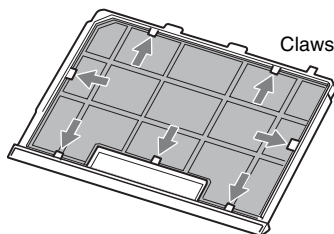
For the customers in the USA

Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Electronic Industries Alliance (www.eiae.org).

Cleaning the Air Filter

The air filter should be cleaned whenever you replace the lamp.
Remove the air filter, and then remove the dust with a vacuum cleaner.
The time needed to clean the air filter will vary depending on the environment or how the projector is used.

1 Turn the power off and unplug the power cord.

2 Remove the air filter cover.

3 Remove the air filter from the each claws (7 positions) on the air filter cover.

4 Clean the air filter with a vacuum cleaner.

5 Attach the air filter so that it fits into the each claws (7 positions) on the air filter covers.

Note

There is a difference between the front and rear of the air filter. Attach the air filter with the grid side facing upward as in the illustration.

6 Replace the cover.

Notes

- If the dust cannot be removed from the air filter, replace the air filter with a new one. For details on new air filter, consult with qualified Sony personnel.
- Be sure to attach the air filter cover firmly; the power can not be turned on if it is not closed securely.
- To erase a message, press any key on the control panel of the projector or on the remote commander.

Troubleshooting

If the projector appears to be operating erratically, try to diagnose and correct the problem using the following instructions. If the problem persists, consult with qualified Sony personnel.
For details on the symptoms, see the Operating Instructions contained in the CD-ROM.

Power

Symptom	Cause and Remedy
The power is not turned on.	• The power has been turned off and on with the I / ⏻ key at a short interval. → Wait for about 60 seconds before turning on the power. • The lamp cover is detached. → Close the lamp cover securely. • The air filter cover is detached. → Close the air filter cover securely.

Picture

Symptom	Cause and Remedy
No picture.	• Cable is disconnected or the connections are wrong. → Check that the proper connections have been made. • Input selection is incorrect. → Select the input source correctly using the INPUT key. • The picture is muting. → Press the PIC MUTING key to release the muting function. • The computer signal is not set to output to an external monitor or set to output both to an external monitor and a LCD monitor of a computer. → Set the computer signal to output only to an external monitor. → Depending on the type of your computer, for example a notebook, or an all-in-one LCD type, you may have to switch the computer to output to the projector by pressing certain keys or by changing your computer’s settings. For details, refer to the computer’s operating instructions supplied with your computer.
The picture is noisy.	• Noise may appear on the background depending on the combination of the numbers of dot input from the connector and numbers of pixel on the LCD panel. → Change the desktop pattern on the connected computer.
The picture is not clear.	• Picture is out of focus. → Adjust the focus. • Condensation has occurred on the lens. → Leave the projector for about two hours with the power on.
The image extends beyond the screen.	• The APA key is pressed although there are black edges around the image. → Display the full image on the screen and press the APA key. → Adjust “Shift” in the Signal menu properly.

Symptom	Cause and Remedy
The picture flickers.	• "Dot Phase" in the Signal menu has not been adjusted properly. → Adjust "Dot Phase" in the Signal menu properly.

Indicators

Message	Meaning and Remedy
The LAMP/COVER indicator flashes in orange. (Repetition rate of 2 flashes)	• The lamp cover or the air filter cover is detached. → Attach the cover securely.
The LAMP/COVER indicator flashes in orange. (Repetition rate of 3 flashes)	• The lamp has reached the end of its life. → Replace the lamp. • The lamp has reached a high temperature. → Wait for 60 seconds to cool the lamp and then turn on the power again.
ON/STANDBY flashes in red. (Repetition rate of 2 flashes)	• The internal temperature is unusually high. → Check to see that nothing is blocking the ventilation holes. • The projector is being used at a high altitude. → Ensure that "High Altitude Mode" on the Setup menu is set to "On."
ON/STANDBY flashes in red. (Repetition rate of 4 flashes)	The fan is broken. → Consult with qualified Sony personnel.
ON/STANDBY flashes in red. (Repetition rate of 6 flashes)	Unplug the AC power cord from the wall outlet after the ON/STANDBY indicator goes out, plug the power cord to the wall outlet, and then turn the projector on again. If the ON/STANDBY flashes in red and the problem persists, the electrical system has failed. → Consult with qualified Sony personnel.

Specifications

Projection system
3 LCD panels, 1 lens, primary color shutter system
LCD panel VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155: 0.79-inch (20.1 mm) XGA panel, 2,359,296 pixels (1024 × 768 × 3)
VPL-CW125: 0.74-inch (18.8 mm) WXGA panel, 3,280,000 pixels (1366 × 800 × 3)
Lens 1.2 times zoom lens
f 23.5 to 28.2 mm/F1.75 to 2.17
Lamp 200 W Ultra high pressure lamp
Projected picture size
40 to 300-inches (1,016 to 7,620 mm) (measured diagonally)
Light output VPL-CX150/CX155: 3500 lm
VPL-CX120/CX125/CW125: 3000 lm
VPL-CX100: 2700 lm
(When the Lamp Mode is set to “High.”)
Throwing distance (When placed on the floor.)

VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155:

(When an XGA signal is input)
40-inch (1,016 mm):
1.2 to 1.4 m (3.9 to 4.6 feet)
60-inch (1,524 mm):
1.8 to 2.1 m (5.9 to 6.9 feet)
80-inch (2,032 mm):
2.4 to 2.8 m (7.9 to 9.2 feet)
100-inch (2,540 mm):
3.0 to 3.5 m (9.8 to 11.5 feet)
120-inch (3,048 mm):
3.6 to 4.1 m (11.8 to 13.5 feet)
150-inch (3,810 mm):
4.5 to 5.2 m (14.8 to 17.1 feet)
180-inch (4,572 mm):
5.4 to 6.2 m (17.7 to 20.3 feet)
200-inch (5,080 mm):
6.0 to 6.9 m (19.7 to 22.6 feet)
250-inch (6,350 mm):
7.5 to 8.7 m (24.6 to28.5 feet)
300-inch (7,620 mm):
9.1 to 10.4 m (29.9 to 34.1 feet)

VPL-CW125:

(When “Aspect” on the Signal menu is set to “Full 2”)
40-inch (1,016 mm):
1.3 to 1.5 m (4.3 to 4.9 feet)
60-inch (1,524 mm):
1.9 to 2.2 m (6.2 to 7.2 feet)
80-inch (2,032 mm):
2.6 to 3.0 m (8.5 to 9.8 feet)
100-inch (2,540 mm):
3.2 to 3.7 m (10.5 to 12.1 feet)
120-inch (3,048 mm):
3.9 to 4.5 m (12.8 to 14.8 feet)
150-inch (3,810 mm):
4.9 to 5.6 m (16.1 to 18.4 feet)
180-inch (4,572 mm):
5.9 to 6.7 m (19.4 to 22.0 feet)
200-inch (5,080 mm):
6.5 to 7.5 m (21.3 to 24.6 feet)
250-inch (6,350 mm):
8.1 to 9.4 m (26.6 to 30.8 feet)
300-inch (7,620 mm):
9.8 to 11.3 m (32.2 to 37.1 feet)

There may be a slight difference between the actual value and the design value shown above.

Color system NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60 system, switched automatically/manually
Acceptable computer signals
fH: 19 to 92 kHz
fV: 48 to 92 Hz
(Maximum input resolution signals: SXGA+ 1,400 × 1,050 fV: 60Hz)
Applicable video signals
15 k RGB/Component 50/60 Hz, Progressive component 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), Composite video, Y/C video
Dimensions 372 × 90 × 298 mm (14 3/4 × 3 5/8 × 11 3/4 inches) (w/h/d) (without the projection parts)
Mass Approx. 4.1 kg (9 lb 1 oz)
Power requirements
VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155: 100 to 240 V AC, 2.9 - 1.2 A, 50/60 Hz
VPL-CW125: 100 to 240 V AC, 2.9 - 1.3A, 50/60Hz
Power consumption
VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155: Max. 285 W (in standby (standard): 7 W, in standby (low): 0.5 W)
VPL-CW125: Max. 287 W
in standby (standard): 7 W
in standby (low): 0.5 W
Supplied accessories
Remote Commander (1)
Size AA (R6) batteries (2) (VPL-CX125/CX155/CW125)

Lithium battery CR2025 (1) (VPL-CX100/CX120/CX150)
Lens cap (1)
HD D-sub 15 pin cable (2 m) (1) (1-791-992-xx)
AC power cord (1)
CD-ROM (Operating Instructions, Application Software) (1)
Quick Reference Manual (1)
Safety Regulations (1)
Security Label (1)

Design and specifications are subject to change without notice.

Note

Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.

Optional accessories

Projector Lamp
LMP-C200 (for replacement)
Presentation Tool
RM-PJPK1

Notes sur les manuels fournis

Les manuels et logiciels suivant sont fournis avec le projecteur.
Sur un système d'exploitation Macintosh, il n'est possible de lire que le Mode d'emploi.

Manuels

Règlements de sécurité (manuel imprimé séparé)

Ce manuel comprend d'importantes remarques et des mises en garde dont vous devez tenir compte lorsque vous manipulez ou utilisez ce projecteur.

Guide de référence rapide (ce manuel)

Ce guide décrit les opérations de base pour la projection d'images après avoir effectué les raccordements requis.

Mode d'emploi (sur le CD-ROM)

Ce Mode d'emploi décrit l'installation et l'utilisation de ce projecteur.

Mode d'emploi pour le réseau (sur le CD-ROM)

Ce Mode d'emploi explique comment installer et utiliser l'appareil pour des présentations en réseau.

Logiciel (sur le CD-ROM)

Projector Station for Air Shot Version 2 (Version 2.xx) (en japonais et en anglais uniquement)

Il s'agit d'un logiciel d'application pour la transmission des données entre un ordinateur et le projecteur.

A propos du guide de référence rapide

Ce Guide de référence rapide décrit les raccordements requis et les opérations de base de cet appareil, et donne des informations concernant son entretien.
Pour obtenir des informations détaillées sur le fonctionnement de cet appareil, consultez le mode d'emploi sur le CD-ROM fourni.
Pour obtenir des informations sur les précautions de sécurité à observer, consultez « Règlements de sécurité » qui est imprimé séparément.

Ce manuel contient les explications pour tous les modèles VPL-CX100, VPL-CX120, VPL-CX125, VPL-CX150, VPL-CX155 et VPL-CW125.
Notez que l'illustration du VPL-CX155 est principalement utilisée pour ces explications.

Utilisation des manuels sur CD-ROM

Le CD-ROM fourni comporte les modes d'emploi et le fichier ReadMe, en japonais, en anglais, en français, en allemand, en italien, en espagnol et en chinois. Veuillez tout d'abord consulter le fichier ReadMe.

Préparation

Pour pouvoir lire le mode d'emploi sur le CD-ROM, le logiciel Adobe Acrobat Reader 5.0, ou une version ultérieure, doit être installé. Si Adobe Acrobat Reader n'est pas installé sur votre ordinateur, vous pouvez télécharger une version gratuite de ce logiciel depuis le site Internet de Adobe Systems.

Pour lire le mode d'emploi

Le mode d'emploi se trouve sur le CD-ROM fourni. Insérez le CD-ROM fourni dans le lecteur de CD-ROM de votre ordinateur. Il démarrera automatiquement après quelques instants. Sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.
Sur certains ordinateurs le CD-ROM ne démarrera pas automatiquement. Dans ce cas, ouvrez le fichier du mode d'emploi de la façon suivante.

(Avec un système d'exploitation Windows)

① Ouvrez « Poste de travail ».

② Faites un clic droit sur l'icône du CD-ROM et sélectionnez « Explorer ».

③ Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.

(Avec un système d'exploitation Macintosh)

① Double-cliquez sur l'icône du CD-ROM sur le bureau.

② Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.

Remarques

Si vous n'êtes pas en mesure d'ouvrir le fichier « index.htm », double-cliquez sur le mode d'emploi que vous souhaitez lire dans le dossier « Operating_Instructions ».

Marques

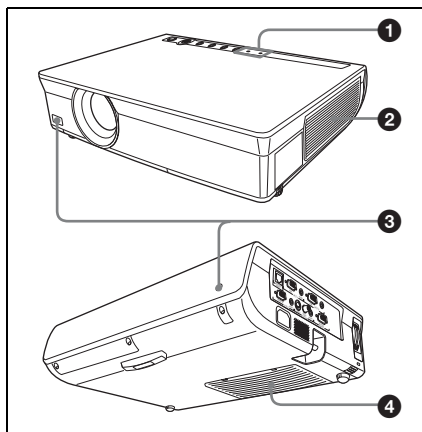
- Windows est une marque déposée de Microsoft Corporation aux États-Unis et/ ou dans d'autres pays.
- Macintosh est une marque déposée de Apple Computer, Inc. aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.
- Adobe et Acrobat Reader sont des marques déposées d'Adobe Systems Incorporated aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.

FR

Remarques concernant l'utilisation

Remarque sur les orifices de ventilation

N'obstruez pas les orifices de ventilation (sortie et prise d'air). S'ils sont bloqués, une surchauffe interne risque de se produire et causer un incendie ou endommager l'appareil.
Vérifiez la position des orifices de ventilation dans les illustrations suivantes.

Pour plus d'informations sur les précautions à prendre, lisez attentivement la « Règlements de sécurité » qui est imprimée séparément.

1 Indicateurs

2 Orifices de ventilation (sortie d'air)

3 Capteur de télécommande

4 Orifices de ventilation (prise d'air)

Projection

Raccordement du projecteur

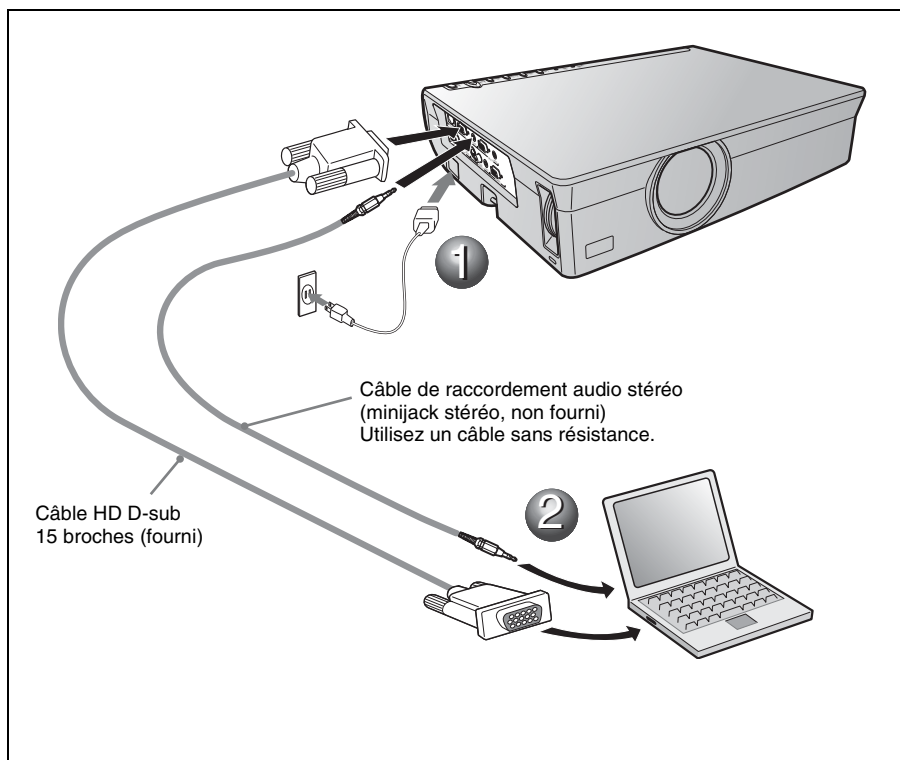
Lors du raccordement du projecteur :

- Mettez tous les appareils hors tension avant tout raccordement.
- Utilisez les câbles appropriés pour chaque raccordement.
- Insérez fermement les fiches de câble. Débranchez les cables en les tenant par leur fiche. Ne tirez pas sur le cable lui-même.

Consultez également le Mode d’emploi de l’équipement raccordé.

Pour raccorder un ordinateur

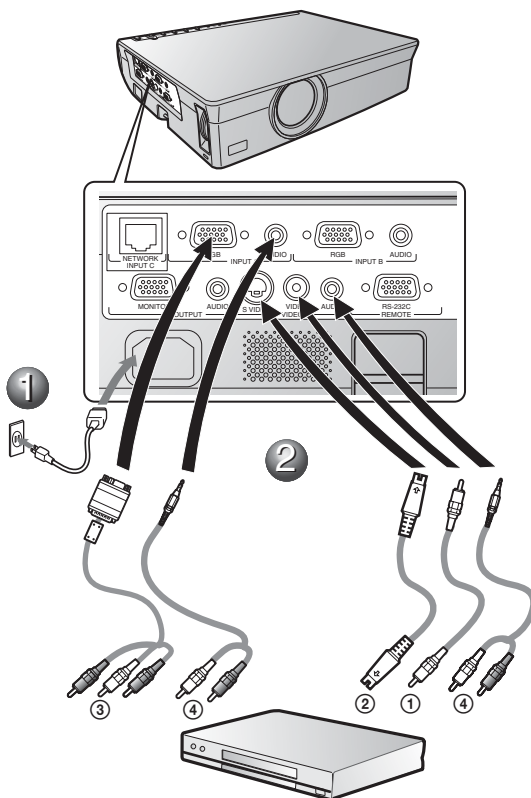
❶ Branchez le cordon d’alimentation secteur à une prise murale.

❷ Raccordez le projecteur à l’ordinateur.

Pour raccorder un magnétoscope ou un lecteur de DVD

❶ Branchez le cordon d'alimentation secteur à une prise murale.

❷ Raccordez le projecteur à un appareil vidéo.

Les trois options de raccordement suivantes sont disponibles pour le signal vidéo :

Pour raccorder le projecteur au connecteur de sortie vidéo d'un magnétoscope ou d'un lecteur DVD : raccordez-le à l'aide des câbles ① et ④.
Pour raccorder le projecteur au connecteur de sortie S-vidéo d'un magnétoscope ou d'un lecteur DVD : raccordez-le à l'aide des câbles ② et ④.
Pour raccorder le projecteur au connecteur de sortie VBR/Composantes d'un magnétoscope ou d'un lecteur DVD : raccordez-le à l'aide des câbles ③ et ④.

① Câble vidéo composite (fiche phono) (non fourni)

② Câble S-vidéo (fiche mini DIN 4 broches) (non fourni)

③ Câble en composante (HD D-sub 15 broches (mâle) ⟷ fiche phono × 3) (non fourni)

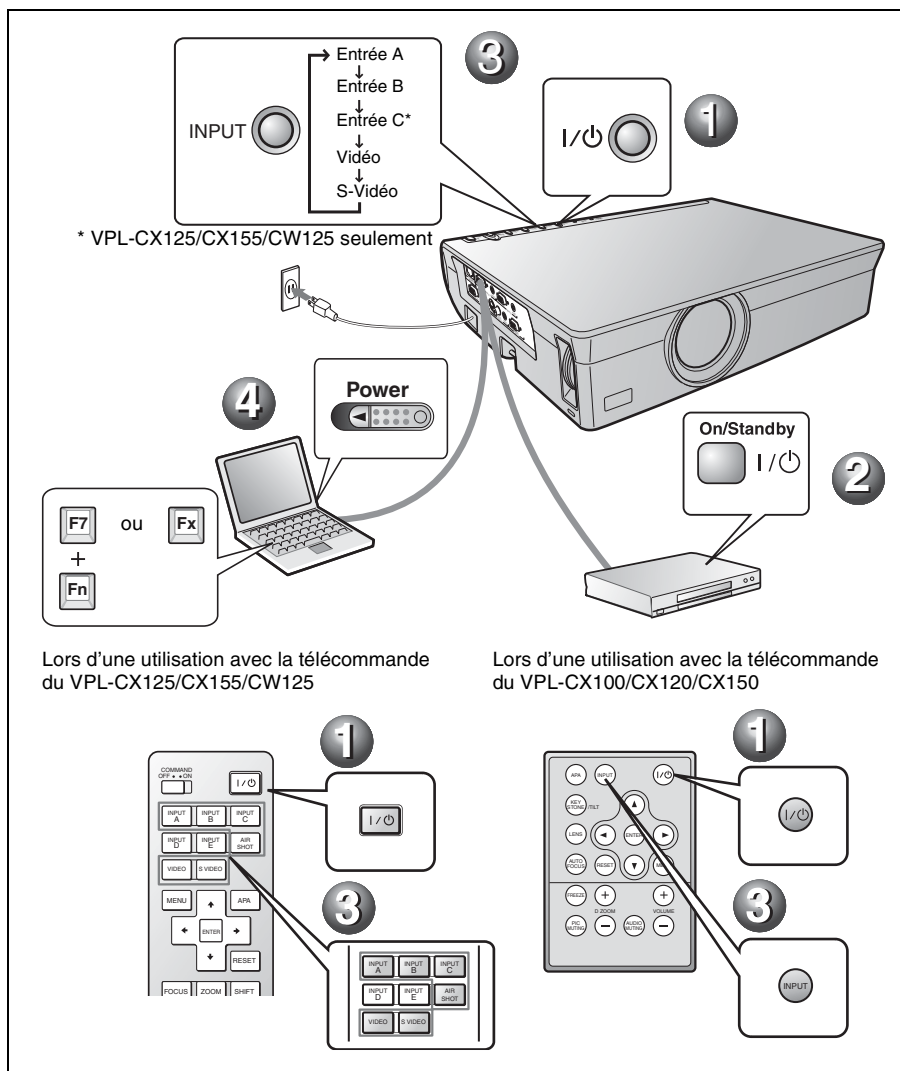
④ Câble de raccordement audio stéréo (minijack stéréo-type CINCH, non fourni) (Utilisez un câble sans résistance.)

Projection

❶ **Appuyez sur la touche I/⏻ (marche/veille).**

❷ **Mettez l'appareil raccordé au projecteur sous tension.**

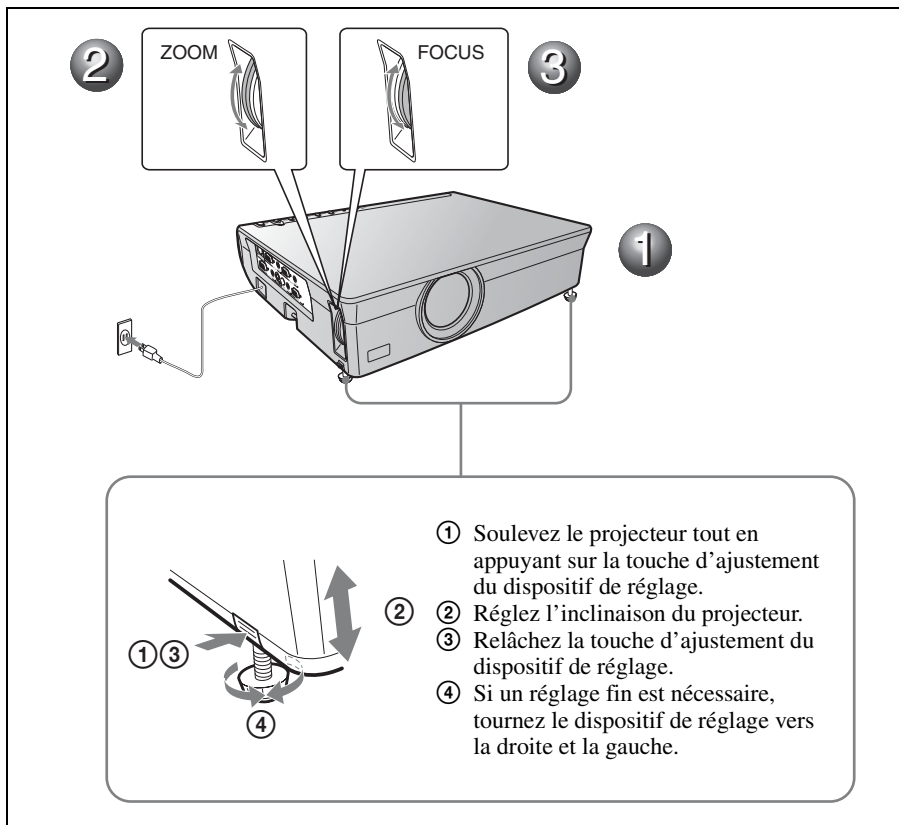
❸ **Appuyez sur la touche INPUT de la télécommande ou du panneau de commande pour sélectionner la source d'entrée.**

❹ **Une fois l'ordinateur raccordé, réglez-le pour que le signal soit envoyé seulement au moniteur externe.**

Ajustement du projecteur

❶ Réglez la position supérieure ou inférieure de l'image.

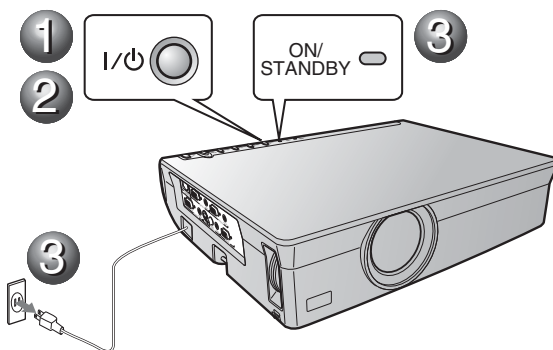
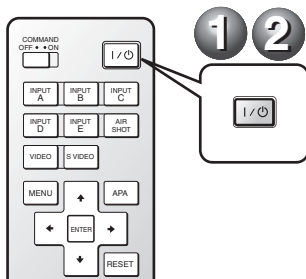
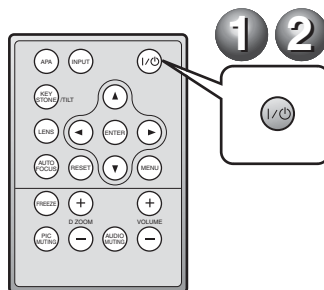
❷ Réglez la taille de l'image.

❸ Réglez la mise au point.

Le projecteur est équipé d'un menu Image permettant de sélectionner le mode de projection de l'image et d'un menu Signal permettant de sélectionner le rapport hauteur/largeur de l'image.

Mise hors tension

❶ **Appuyez sur la touche I/⏻ (marche/veille).**

❷ **Lorsqu'un message apparaît, appuyez une nouvelle fois sur la touche I/⏻ (marche/veille).**

❸ **Débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale une fois que le ventilateur s'est arrêté et que l'indicateur ON/STANDBY est allumé en rouge.**

Remplacement de la lampe

La lampe utilisée comme source d'éclairage est un produit consommable. Remplacez cette lampe par une neuve dans les cas suivants.
- Lorsque la lampe a grillé ou perdu de sa luminosité.
- « Remplacer la lampe et nettoyer le filtre. » apparaît sur l'écran.
- L'indicateur LAMP/COVER clignote en rouge. (Taux de répétition de 3 clignotements)

La durée de vie de la lampe dépend des conditions d'utilisation.
Utilisez une lampe pour projecteur LMP-C200 comme lampe de rechange. L'utilisation d'une lampe autre que LMP-C200 peut provoquer des dommages au projecteur.

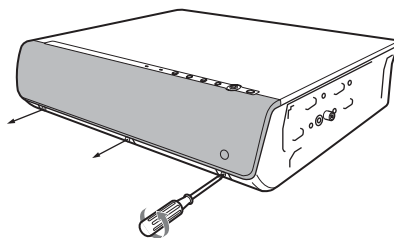
Remarque

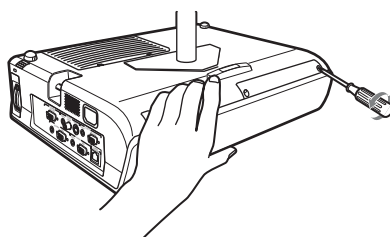
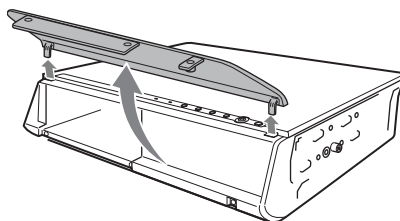
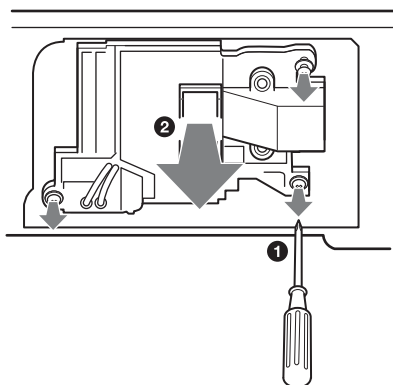
Si la lampe se casse, contactez un personnel Sony qualifié pour qu'il la remplace et effectue une vérification interne.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise de courant.

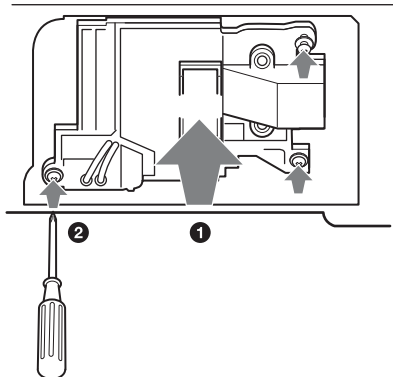
Remarque

Avant de remplacer la lampe après avoir utilisé le projecteur, attendez au moins une heure pour lui permettre de refroidir.

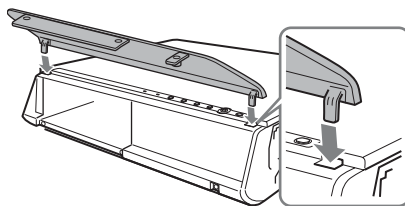
2 Ouvrez le couvercle de la lampe en desserrant les trois vis avec un tournevis cruciforme.

Remarque

Si vous travaillez avec le projecteur suspendu au plafond, tenez le couvercle de la lampe de sorte qu'il ne tombe pas lorsque vous desserrez les vis.

3 Placez les doigts sous le couvercle de la lampe et tirez-le vers le haut pour le retirer.

4 Desserrez les trois vis de la lampe à l'aide d'un tournevis à pointe cruciforme (❶), tenez le bouton (❷), puis retirez la lampe.

Remarque

Ne laissez pas des objets métalliques, des objets inflammables, etc. pénétrer dans la fente de remplacement de la lampe.

5 Introduisez la nouvelle lampe à fond jusqu'à ce qu'elle soit correctement en place (❶). Serrez les trois vis (❷).

Remarques

- Veillez à ne pas toucher la surface en verre de la lampe.
- Le projecteur ne se met pas sous tension si la lampe n'est pas correctement installée.

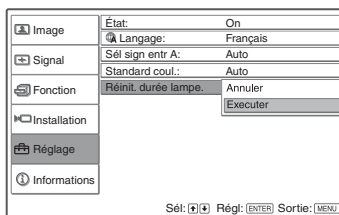
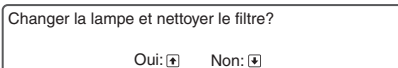
6 Remettez en place le couvercle de la lampe et serrez les trois vis à l'aide du tournevis à pointe cruciforme.

Remarque

Assurez-vous de remettre solidement en place le couvercle de lampe à sa position initiale. Sinon le projecteur ne peut pas être mis sous tension.

7 Branchez le cordon d'alimentation.
L'indicateur ON/STANDBY clignote en rouge.

8 Appuyez sur la touche I/⏻ pour mettre le projecteur sous tension.

9 Appuyez sur la touche MENU, puis sélectionnez le menu Réglage.

10 Sélectionnez « Réinit. durée lampe », puis appuyez sur la touche ENTER.

11 Sélectionnez « Executer » à l'aide de la touche ▼, puis appuyez sur la touche ENTER.
La durée de lampe est remise à 0, et « Changer la lampe et nettoyer le filtre? » s'affiche sur l'écran de menu.

Voir « Nettoyage du filtre à air ».

12 Sélectionnez « Oui » à l'aide de la touche ▲.
« Réinitialisation de durée de lampe terminée! » s'affiche sur l'écran de menu.

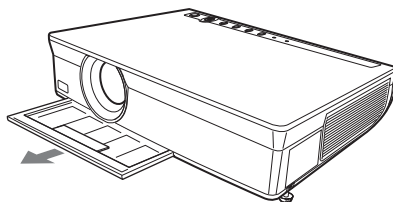
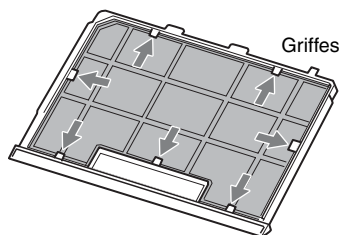
Remarque

Pour effacer un message, appuyez sur n'importe quelle touche du panneau de commande du projecteur ou de la télécommande.

Nettoyage du filtre à air

Vous devez nettoyer le filtre à air chaque fois que vous changez la lampe.
Retirez le filtre à air, puis enlevez la poussière à l'aide d'un aspirateur.
Le temps nécessaire au nettoyage du filtre à air varie suivant l'environnement ou les conditions d'utilisation du projecteur.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation.

2 Ôtez le couvercle du filtre à air.

3 Retirez le filtre à air de chacune des griffes (7 positions) du couvercle de filtre à air.

4 Nettoyez le filtre à air à l'aide d'un aspirateur.

5 Fixez le filtre à air de façon à ce qu'il entre dans chacune des griffes (7 positions) du couvercle de filtre à air.

Remarque

Il y a une différence entre l'avant et l'arrière du filtre à air. Montez le filtre à air avec le côté grille vers le haut, comme illustré sur la figure.

6 Remettez en place le couvercle du filtre à air.

Remarques

- S'il n'est pas possible d'enlever la poussière du filtre à air, remplacez ce dernier par un neuf.
  Pour plus d'informations sur le filtre à air neuf, consultez le personnel Sony qualifié.
- Fixez le couvercle du filtre à air correctement. Le projecteur ne peut pas être mis sous tension si le couvercle n'est pas bien introduit.
- Pour effacer un message, appuyez sur n'importe quelle touche du panneau de commande du projecteur ou de la télécommande.

Dépannage

Si le projecteur ne fonctionne pas correctement, essayez d'en déterminer la cause et de remédier au problème comme il est indiqué ci-dessous. Si le problème persiste, consultez le service après-vente Sony.
Pour plus de renseignements sur ce problème, consultez le mode d'emploi sur le CD-ROM.

Tension

Symptôme	Cause et remède
Le projecteur ne se met pas sous tension.	• Le projecteur a été mis hors et sous tension à brefs intervalles à l'aide de la touche I/⏻. ➔ Attendez environ 60 secondes avant de mettre l'appareil sous tension. • Le couvercle de lampe est mal fixé. ➔ Fermez bien le couvercle de la lampe. • Le couvercle du filtre à air est mal fixé. ➔ Fermez solidement le couvercle du filtre à air.

Image

Symptôme	Cause et remède
Pas d'image.	• Un câble est débranché ou les raccordements sont incorrects. ➔ Vérifiez que les raccordements sont corrects. • La sélection d'entrée est incorrecte. ➔ Sélectionnez la source d'entrée correcte en utilisant la touche INPUT. • L'image a été masquée. ➔ Appuyez sur la touche PIC MUTING pour faire réapparaître l'image. • Le signal de l'ordinateur n'est pas réglé sur sortie vers un moniteur externe ou réglé sur sortie vers un moniteur externe et un moniteur LCD d'un ordinateur. ➔ Réglez le signal d'ordinateur sur la sortie seulement vers un moniteur externe. ➔ Selon le type d'ordinateur que vous utilisez - un ordinateur portable ou un ordinateur avec moniteur LCD - vous risquez de devoir commuter la sortie vers le projecteur en appuyant sur certaines touches ou en modifiant les paramètres de votre ordinateur. Pour plus d'informations, consultez le mode d'emploi de votre ordinateur.
L'image est parasitée.	• Des parasites peuvent apparaître à l'arrière-plan de l'image avec certaines combinaisons du nombre de pixels du signal reçu par le connecteur et du nombre de pixels sur le panneau LCD. ➔ Changez la configuration du bureau sur l'ordinateur utilisé.
L'image n'est pas nette.	• Netteté de l'image déréglée. ➔ Réglez la mise au point. • De la condensation s'est formée sur l'objectif. ➔ Laissez le projecteur sous tension pendant environ deux heures.

Symptôme	Cause et remède
L'image dépasse de l'écran.	• Vous avez appuyé sur la touche APA bien qu'il y ait des bandes noires autour de l'image. ➔ Affichez l'image en entier sur l'écran et appuyez sur la touche APA. ➔ Réglez « Déplacement » correctement dans le menu Signal.
L'image tremblote.	• Le paramètre « Phase des points » n'est pas réglé correctement dans le menu Signal. ➔ Réglez « Phase des points » correctement dans le menu Signal.

Indicateurs

Message	Signification et remède
Le témoin LAMP/COVER clignote en orange. (Taux de répétition de 2 clignotements)	• Le couvercle de la lampe ou du filtre à air est mal fixé. ➔ Fixez fermement le couvercle.
Le témoin LAMP/COVER clignote en orange. (Taux de répétition de 3 clignotements)	• La lampe a atteint la fin de sa durée de vie. ➔ Remplacez la lampe. • La lampe a atteint une température élevée. ➔ Attendez 60 secondes pour que la lampe se refroidisse, puis remettez le projecteur sous tension.
ON/STANDBY clignote en rouge. (Taux de répétition de 2 clignotements)	• La température à l'intérieur du projecteur est anormalement élevée. ➔ Assurez-vous que les orifices de ventilation ne sont pas obstrués. • Le projecteur est utilisé à haute altitude. ➔ Assurez-vous que « Mode haute altit. » du menu Réglage est sur « On ».
ON/STANDBY clignote en rouge. (Taux de répétition de 4 clignotements)	Le ventilateur est défectueux. ➔ Consultez le service après-vente Sony.
ON/STANDBY clignote en rouge. (Taux de répétition de 6 clignotements)	Débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale une fois le témoin ON/STANDBY éteint, puis rebranchez-le et remettez le projecteur sous tension. Si le témoin ON/STANDBY clignote en rouge et que le problème persiste, le circuit électrique est en panne. ➔ Consultez le service après-vente Sony.

Spécifications

Système de projection
Panneaux 3 LCD, 1 lentille, système d'obturation à couleur primaire
Panneau LCD VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155 : Panneau XGA de 0,79 pouce (20,1 mm), 2 359 296 pixels (1024 × 768 × 3)
VPL-CW125 : Panneau WXGA de 0,74 pouce (18,8 mm), 3 280 000 pixels (1366 × 800 × 3)
Objectif Objectif zoom 1,2 fois
f 23,5 à 28,2 mm/F1,75 à 2,17
Lampe Lampe ultra haute pression 200 W
Dimensions de l'image projetée
40 à 300 pouces (1 016 à 7 620 mm) (en diagonale)
Sortie de lumière
VPL-CX150/CX155 : 3500 lm
VPL-CX120/CX125/CW125 : 3000 lm
VPL-CX100 : 2700 lm
(Lorsque Mode de lampe est sur « Haut ».)
Distance de projection (Lorsque placé sur le plancher.)

VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155 :
(Lors de la réception d'un signal XGA)
40 pouces (1 016 mm) :
1,2 à 1,4 m (3,9 à 4,6 pieds)
60 pouces (1 524 mm) :
1,8 à 2,1 m (5,9 à 6,9 pieds)
80 pouces (2 032 mm) :
2,4 à 2,8 m (7,9 à 9,2 pieds)
100 pouces (2 540 mm) :
3,0 à 3,5 m (9,8 à 11,5 pieds)
120 pouces (3 048 mm) :
3,6 à 4,1 m (11,8 à 13,5 pieds)
150 pouces (3 810 mm) :
4,5 à 5,2 m (14,8 à 17,1 pieds)
180 pouces (4 572 mm) :
5,4 à 6,2 m (17,7 à 20,3 pieds)
200 pouces (5 080 mm) :
6,0 à 6,9 m (19,7 à 22,6 pieds)
250 pouces (6 350 mm) :
7,5 à 8,7 m (24,6 à 28,5 pieds)
300 pouces (7 620 mm) :
9,1 à 10,4 m (29,9 à 34,1 pieds)

VPL-CW125 :
(Lorsque « Aspect » dans le menu Signal est réglé sur « Plein 2 »)
40 pouces (1 016 mm) :
1,3 à 1,5 m (4,3 à 4,9 pieds)
60 pouces (1 524 mm) :
1,9 à 2,2 m (6,2 à 7,2 pieds)
80 pouces (2 032 mm) :
2,6 à 3,0 m (8,5 à 9,8 pieds)
100 pouces (2 540 mm) :
3,2 à 3,7 m (10,5 à 12,1 pieds)
120 pouces (3 048 mm) :
3,9 à 4,5 m (12,8 à 14,8 pieds)
150 pouces (3 810 mm) :
4,9 à 5,6 m (16,1 à 18,4 pieds)
180 pouces (4 572 mm) :
5,9 à 6,7 m (19,4 à 22,0 pieds)
200 pouces (5 080 mm) :
6,5 à 7,5 m (21,3 à 24,6 pieds)
250 pouces (6 350 mm) :
8,1 à 9,4 m (26,6 à 30,8 pieds)
300 pouces (7 620 mm) :
9,8 à 11,3 m (32,2 à 37,1 pieds)

Il se peut qu'il y ait une légère différence entre la valeur réelle et la valeur théorique indiquée ci-dessus.

Standard couleur
Système NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60, sélection automatique/manuelle
Signaux d'ordinateur compatibles
fH : 19 à 92 kHz
fV : 48 à 92 Hz
(Résolution maximale du signal d'entrée :
SXGA 1400 × 1050
fV : 60 Hz)
Signaux vidéo utilisables
RVB 15 k/50/60 Hz Composant, 50/60 Hz composantes progressif, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), vidéo composite, vidéo Y/C
Dimensions 372 × 90 × 298 mm (14 3/4 × 3 5/8 × 11 3/4 pouces) (l/h/p) (sans pièces de projection)
Poids 4,1 kg (9 lb 1 oz) environ
Alimentation VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155 : 100 à 240 V CA, 2,9 à 1,2 A, 50/60 Hz
VPL-CW125 : 100 à 240 V CA, 2,9 à 1,3 A, 50/60 Hz

Consommation électrique
VPL-CX100/CX120/CX125/
CX150/CX155 : 285 W max.
en veille (standard) : 7 W,
en veille (bas) : 0,5 W
VPL-CW125 : 287 W max.
en veille (standard) : 7 W
en veille (bas) : 0,5 W

Accessoires fournis
Télécommande (1)
Piles de format AA (R6) (2) (VPL-CX125/CX155/CW125)
Pile au lithium CR2025 (1) (VPL-CX100/CX120/CX150)
Cache-objectif (1)
Câble HD D-sub 15 broches (2 m) (1) (1-791-992-xx)
Cordon d'alimentation secteur (1)
CD-ROM (Mode d'emploi, Logiciel d'application) (1)
Guide de référence rapide (1)
Règlements de sécurité (1)
Étiquette de sécurité (1)

La conception et les spécifications sont susceptibles d'être modifiées sans préavis.

Remarque

Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.

Accessoires en option

Lampe de projecteur
LMP-C200 (pour remplacement)

Outil de présentation
RM-PJPK1

Acerca de los manuales que se suministran

Con el proyector se suministran los manuales y programas de software siguientes.
En un sistema Macintosh, sólo podrá leer el Manual de instrucciones.

Manuales

Normativa de seguridad (manual impreso por separado)

Este manual describe notas y precauciones importantes a las que debe prestar atención cuando manipule y utilice este proyector.

Manual de referencia rápida (este manual)

Este manual describe operaciones básicas para la proyección de imágenes una vez realizadas las conexiones necesarias.

Manual de instrucciones (en el CD-ROM)

Este Manual de instrucciones describe la instalación y el funcionamiento de este proyector.

Manual de instrucciones para red (en el CD-ROM)

Este Manual de instrucciones describe cómo configurar y operar las presentaciones de red.

Software (en el CD-ROM)

Projector Station for Air Shot Version 2 (Versión 2.xx) (sólo en japonés y en inglés)

Es un software de aplicación que permite transmitir datos desde un ordenador hasta el proyector.

Acerca del manual de referencia rápida

Este manual de referencia rápida explica las conexiones y las operaciones básicas de esta unidad, y ofrece notas sobre el funcionamiento e información necesarias para el mantenimiento.
Para ver información detallada sobre el funcionamiento, consulte el manual de instrucciones que contiene el CD-ROM que se suministra.
Para ver las precauciones de seguridad, consulte por separado las “Normativa de seguridad”.

Este manual contiene explicaciones para los modelos VPL-CX100, VPL-CX120, VPL-CX125, VPL-CX150, VPL-CX155 y VPL-CW125 en conjunto. Tenga en cuenta que, para las explicaciones, se utiliza principalmente ilustraciones del VPL-CX155.

Usar los manuales del CD-ROM

El CD-ROM suministrado contiene el manual de instrucciones y el archivo ReadMe en japonés, inglés, francés, alemán, italiano, español y chino. En primer lugar, consulte el archivo ReadMe.

Preparativos

Para leer el manual de instrucciones del CD-ROM necesita Adobe Acrobat Reader 5.0 o posterior. Si no tiene Adobe Acrobat Reader instalado en el ordenador, puede descargar de forma gratuita el software de Acrobat Reader desde la dirección URL de Adobe Systems.

Para leer el manual de instrucciones

El manual de instrucciones están en el CD-ROM que se suministra. Inserte en la unidad de CD-ROM del ordenador el CD-ROM que se suministra; el CD-ROM se iniciará automáticamente después de unos momentos. Selecciones el manual de instrucciones que desee leer.
Es posible que el CD-ROM no se inicie automáticamente, según el ordenador. En este caso, abra el archivo de manual de instrucciones de la manera siguiente:

(En el caso de Windows)

① Abra "Mi PC".

② Haga clic con el botón derecho del ratón en el icono de CD-ROM y seleccione "Explorar".

③ Haga doble clic en el archivo "index.htm" y seleccione el manual de instrucciones que desee leer.

(En el caso de Macintosh)

① Haga doble clic en el icono de CD-ROM en el escritorio.

② Haga doble clic en el archivo "index.htm" y seleccione el manual de instrucciones que desee leer.

Notas

Si no puede abrir el archivo "index.htm", haga doble clic en el manual de instrucciones que desee leer de entre las de la carpeta "Operating_Instructions".

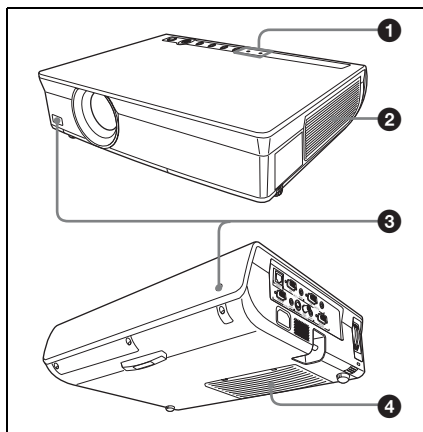
Sobre las marcas comerciales

- Windows es una marca comercial registrada de Microsoft Corporation en los Estados Unidos y/o en otros países.
- Macintosh es una marca comercial registrada de Apple Computer, Inc. en los Estados Unidos y/o en otros países.
- Adobe y Acrobat Reader son marcas comerciales registradas de Adobe Systems Incorporated en Estados Unidos y/o en otros países.

Notas sobre la utilización

Nota sobre los orificios de ventilación

No bloquee los orificios de ventilación (escape/aspiración). Si se bloquean, el calor puede acumularse en el interior y provocar un incendio o daños para la unidad.
Compruebe las posiciones de los orificios de ventilación que se muestran en las ilustraciones siguientes.

Para ver otras precauciones, lea detenidamente, por separado, la "Normativa de seguridad".

❶ **Indicadores**

❷ **Orificios de ventilación (escape)**

❸ **Detector del mando a distancia**

❹ **Orificios de ventilación (aspiración)**

Proyección

Conexión del proyector

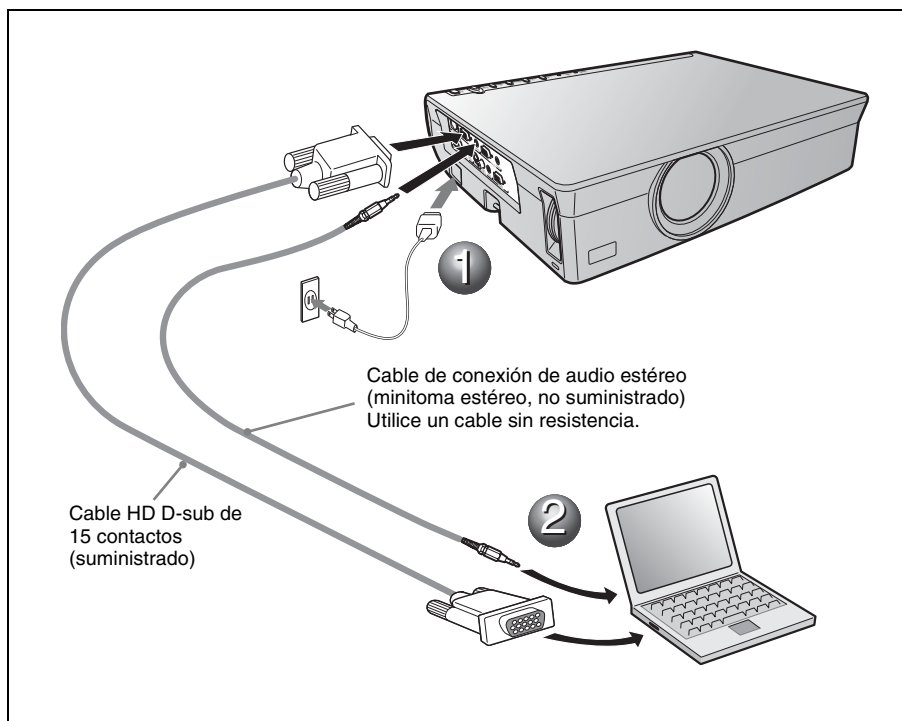
Cuando conecte el proyector, asegúrese de lo siguiente:

• Apagar todos los equipos antes de realizar cualquier conexión.
• Utilizar los cables apropiados para cada conexión.
• Insertar firmemente las clavijas de los cables. Cuando desconecte un cable, asegúrese de tirar del enchufe, no del cable.

Consulte también el manual de instrucciones del equipo que vaya a conectar.

Para conectar un ordenador

❶ Enchufe el cable de alimentación de ca a una toma mural.

❷ Conecte el proyector al ordenador.

Para conectar a un reproductor VCR/DVD

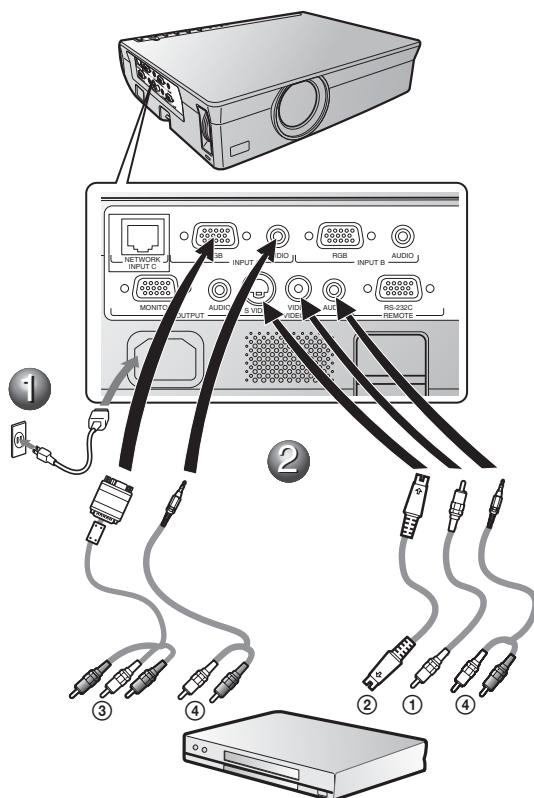
❶ Enchufe el cable de alimentación de ca a una toma mural.

❷ Conecte el proyector a un aparato de vídeo.

Para realizar conexiones de señales de vídeo, dispone de las tres siguientes opciones de conexión:

Para conectar al conector de salida de vídeo de una videograbadora/DVD: haga la conexión con los cables ① y ④.

Para conectar al conector de salida de S vídeo de una videograbadora/DVD: haga la conexión con los cables ② y ④.

Para conectar al conector de vídeo GBR/Componente de una videograbadora/ DVD: haga la conexión con los cables ③ y ④.

① Cable de vídeo compuesto (clavija fonográfica) (no suministrado)

② Cable de S vídeo (mini DIN de 4 contactos) (no suministrado)

③ Cable de componentes (HD D-sub de 15 contactos (macho) ←→ clavija fonográfica × 3) (no suministrado)

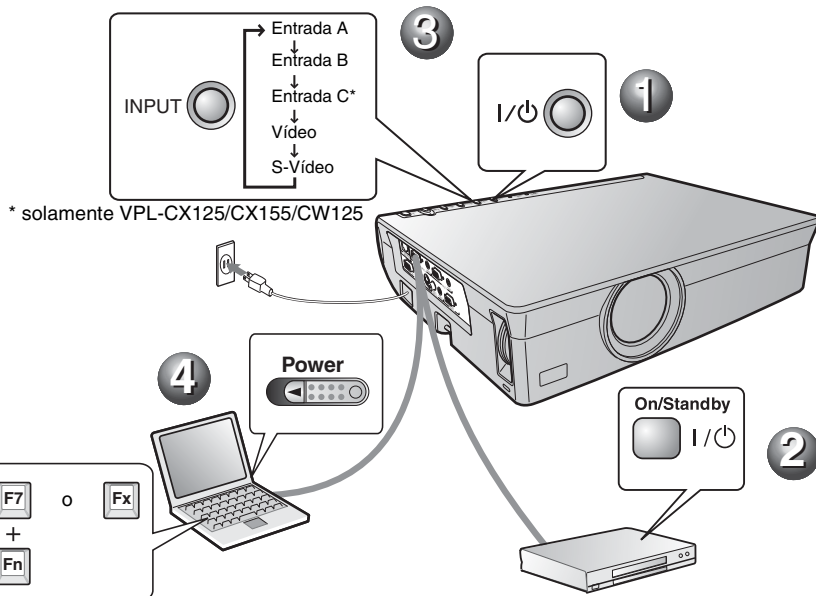
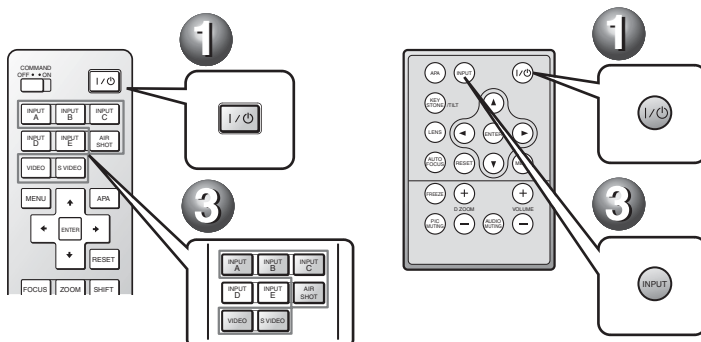
④ Cable de conexión de audio estéreo (minitoma estéreo-tipo fonográfico, no suministrado) (Utilice un cable sin resistencia.)

Proyección

❶ **Pulse la tecla I/⏻ (encendido/espera).**

❷ **Encienda el equipo conectado al proyector.**

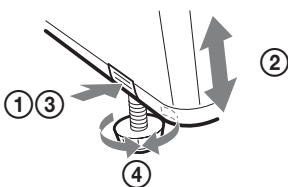
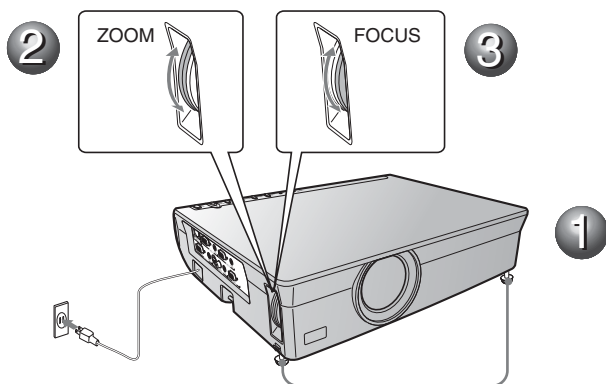
❸ **Pulse la tecla INPUT en el mando a distancia o el panel de control para seleccionar la fuente de entrada.**

❹ **Cuando el ordenador esté conectado, ajústelo de modo que envíe la señal solamente al monitor externo.**

Ajustar el proyector

❶ **Ajuste la posición superior o inferior de la imagen.**

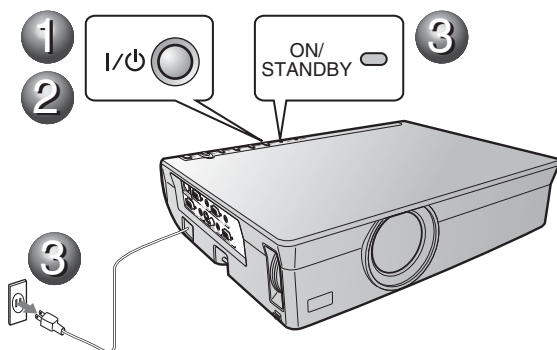
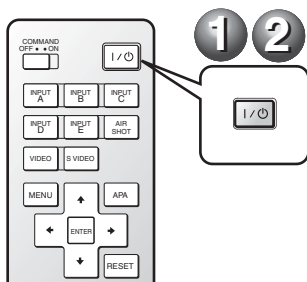
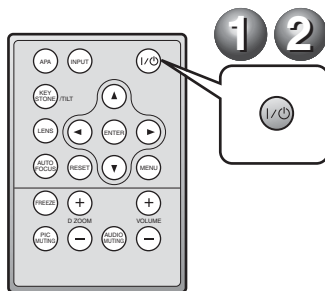
❷ **Ajuste el tamaño de la imagen.**

❸ **Ajuste el enfoque.**

El proyector está equipado con el menú Imagen, que permite seleccionar el modo de imagen, y con el menú Señal, que permite seleccionar la relación de aspecto adecuada para la imagen.

Apagar la alimentación

❶ **Pulse la tecla I/⏻ (encendido/espera).**

❷ **Cuando aparezca un mensaje, pulse de nuevo la tecla I/⏻ (encendido/espera).**

❸ **Desenchufe el cable de alimentación de ca de la toma mural cuando el ventilador deje de funcionar y el indicador ON/STANDBY se ilumine en rojo.**

Sustitución de la lámpara

La lámpara que se utiliza como fuente de luz es un producto consumible. Sustituya la lámpara por una nueva en los casos siguientes.

- Cuando la lámpara se funde o disminuye su brillo.
- Cuando aparece en la pantalla "Sustituya la lámpara y limpie el filtro.".
- El indicador LAMP/COVER parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 3 flashes)

La vida útil de la lámpara varía según las condiciones de uso.
Sustitúyala por una lámpara de proyector LMP-C200.
El uso de lámparas diferentes de la LMP-C200 puede dañar el proyector.

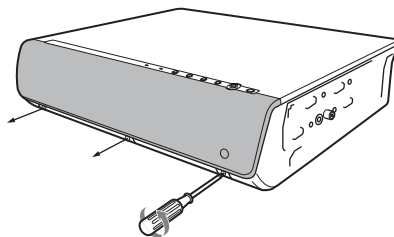
Nota

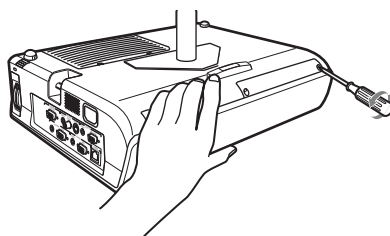
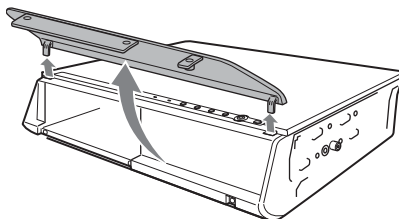
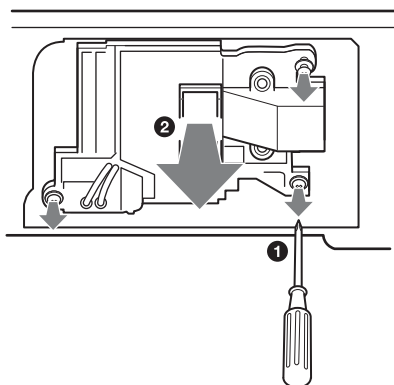
Si la lámpara se rompe, consulte con personal especializado de Sony para que la sustituya y realice una comprobación interna.

1 Apague el proyector y desenchufe el cable de alimentación de ca de la toma de ca.

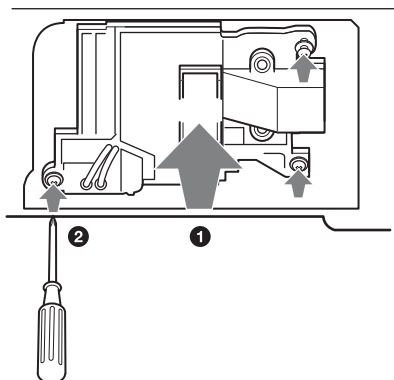
Nota

Antes de sustituir la lámpara, después de usar el proyector, espere al menos una hora hasta que se enfríe.

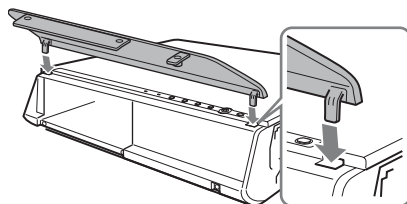
2 Afloje los tres tornillos con el destornillador de estrella para abrir la cubierta de la lámpara.

Nota

Si trabaja con el proyector colgado del techo, sujete la cubierta de la lámpara para que no se caiga cuando quite los tornillos.

3 Coloque los dedos bajo la cubierta de la lámpara y tire hacia arriba para retirar la cubierta de la lámpara.

4 Afloje los tres tornillos de la unidad de la lámpara con el destornillador de estrella (❶), sujete el mando (❷) y, a continuación, extraiga la unidad de la lámpara.

Nota

No permita que ningún objeto metálico, inflamable, etc. se introduzca en la ranura de sustitución de la lámpara.

5 Introduzca por completo la lámpara nueva hasta que quede encajada en su sitio (❶). Apriete los tres tornillos (❷).

Notas

- Tenga cuidado de no tocar la superficie de cristal de la lámpara.
- La alimentación no se activará si la lámpara no está bien instalada.

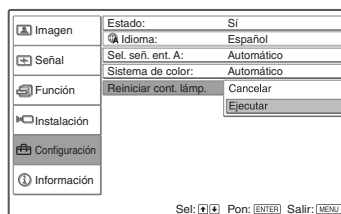
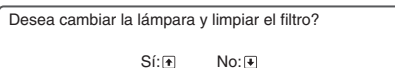
6 Devuelva la cubierta de la lámpara a la posición original y apriete los tres tornillos con el destornillador de estrella.

Nota

Asegúrese de fijar bien la cubierta de la lámpara como estaba. Si no lo hace, no podrá encender el proyector.

7 Conecte el cable de alimentación.
El indicador ON/STANDBY se ilumina en rojo.

8 Pulse la tecla I/⏻ para encender el proyector.

9 Pulse la tecla MENU y, a continuación, seleccione el menú Configuración.

10 Seleccione “Reiniciar cont. lámp.” y, a continuación, pulse la tecla ENTER.

11 Seleccione “Ejecutar” con la tecla ▼ y, a continuación, presione la tecla ENTER.
El contador de la lámpara se inicializa a 0 y se muestra “Desea cambiar la lámpara y limpiar el filtro?” en la pantalla de menús.

Consulte “Limpieza del filtro de aire”.

12 Seleccione “Sí” con la tecla ▲.
En la pantalla de menú se muestra “Reinic. cont. lámp. completa”.

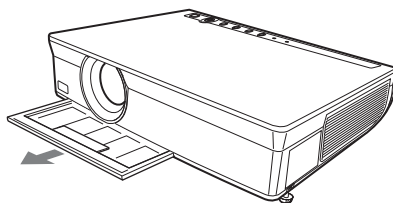
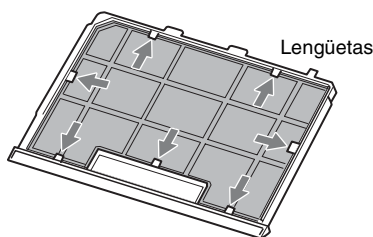
Nota

Para borrar un mensaje, pulse cualquier tecla del panel de control del proyector o del mando a distancia.

Limpieza del filtro de aire

El filtro de aire debe limpiarse siempre que se sustituya la lámpara.
Retire el filtro de aire y, a continuación, quite el polvo con una aspiradora.
El tiempo necesario para limpiar el filtro de aire variará en función del entorno o de cómo se utilice el proyector.

1 Desactive la alimentación y desenchufe el cable de alimentación.

2 Extraiga la cubierta del filtro del aire.

3 Retire el filtro de aire de las lengüetas (7 posiciones) de la cubierta del filtro del aire.

4 Limpie el filtro del aire con una aspiradora.

5 Coloque el filtro de aire de forma que encaje en las lengüetas (7 posiciones) de las cubiertas del filtro del aire.

Nota

La parte delantera y trasera del filtro del aire son diferentes. Monte el filtro con la cara de la cuadrícula orientada hacia arriba, como en la ilustración.

6 Vuelva a colocar la cubierta del filtro de aire.

Notas

- Si no es posible eliminar el polvo del filtro de aire, sustitúyalo por uno nuevo.
  Para ver información detallada sobre el nuevo filtro de aire, consulte con personal especializado de Sony.
- Asegúrese de fijar bien la cubierta del filtro de aire; la alimentación no puede encenderse si no está bien insertada.
- Para borrar un mensaje, pulse cualquier tecla del panel de control del proyector o del mando a distancia.

Solución de problemas

Si el proyector parece no funcionar correctamente, intente diagnosticar y corregir el problema utilizando las siguientes instrucciones. Si el problema no se soluciona, consulte con personal especializado de Sony.
Para obtener información detallada sobre los síntomas, consulte el manual de instrucciones que contiene el CD-ROM.

Alimentación

Síntoma	Causa y solución
La alimentación no se activa.	• La alimentación se ha desactivado y activado de nuevo con la tecla I/⏻ en un corto intervalo. ➔ Espere unos 60 segundos antes de activar la alimentación. • La cubierta de la lámpara no está fijada. ➔ Cierre firmemente la cubierta de la lámpara. • La cubierta del filtro del aire no está fijada. ➔ Cierre firmemente la cubierta del filtro de aire.

Imagen

Síntoma	Causa y solución
Sin imagen.	• Hay un cable desconectado o las conexiones son incorrectas. ➔ Compruebe que ha realizado las conexiones adecuadas. • La selección de entrada es incorrecta. ➔ Seleccione correctamente la fuente de entrada mediante la tecla INPUT. • La imagen está apagada. ➔ Pulse la tecla PIC MUTING para liberar el apagado de la imagen. • La señal del ordenador no está ajustada para la salida hacia un monitor externo, o tanto para un monitor externo como para un monitor LCD de ordenador. ➔ Ajuste el ordenador para que envíe la señal solamente a un monitor externo. ➔ Dependiendo del tipo de ordenador, por ejemplo un portátil o un equipo LCD de tipo “todo en uno”, es posible que deba pulsar determinadas teclas o cambiar la configuración del ordenador para conmutar la salida del ordenador al proyector. Para obtener más información, consulte las instrucciones de funcionamiento suministradas con el ordenador.
La imagen aparece con ruido.	• Puede que aparezca ruido de fondo, en función de la combinación del número de puntos introducidos desde el conector y el número de píxeles del panel LCD. ➔ Cambie el patrón del escritorio del ordenador conectado.
La imagen no es nítida.	• La imagen está desenfocada. ➔ Ajuste el enfoque. • Se ha acumulado condensación en el objetivo. ➔ Deje el proyector encendido durante unas dos horas.

Síntoma	Causa y solución
La imagen se extiende más allá de la pantalla.	• Se ha pulsado la tecla APA aunque hay bordes negros alrededor de la imagen. → Muestre la imagen completa en la pantalla y pulse la tecla APA. → Ajuste correctamente “Desplazamiento” en el menú Señal.
La imagen parpadea.	• “Fase Punto”, en el menú Señal, no se ha ajustado correctamente. → Ajuste correctamente “Fase Punto” en el menú Señal.

Indicadores

Mensaje	Significado y solución
El indicador LAMP/ COVER parpadea en naranja. (Frecuencia de repetición de 2 flashes)	• La cubierta de la lámpara o la del filtro del aire no está fijada. → Fije firmemente la cubierta.
El indicador LAMP/ COVER parpadea en naranja. (Frecuencia de repetición de 3 flashes)	• La lámpara ha llegado al final de su vida útil. → Sustituya la lámpara. • La lámpara ha alcanzado una alta temperatura. → Espere 60 segundos para que la lámpara se enfríe y vuelva a activar la alimentación.
ON/STANDBY parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 2 flashes)	• La temperatura interna es anormalmente alta. → Compruebe que nada bloquee los orificios de ventilación. • Se está utilizando el proyector a una altitud elevada. → Compruebe que la opción “Modo gran altitud” del menú Configuración está ajustada en “Sí”.
ON/STANDBY parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 4 flashes)	El ventilador está averiado. → Consulte con personal especializado de Sony.
ON/STANDBY parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 6 flashes)	Desenchufe el cable de alimentación de ca de la toma mural cuando se apague el indicador ON/STANDBY, enchufe el cable de alimentación en la toma mural y encienda el proyector de nuevo. Si ON/STANDBY parpadea en rojo y el problema persiste, el sistema eléctrico ha fallado. → Consulte con personal especializado de Sony.

Especificaciones

Sistema de proyección
3 paneles LCD, 1 objetivo, sistema de obturación de color primario

Panel LCD
VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155: panel XGA de 0,79 pulgadas (20,1 mm), 2.359.296 píxeles (1024 × 768 × 3)
VPL-CW125: panel WXGA de 0,74 pulgadas (18,8 mm), 3.280.000 píxeles (1366 × 800 × 3)

Objetivo
Objetivo zoom de 1,2 aumentos f 23,5 a 28,2 mm/F1,75 a 2,17

Lámpara
Lámpara de presión ultra alta de 200 W

Tamaño de imagen proyectada
40 a 300 pulgadas (1.016 a 7.620 mm) (medidas diagonalmente)

Emisión de luz
VPL-CX150/CX155: 3500 lm
VPL-CX120/CX125/CW125: 3000 lm
VPL-CX100: 2700 lm
(Cuando el Modo Lámpara está establecido en “Alto”.)

Distancia de proyección (si se coloca en el suelo.)

VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155:
(Cuando se introduce una señal XGA)
40 pulgadas (1.016 mm):
1,2 a 1,4 m (3,9 a 4,6 pies)
60 pulgadas (1.524 mm):
1,8 a 2,1 m (5,9 a 6,9 pies)
80 pulgadas (2.032 mm):
2,4 a 2,8 m (7,9 a 9,2 pies)
100 pulgadas (2.540 mm):
3,0 a 3,5 m (9,8 a 11,5 pies)
120 pulgadas (3.048 mm):
3,6 a 4,1 m (11,8 a 13,5 pies)
150 pulgadas (3.810 mm):
4,5 a 5,2 m (14,8 a 17,1 pies)
180 pulgadas (4.572 mm):
5,4 a 6,2 m (17,7 a 20,3 pies)
200 pulgadas (5.080 mm):
6,0 a 6,9 m (19,7 a 22,6 pies)
250 pulgadas (6.350 mm):
7,5 a 8,7 m (24,6 a 28,5 pies)
300 pulgadas (7.620 mm):
9,1 a 10,4 m (29,9 a 34,1 pies)

VPL-CW125:
(Cuando la opción “Aspecto” del menú Señal está establecida en “Completo 2”)
40 pulgadas (1.016 mm):
1,3 a 1,5 m (4,3 a 4,9 pies)
60 pulgadas (1.524 mm):
1,9 a 2,2 m (6,2 a 7,2 pies)
80 pulgadas (2.032 mm):
2,6 a 3,0 m (8,5 a 9,8 pies)
100 pulgadas (2.540 mm):
3,2 a 3,7 m (10,5 a 12,1 pies)
120 pulgadas (3.048 mm):
3,9 a 4,5 m (12,8 a 14,8 pies)
150 pulgadas (3.810 mm):
4,9 a 5,6 m (16,1 a 18,4 pies)
180 pulgadas (4.572 mm):
5,9 a 6,7 m (19,4 a 22,0 pies)
200 pulgadas (5.080 mm):
6,5 a 7,5 m (21,3 a 24,6 pies)
250 pulgadas (6.350 mm):
8,1 a 9,4 m (26,6 a 30,8 pies)
300 pulgadas (7.620 mm):
9,8 a 11,3 m (32,2 a 37,1 pies)

Es posible que exista una pequeña diferencia entre el valor real y el valor de diseño antes mostrado.

Sistema de color
Sistemas NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60, de conmutación automática/manual

Señales de ordenador aceptables
fH: 19 a 92 kHz
fV: 48 a 92 Hz
(Máxima resolución de señal de entrada: SXGA 1400 × 1050 fV: 60 Hz)

Señales de vídeo aplicables
15 k RGB/50/60 Hz Componente, 50/60 Hz Componente progresivo, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), Vídeo compuesto, Vídeo Y/C

Dimensiones
372 × 90 × 298 mm (14 3/4 × 3 5/8 × 11 3/4 pulgadas) (ancho/alto/profundidad) (sin las partes salientes)

Masa
Aprox. 4,1 kg (9 lb 1 oz)

Requisitos de alimentación
VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155: ca 100 a 240 V, 2,9 a 1,2 A, 50/60 Hz
VPL-CW125: ca 100 a 240 V, 2,9 a 1,3 A, 50/60 Hz

Consumo eléctrico
VPL-CX100/CX120/CX125/
CX150/CX155: 285 W máx. en espera (estándar): 7 W en espera (baja): 0,5 W
VPL-CW125: 287 W máx.
en espera (estándar): 7 W
en espera (baja): 0,5 W

Accesorios suministrados
Mando a distancia (1)
Pilas tamaño AA (R6) (2) (VPL-CX125/CX155/CW125)
Batería de litio CR2025 (1) (VPL-CX100/CX120/CX150)
Tapa del objetivo (1)
Cable HD D-sub de 15 contactos (2 m) (1) (1-791-992-xx)
Cable de alimentación de ca (1)
CD-ROM (Manual de instrucciones, software de aplicación) (1)
Manual de referencia rápida (1)
Normativa de seguridad (1)
Etiqueta de seguridad (1)

El diseño y las especificaciones pueden variar sin previo aviso.

Nota

Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.

Accesorios opcionales

Lámpara de proyector
LMP-C200 (de repuesto)
Herramienta de presentación
RM-PJPK1

Info zu den mitgelieferten Anleitungen

Die folgenden Anleitungen und Software-Programme werden mit dem Projektor geliefert.
Auf einem Macintosh-System können Sie nur die Bedienungsanleitung lesen.

Anleitungen

Sicherheitsbestimmungen (getrennte Druckschrift)

Diese Anleitung enthält wichtige Hinweise und Vorsichtsmaßnahmen, die bei der Handhabung und Benutzung dieses Projektors zu beachten sind.

Kurzreferenz (vorliegende Anleitung)

Diese Anleitung beschreibt die grundlegende Bedienung für das Projizieren von Bildern nach der Herstellung der erforderlichen Anschlüsse.

Bedienungsanleitung (auf der CD-ROM)

Diese Bedienungsanleitung beschreibt die Einrichtung und Funktionen dieses Projektors.

Bedienungsanleitung für Netzwerk (auf der CD-ROM)

Diese Bedienungsanleitung beschreibt die Einrichtung und Bedienung der Netzwerkpräsentation.

Software (auf der CD-ROM)

Projector Station for Air Shot Version 2 (Version 2.xx) (nur Japanisch und Englisch)

Dies ist eine Anwendungs-Software für die Datenübertragung von einem Computer zum Projektor.

Info zur Kurzreferenz

Diese Kurzreferenz erläutert die Anschlüsse und grundlegenden Bedienungsverfahren dieses Gerätes und enthält Hinweise zu den für die Wartung erforderlichen Vorgehensweisen und Informationen. Einzelheiten zu den Bedienungsvorgängen finden Sie in der Bedienungsanleitung, die in der mitgelieferten CD-ROM enthalten ist. Angaben zu Sicherheitsmaßnahmen finden Sie in der getrennten Druckschrift „Sicherheitsbestimmungen“.

Diese Anleitung enthält Erläuterungen für die Modelle VPL-CX100, VPL-CX120, VPL-CX125, VPL-CX150, VPL-CX155 und VPL-CW125. Beachten Sie bitte, dass für Erläuterungszwecke hauptsächlich die Abbildung des VPL-CX155 verwendet wird.

Benutzung der CD-ROM-Anleitungen

Die mitgelieferte CD-ROM enthält die Bedienungsanleitung und die ReadMe-Datei in Japanisch, Englisch, Französisch, Deutsch, Italienisch, Spanisch und Chinesisch. Lesen Sie zuerst die ReadMe-Datei durch.

Vorbereitungen

Um die Bedienungsanleitung auf der CD-ROM lesen zu können, benötigen Sie Adobe Acrobat Reader 5.0 oder später. Falls Adobe Acrobat Reader nicht auf Ihrem Computer installiert ist, können Sie die Software Acrobat Reader von der Adobe Systems-Website kostenlos herunterladen.

So lesen Sie die Bedienungsanleitung

Die Bedienungsanleitung ist in der mitgelieferten CD-ROM enthalten. Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM in das CD-ROM-Laufwerk Ihres Computers ein. Die CD-ROM wird dann kurz darauf automatisch gestartet. Wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.
Je nach der Einstellung des Computers startet die CD-ROM u.U. nicht automatisch. Öffnen Sie in diesem Fall die Bedienungsanleitungsdatei wie folgt:

(Im Falle von Windows)

① Öffnen Sie „Arbeitsplatz“.

② Rechtsklicken Sie auf das CD-ROM-Symbol, und wählen Sie „Explorer“.

③ Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“, und wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.

(Im Falle von Macintosh)

① Doppelklicken Sie auf das CD-ROM-Symbol auf dem Desktop.

② Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“, und wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.

Hinweise

Falls sich die Datei „index.htm“ nicht öffnen lässt, doppelklicken Sie auf die gewünschte Bedienungsanleitung unter denen im Ordner „Operating_Instructions“.

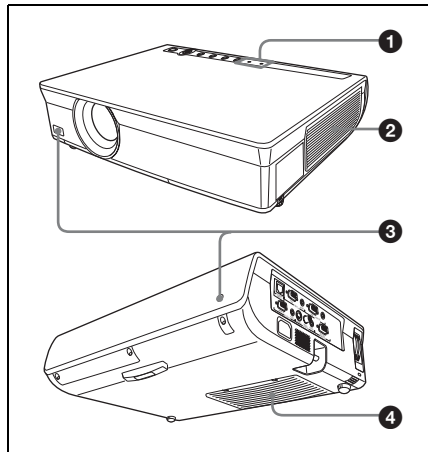
Info zu Warenzeichen

- Windows ist ein eingetragenes Warenzeichen der Microsoft Corporation in den Vereinigten Staaten und/oder in anderen Ländern.
- Macintosh ist ein eingetragenes Warenzeichen von Apple Computer, Inc. in den Vereinigten Staaten und/oder in anderen Ländern.
- Adobe und Acrobat Reader sind eingetragene Warenzeichen von Adobe Systems Incorporated in den Vereinigten Staaten und/oder in anderen Ländern.

Benutzungshinweise

Hinweis zu den Lüftungsöffnungen

Die Lüftungsöffnungen (Auslass/Einlass) dürfen nicht blockiert werden. Falls sie blockiert werden, kann es zu einem internen Wärmestau kommen, der einen Brand oder Beschädigung des Gerätes verursachen kann.
Die Lage der Lüftungsöffnungen können Sie anhand der folgenden Abbildungen feststellen.

Weitere Vorsichtsmaßnahmen sind im Beiblatt „Sicherheitsbestimmungen“ angegeben, das Sie sorgfältig durchlesen sollten.

1 Anzeigen

2 Lüftungsöffnungen (Auslass)

3 Fernbedienungssensor

4 Lüftungsöffnungen (Einlass)

Projizieren

Anschließen des Projektors

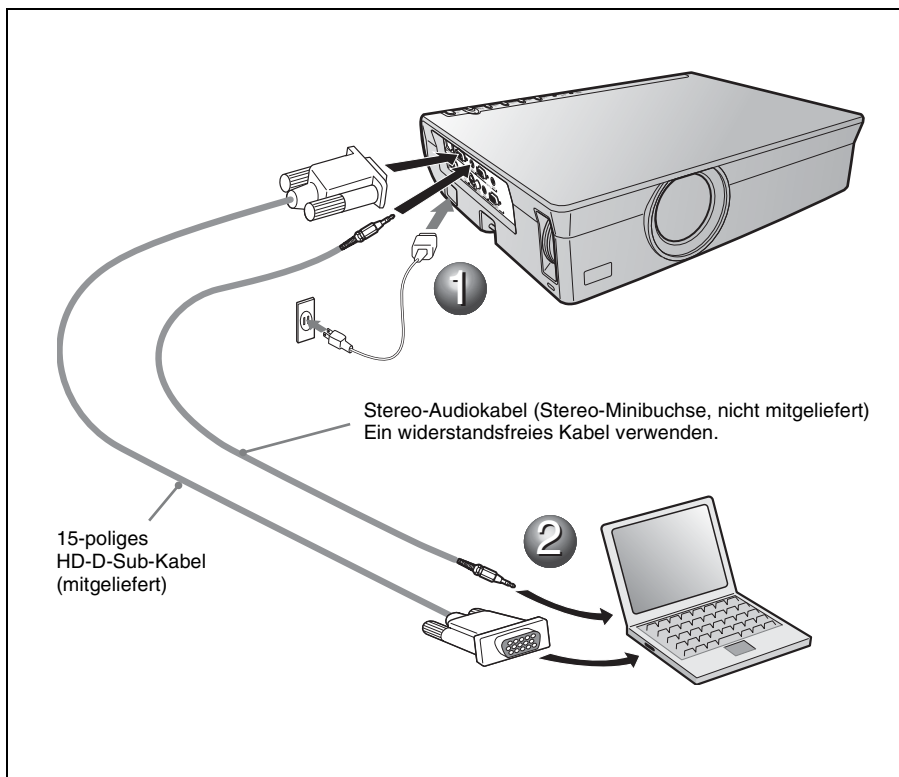
Achten Sie beim Anschließen des Projektors auf Folgendes:

- Schalten Sie alle Geräte aus, bevor Sie irgendwelche Anschlüsse vornehmen.
- Verwenden Sie die korrekten Kabel für jeden Anschluss.
- Stecken Sie die Kabelstecker fest ein. Ziehen Sie beim Abtrennen eines Kabels am Stecker, nicht am Kabel selbst.

Schlagen Sie auch in der Bedienungsanleitung des anzuschließenden Gerätes nach.

Anschluss eines Computers

❶ Stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.

❷ Schließen Sie den Projektor an den Computer an.

Anschluss eines Videorecorders/DVD-Players

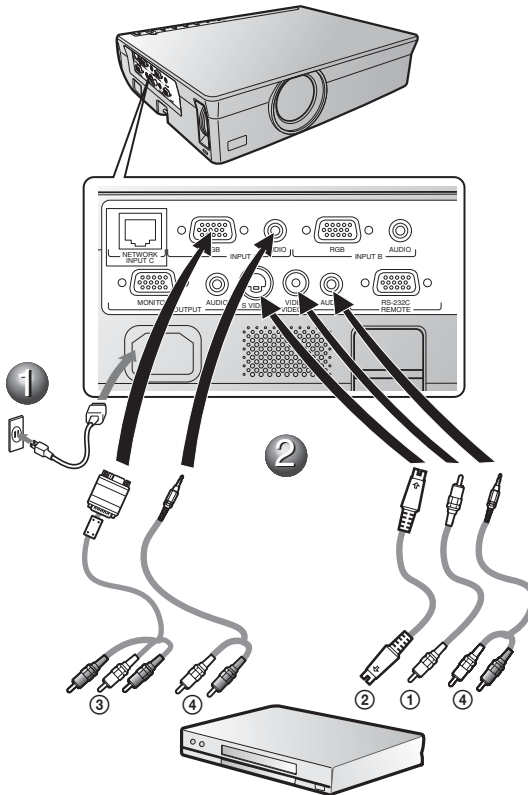
❶ Stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.

❷ Schließen Sie den Projektor an ein Videogerät an.

Für die Videosignalverbindung sind die folgenden drei Anschlussoptionen verfügbar:

Anschluss an die Videoausgangsbuchse eines Videorecorders/DVD-Players: Nehmen Sie den Anschluss mit den Kabeln ① und ④ vor.

Anschluss an die S-Videoausgangsbuchse eines Videorecorders/DVD-Players: Nehmen Sie den Anschluss mit den Kabeln ② und ④ vor.

Anschluss an die Video-GBR-/Komponentenbuchsen eines Videorecorders/ DVD-Players: Nehmen Sie den Anschluss mit den Kabeln ③ und ④ vor.

① FBAS-Videokabel (Cinchstecker) (nicht mitgeliefert)

② S-Videokabel (Mini-DIN, 4-polig) (nicht mitgeliefert)

③ Komponentenkabel (HD D-Sub, 15-polig (Stecker) ←→ Cinchstecker × 3) (nicht mitgeliefert)

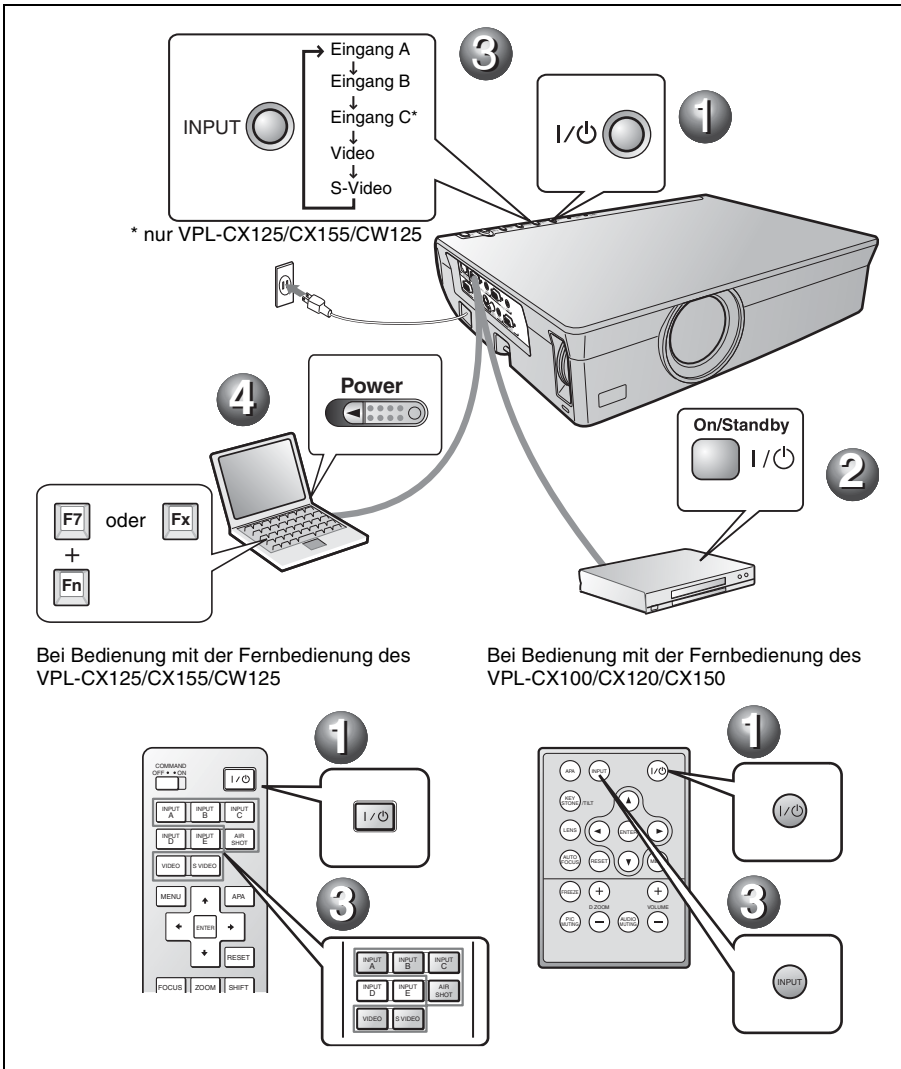
④ Stereo-Audiokabel (Stereo-Minibuchse – Cinchbuchse, nicht mitgeliefert) (Ein widerstandsfreies Kabel verwenden.)

Projizieren

❶ **Drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft).**

❷ **Schalten Sie das an den Projektor angeschlossene Gerät ein.**

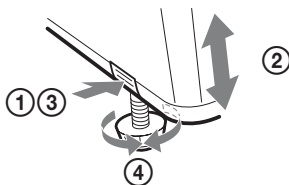
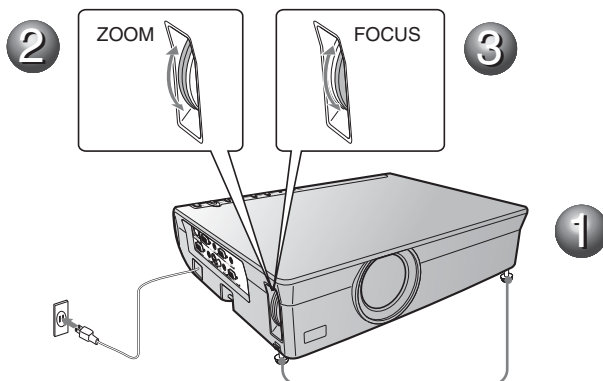
❸ **Drücken Sie die Taste INPUT an der Fernbedienung oder am Bedienfeld zur Wahl der Eingangsquelle.**

❹ **Wenn Sie einen Computer anschließen, stellen Sie ihn so ein, dass das Signal nur an den externen Monitor ausgegeben wird.**

Einstellen des Projektors

❶ Stellen Sie die obere oder untere Bildposition ein.

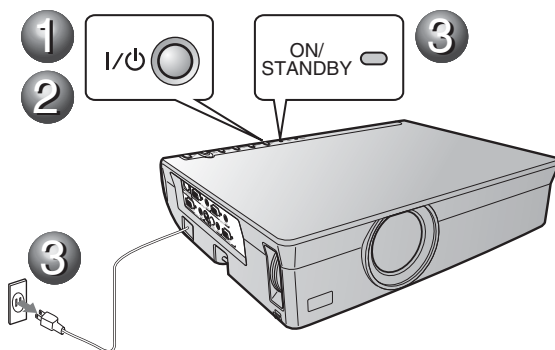
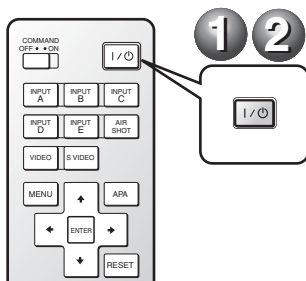
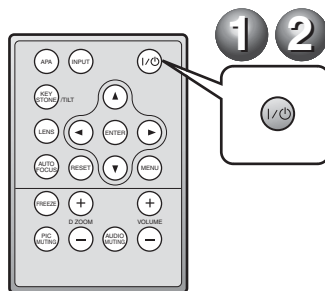
❷ Stellen Sie die Bildgröße ein.

❸ Stellen Sie die Schärfe ein.

Der Projektor verfügt über das Menü Bild zur Wahl des Bildmodus und das Menü Signal zur Wahl des geeigneten Bildseitenverhältnisses.

Ausschalten des Projektors

❶ **Drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft).**

❷ **Wenn eine Meldung erscheint, drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/ Bereitschaft) erneut.**

❸ **Ziehen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, wenn der Lüfter stehen bleibt und die Anzeige ON/STANDBY in Rot aufleuchtet.**

Auswechseln der Lampe

Die als Lichtquelle verwendete Lampe ist ein Verbrauchsprodukt. Ersetzen Sie diese Lampe in den folgenden Fällen durch eine neue.

- Wenn die Lampe durchgebrannt ist oder schwach wird
- Wenn „Bitte die Lampe auswechseln und den Filter reinigen.“ auf dem Bildschirm erscheint.
- Die Anzeige LAMP/COVER blinkt in Rot. (Wiederholrate von 3 Blinkzeichen)

Die Lampenlebensdauer hängt von den Benutzungsbedingungen ab.
Verwenden Sie eine Projektorlampe LMP-C200 als Ersatzlampe.
Die Verwendung einer anderen Lampe als LMP-C200 kann zu einer Beschädigung des Projektors führen.

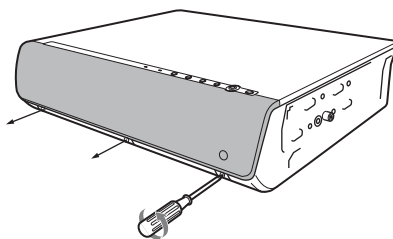
Hinweis

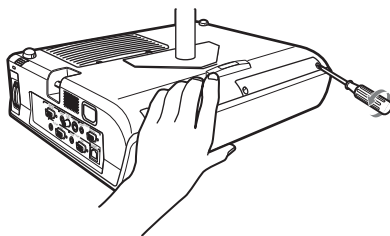
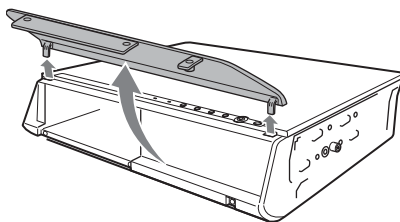
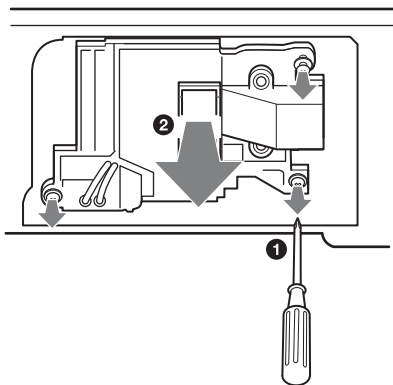
Wenden Sie sich bei einem Lampendefekt bezüglich des Lampenwechsels und einer internen Überprüfung an qualifiziertes Sony-Personal.

1 Schalten Sie den Projektor aus, und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.

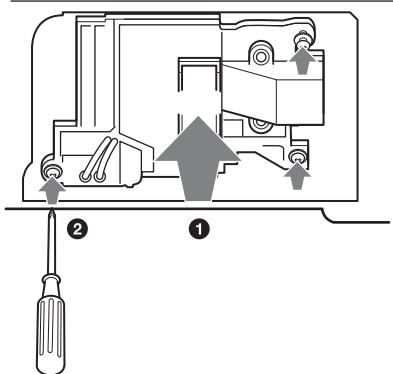
Hinweis

Lassen Sie die Lampe nach dem Gebrauch des Projektors mindestens eine Stunde lang abkühlen, bevor Sie sie auswechseln.

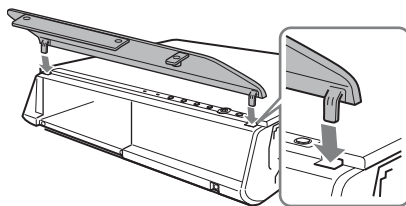
2 Öffnen Sie die Lampenabdeckung durch Lösen der drei Schrauben mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher.

Hinweis

Wenn Sie an dem an der Decke montierten Projektor arbeiten, halten Sie die Lampenabdeckung fest, damit sie beim Lösen der Schrauben nicht herunterfällt.

3 Klappen Sie die Lampenabdeckung zum Entfernen mit den Fingern nach oben.

4 Lösen Sie die drei Schrauben an der Lampeneinheit mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher (❶), halten Sie den Knopf (❷), und ziehen Sie dann die Lampeneinheit heraus.

Hinweis

Achten Sie darauf, dass keine Metallgegenstände oder brennbare Gegenstände usw. in den Lampensteckplatz gelangen.

5 Setzen Sie die neue Lampe vollständig ein, bis sie richtig sitzt (❶). Ziehen Sie die drei Schrauben an (❷).

Hinweise

- Achten Sie darauf, dass Sie nicht den Glaskörper der Lampe berühren.
- Der Projektor lässt sich nicht einschalten, falls die Lampe nicht einwandfrei gesichert ist.

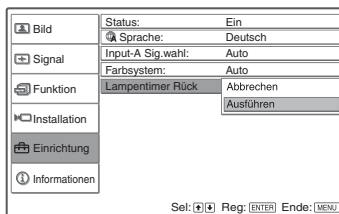
6 Bringen Sie die Lampenabdeckung wieder in ihre Ausgangsstellung, und ziehen Sie die drei Schrauben mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher an.

Hinweis

Befestigen Sie die Lampenabdeckung wieder vorschriftsmäßig. Anderenfalls kann der Projektor nicht eingeschaltet werden.

7 Schließen Sie das Netzkabel an.
Die Anzeige ON/STANDBY leuchtet in Rot.

8 Drücken Sie die Taste I/⏻, um den Projektor einzuschalten.

9 Drücken Sie die Taste MENU, und wählen Sie dann das Menü Einrichtung.

10 Wählen Sie „Lampentimer Rück“, und drücken Sie dann die Taste ENTER.

11 Wählen Sie „Ausführen“ mit der Taste ▼, und drücken Sie die Taste ENTER.
Der Lampentimer wird auf 0 zurückgestellt, und „Lampe auswechseln und Filter reinigen?“ wird auf dem Menübildschirm angezeigt.

Lampe auswechseln und Filter reinigen?
Ja:⬆ Nein:⬇

Finden Sie unter „Reinigen des Luftfilters“.

12 Wählen Sie „Ja“ mit der Taste ▲.
„Lampentimer-Rückstellung fertig!“ erscheint auf dem Menübildschirm.

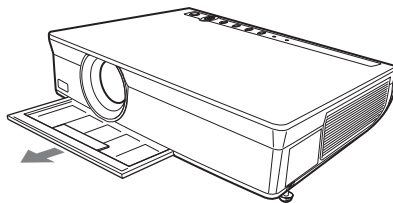
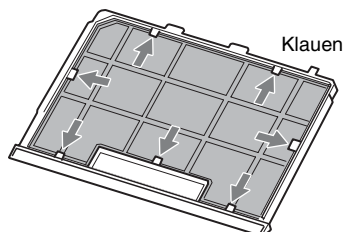
Hinweis

Um eine Meldung zu löschen, drücken Sie eine beliebige Taste am Bedienfeld des Projektors oder an der Fernbedienung.

Reinigen des Luftfilters

Der Luftfilter sollte bei jedem Auswechseln der Lampe gereinigt werden.
Nehmen Sie den Luftfilter heraus, und entfernen Sie dann den Staub mit einem Staubsauger.
Die für die Reinigung des Luftfilters erforderliche Zeit hängt von der Umgebung oder der Benutzungsweise des Projektors ab.

1 Schalten Sie den Projektor aus, und ziehen Sie das Netzkabel ab.

2 Entfernen Sie die Luftfilterabdeckung.

3 Nehmen Sie den Luftfilter von den Klauen (7 Positionen) der Luftfilterabdeckung ab.

4 Reinigen Sie den Luftfilter mit einem Staubsauger.

5 Bringen Sie den Luftfilter so an, dass er von den Klauen (7 Positionen) der Luftfilterabdeckung gehalten wird.

Hinweis

Es besteht ein Unterschied zwischen der Vorder- und Rückseite des Luftfilters. Befestigen Sie den Luftfilter mit der Gitterseite nach oben, wie in der Abbildung gezeigt.

6 Bringen Sie die Luftfilterabdeckung wieder an.

Hinweise

- Falls sich der Staub nicht mehr vom Luftfilter entfernen lässt, ersetzen Sie den Luftfilter durch einen neuen.
  Um Einzelheiten über den neuen Luftfilter zu erfahren, konsultieren Sie bitte qualifiziertes Sony-Personal.
- Befestigen Sie die Luftfilterabdeckung einwandfrei; anderenfalls kann der Projektor nicht eingeschaltet werden.
- Um eine Meldung zu löschen, drücken Sie eine beliebige Taste am Bedienfeld des Projektors oder an der Fernbedienung.

Fehlerbehebung

Falls der Projektor nicht richtig zu funktionieren scheint, versuchen Sie zunächst, die Störung mithilfe der folgenden Anweisungen ausfindig zu machen und zu beheben. Sollte die Störung bestehen bleiben, wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal. Einzelheiten zu den Symptomen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM.

Stromversorgung

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Der Projektor lässt sich nicht einschalten.	• Der Projektor ist mit der Taste I/⏻ in kurzen Abständen aus- und eingeschaltet worden. ➔ Warten Sie bis zum erneuten Einschalten etwa 60 Sekunden. • Die Lampenabdeckung ist losgelöst. ➔ Schließen Sie die Lampenabdeckung einwandfrei. • Die Luftfilterabdeckung ist los. ➔ Schließen Sie die Luftfilterabdeckung einwandfrei.

Bild

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Kein Bild.	• Ein Kabel ist abgetrennt, oder die Anschlüsse sind falsch. ➔ Prüfen Sie, ob die Anschlüsse korrekt ausgeführt worden sind. • Die Eingangswahl ist falsch. ➔ Wählen Sie die Eingangsquelle mit der Taste INPUT korrekt aus. • Das Bild ist abgeschaltet. ➔ Drücken Sie die Taste PIC MUTING, um die Bildabschaltung aufzuheben. • Der Computer ist so eingestellt, dass sein Signal entweder gar nicht zu einem externen Monitor oder sowohl zu einem externen Monitor als auch zum LCD-Monitor des Computers ausgegeben wird. ➔ Stellen Sie den Computer so ein, dass die Signalausgabe nur zu einem externen Monitor erfolgt. ➔ Je nach der Art Ihres Computers (z.B. Notebook-Computer oder voll integrierter LCD-Typ) müssen Sie den Computer eventuell durch Drücken bestimmter Tasten oder durch Ändern der Einstellungen so einstellen, dass das Ausgangssignal an den Projektor ausgegeben wird. Einzelheiten hierzu entnehmen Sie bitte der Bedienungsanleitung Ihres Computers.
Das Bild ist verrauscht.	• Je nach der Kombination der über die Buchse eingegebenen Bildpunktezahl und der Pixelzahl auf dem LCD-Panel kann Hintergrundrauschen auftreten. ➔ Ändern Sie das Desktopmuster am angeschlossenen Computer.
Das Bild ist nicht klar.	• Bild ist nicht fokussiert. ➔ Stellen Sie die Schärfe ein. • Kondensation hat sich auf dem Objektiv niedergeschlagen. ➔ Lassen Sie den Projektor etwa zwei Stunden lang eingeschaltet.

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Das Bild steht von der Leinwand über.	• Die Taste APA ist gedrückt worden, obwohl schwarze Ränder um das Bild vorhanden sind. ➔ Projizieren Sie das volle Bild auf die Leinwand, und drücken Sie die Taste APA. ➔ Stellen Sie „Lage“ im Menü Signal korrekt ein.
Das Bild flimmert.	• „Punkt-Phase“ im Menü Signal ist nicht richtig eingestellt worden. ➔ Stellen Sie „Punkt-Phase“ im Menü Signal korrekt ein.

Anzeigen

Meldung	Bedeutung und Abhilfemaßnahme
Die Anzeige LAMP/ COVER blinkt in Orange. (Wiederholrate von 2 Blinkzeichen)	• Die Lampenabdeckung oder die Luftfilterabdeckung ist abgenommen. ➔ Bringen Sie die Abdeckung sicher an.
Die Anzeige LAMP/ COVER blinkt in Orange. (Wiederholrate von 3 Blinkzeichen)	• Die Lampe hat das Ende ihrer Nutzungsdauer erreicht. ➔ Wechseln Sie die Lampe aus. • Die Lampe ist zu heiß geworden. ➔ Lassen Sie die Lampe 60 Sekunden lang abkühlen, bevor Sie den Projektor wieder einschalten.
ON/STANDBY blinkt in Rot. (Wiederholrate von 2 Blinkzeichen)	• Die Innentemperatur ist ungewöhnlich hoch. ➔ Stellen Sie sicher, dass die Lüftungsöffnungen durch nichts blockiert werden. • Der Projektor wird in großer Höhe benutzt. ➔ Vergewissern Sie sich, dass „Höhenlagenmodus“ im Menü Einrichtung auf „Ein“ gesetzt ist.
ON/STANDBY blinkt in Rot. (Wiederholrate von 4 Blinkzeichen)	Der Lüfter ist defekt. ➔ Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
ON/STANDBY blinkt in Rot. (Wiederholrate von 6 Blinkzeichen)	Ziehen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, nachdem die Anzeige ON/STANDBY erloschen ist, schließen Sie dann das Netzkabel wieder an die Netzsteckdose an, und schalten Sie den Projektor wieder ein. Falls die Anzeige ON/STANDBY in Rot blinkt und das Problem weiterhin bestehen bleibt, liegt eine Störung im elektrischen System vor. ➔ Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.

Spezifikationen

Projektionssystem
3 LCD-Panel, 1 Objektiv, Primärfarbe-Verschlusssystem
LCD-Panel VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155: 0,79-Zoll (20,1 mm)-XGA-Panel, 2.359.296 Pixel (1024 × 768 × 3)
VPL-CW125: 0,74-Zoll (18,8 mm)-WXGA-Panel, 3.280.000 Pixel (1366 × 800 × 3)
Objektiv 1,2-fach-Zoomobjektiv
Brennweite 23,5 bis 28,2 mm/ F1,75 bis 2,17
Lampe 200-W-Ultra-Hochdrucklampe
Projektionsbildgröße
40 bis 300 Zoll (1.016 bis 7.620 mm) (diagonal gemessen)
Lichtleistung VPL-CX150/CX155: 3500 lm
VPL-CX120/CX125/CW125: 3000 lm
VPL-CX100: 2700 lm
(Bei Einstellung des Lichtleistung auf „Hoch".)
Projektionsentfernung (Bei Bodenaufstellung)

VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155:

(Bei Eingabe eines XGA-Signals)
40-Zoll (1.016 mm): 1,2 bis 1,4 m
60-Zoll (1.524 mm): 1,8 bis 2,1 m
80-Zoll (2.032 mm): 2,4 bis 2,8 m
100-Zoll (2.540 mm): 3,0 bis 3,5 m
120-Zoll (3.048 mm): 3,6 bis 4,1 m
150-Zoll (3.810 mm): 4,5 bis 5,2 m
180-Zoll (4.572 mm): 5,4 bis 6,2 m
200-Zoll (5.080 mm): 6,0 bis 6,9 m
250-Zoll (6.350 mm): 7,5 bis 8,7 m
300-Zoll (7.620 mm): 9,1 bis 10,4 m

VPL-CW125:

(Wenn „Seitenverhältnis" im Menü „Signal" auf „Voll2" eingestellt wird)
40-Zoll (1.016 mm): 1,3 bis 1,5 m
60-Zoll (1.524 mm): 1,9 bis 2,2 m
80-Zoll (2.032 mm): 2,6 bis 3,0 m
100-Zoll (2.540 mm): 3,2 bis 3,7 m
120-Zoll (3.048 mm): 3,9 bis 4,5 m
150-Zoll (3.810 mm): 4,9 bis 5,6 m
180-Zoll (4.572 mm): 5,9 bis 6,7 m
200-Zoll (5.080 mm): 6,5 bis 7,5 m
250-Zoll (6.350 mm): 8,1 bis 9,4 m
300-Zoll (7.620 mm): 9,8 bis 11,3 m

Es kann eine geringe Differenz zwischen dem tatsächlichen Wert und dem oben angegebenen Nennwert auftreten.

Farbsystem NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60-System, automatische/manuelle Umschaltung
Akzeptable Computersignale
fH: 19 bis 92 kHz
fV: 48 bis 92 Hz
(Maximale Eingangssignalauflösung: SXGA 1400 × 1050 fV: 60 Hz)
Verwendbare Videosignale
15 k RGB/Komponentensignal 50/60 Hz, Progressives Komponentensignal 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), FBAS-Videosignal, Y/C-Videosignal
Abmessungen 372 × 90 × 298 mm (B/H/T) (ohne vorspringende Teile)
Gewicht ca. 4,1 kg
Stromversorgung
VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155: 100 bis 240 V Wechselstrom, 2,9 bis 1,2 A, 50/60 Hz
VPL-CW125: 100 bis 240 V Wechselstrom, 2,9 bis 1,3 A, 50/60 Hz
Leistungsaufnahme
VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155:
Max. 285 W
im Bereitschaftsmodus (normal): 7 W
— bei Bereitschaft (niedrig): 0,5 W
VPL-CW125: Max. 287 W
im Bereitschaftsmodus (normal): 7 W
— bei Bereitschaft (niedrig): 0,5 W
Mitgeliefertes Zubehör
Fernbedienung (1)
Batterien der Größe AA (R6) (2) (VPL-CX125/CX155/CW125)
Lithiumbatterie CR2025 (1) (VPL-CX100/CX120/CX150)
Objektivdeckel (1)
15-poliges HD D-Sub-Kabel (2 m) (1) (1-791-992-xx)
Netzkabel (1)
CD-ROM (Bedienungsanleitung, Anwendungs-Software) (1)
Kurzreferenz (1)
Sicherheitsbestimmungen (1)
Sicherheitsaufkleber (1)

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Hinweis

Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.

Sonderzubehör

Projektorlampe
LMP-C200 (Ersatz)
Präsentationstool
RM-PJPK1

Informazioni sui manuali forniti

Con il proiettore sono forniti i seguenti manuali e software.
Su un sistema Macintosh è possibile leggere solo le istruzioni d'uso.

Manuali

Normative di sicurezza (manuale stampato a parte)

Questo manuale fornisce note e precauzioni importanti da osservare nel maneggiare e utilizzare il proiettore.

Guida rapida all'uso (questo manuale)

Questo manuale descrive le funzioni fondamentali per proiettare le immagini dopo aver effettuato i collegamenti necessari.

Istruzioni d'uso (sul CD-ROM)

Queste istruzioni d'uso descrivono l'impostazione e il funzionamento del proiettore.

Istruzioni d'uso della rete (sul CD-ROM)

Queste istruzioni d'uso descrivono come impostare ed effettuare presentazioni in rete.

Software (sul CD-ROM)

Projector Station for Air Shot Version 2 (versione 2.xx) (solo in giapponese e inglese)

Software applicativo per la trasmissione dati da un computer al proiettore.

Informazioni sulla guida rapida all'uso

Questa guida rapida all'uso spiega i collegamenti e il funzionamento di base di questa unità e contiene delle note sulle funzioni e sulle informazioni relative alla manutenzione.
Per dettagli sul funzionamento, fare riferimento alle istruzioni d'uso contenute nel CD-ROM in dotazione.
Per le precauzioni di sicurezza, fare riferimento alle "Normative di sicurezza" a parte.

Questo manuale contiene le istruzioni che si applicano a VPL-CX100, VPL-CX120, VPL-CX125, VPL-CX150, VPL-CX155 e VPL-CW125. Tenere presente che nella spiegazione di quanto visualizzato è stato usato principalmente il VPL-CX155.

Uso dei manuali su CD-ROM

Il CD-ROM in dotazione contiene le istruzioni d'uso e il file ReadMe in giapponese, inglese, francese, tedesco, italiano, spagnolo e cinese. Fare innanzi tutto riferimento al file ReadMe.

Preparazione

Per leggere le istruzioni d'uso su CD-ROM è necessario Adobe Acrobat Reader 5.0 o successivo. Se sul computer di cui si dispone non è installato Adobe Acrobat Reader, è possibile scaricare gratuitamente il software Acrobat Reader dall'URL di Adobe Systems.

Leggere le istruzioni d'uso

Le istruzioni d'uso sono contenute nel CD-ROM in dotazione. Inserire il CD-ROM nell'apposita unità del computer e dopo un momento sì avvierà automaticamente. Selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere.
In funzione del computer utilizzato il CD-ROM potrebbe non avviarsi automaticamente. In tal caso, aprire il file delle istruzioni d'uso come segue:

(Caso di Windows)

① Aprire "Risorse del computer".

② Fare clic con il pulsante destro del mouse sull'icona del CD-ROM e selezionare "Esplora".

③ Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere.

(Caso di Macintosh)

① Fare doppio clic sull'icona del CD-ROM sul desktop.

② Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere.

Note

Se non è possibile aprire il file "index.htm", fare doppio clic sulle istruzioni d'uso che si desidera leggere fra quelle contenute nella cartella "Operating_Instructions".

Informazioni sui marchi commerciali

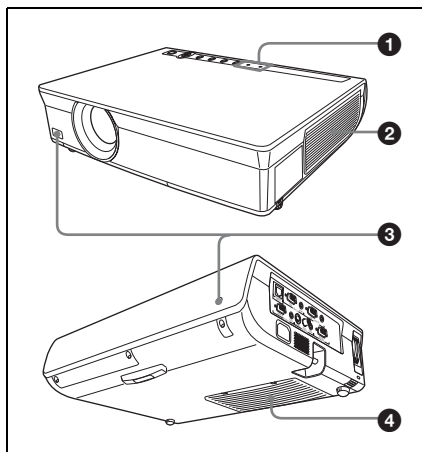
- Windows è un marchio commerciale registrato di Microsoft Corporation negli Stati Uniti d'America e/o in altri paesi.
- Macintosh è un marchio commerciale registrato di Apple Computer, Inc. negli Stati Uniti d'America e/o in altri paesi.
- Adobe e Acrobat Reader sono marchi registrati di Adobe Systems Incorporated negli Stati Uniti d'America e/o in altri paesi.

IT

Note sull'uso

Note sulle prese di ventilazione

Non ostruire le prese di ventilazione (scarico/aspirazione). Se fossero ostruite, potrebbe verificarsi un surriscaldamento interno e provocare incendio o guasto dell'unità.
Verificare la posizione delle prese di ventilazione mostrate nelle illustrazioni che seguono.

Per altre precauzioni, leggere attentamente le "Normative di sicurezza" a parte.

❶ **Spie**

❷ **Prese di ventilazione (scarico)**

❸ **Rivelatore del telecomando**

❹ **Prese di ventilazione (aspirazione)**

Proiezione

Collegamento del proiettore

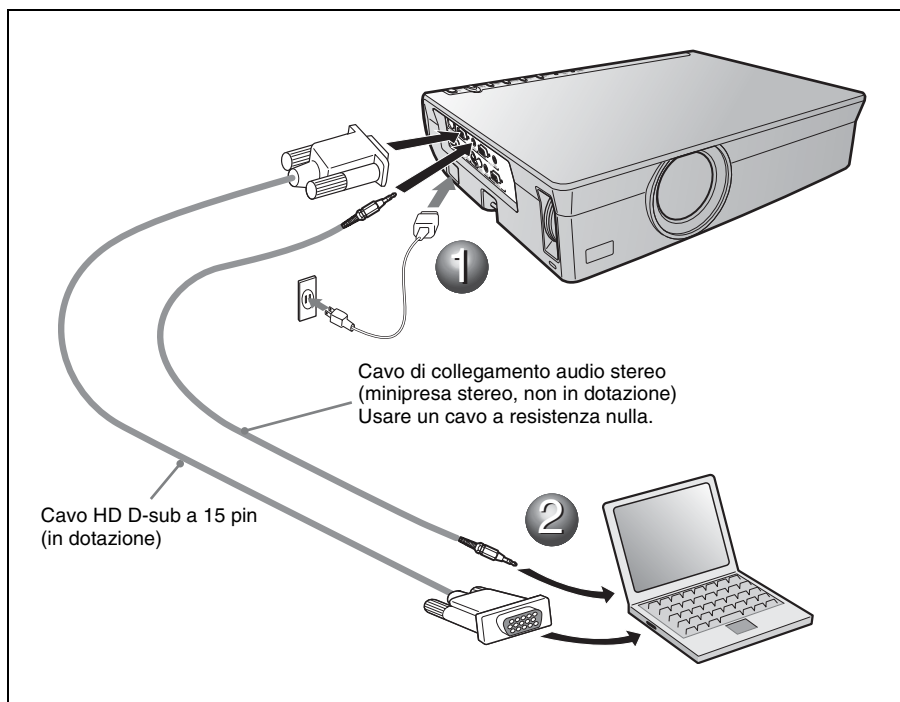
Nel collegare il proiettore, prestare attenzione a quanto segue:

- Spegnere tutte le apparecchiature prima di effettuare qualsiasi collegamento.
- Usare cavi adatti a ciascun collegamento.
- Inserire saldamente le spine dei cavi. Per scollegare un cavo, afferrare la spina senza tirare il cavo stesso.

Fare anche riferimento al manuale di istruzioni dell'apparecchiatura da collegare.

Collegamento di un computer

❶ Inserire il cavo di alimentazione c.a. in una presa a muro.

❷ Collegare il proiettore al computer.

Collegamento a un videoregistratore/lettore DVD

❶ Inserire il cavo di alimentazione c.a. in una presa a muro.

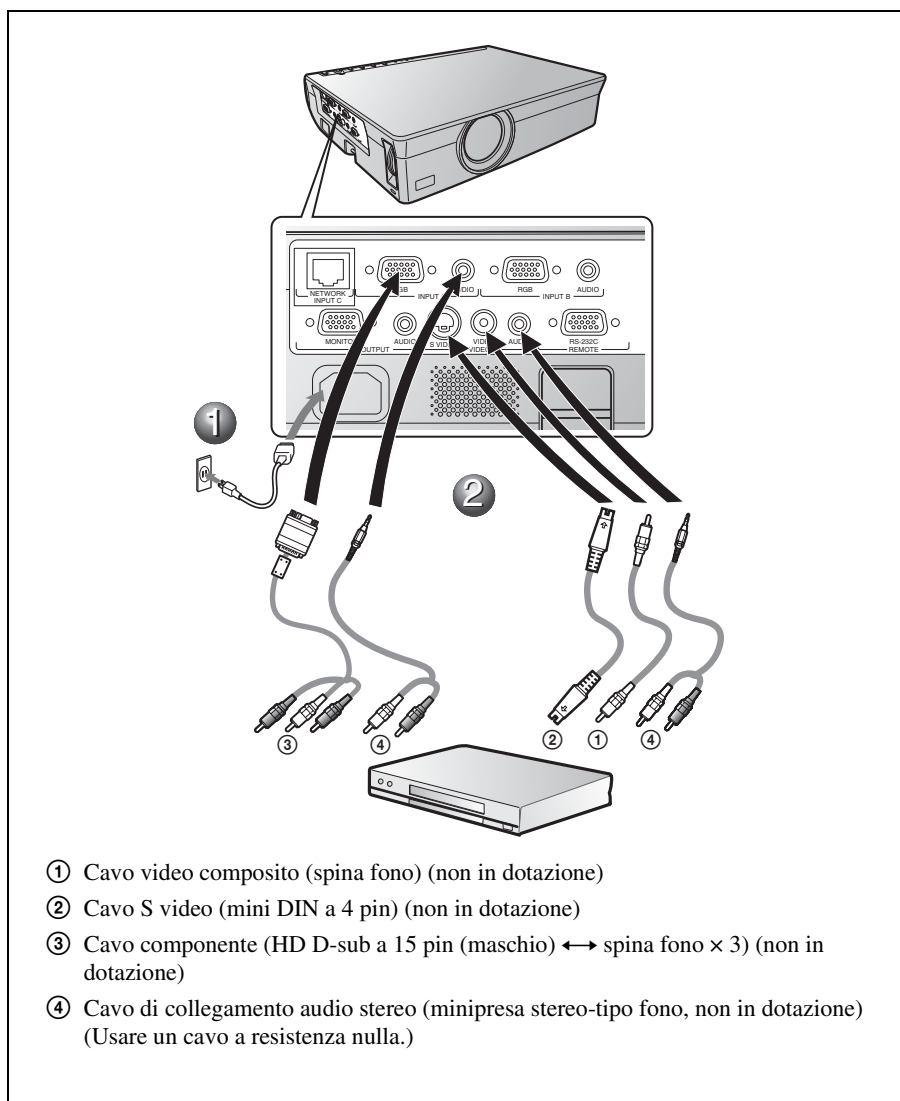
❷ Collegare il proiettore all'apparecchiatura video.

I collegamenti di segnali video disponibili sono i seguenti:
Per collegare il connettore di uscita video di un VCR/DVD: usare i cavi ① e ④.
Per collegare il connettore di uscita S video di un VCR/DVD: usare i cavi ② e ④.
Per collegare il connettore video GBR/Componente di un VCR/DVD: usare i cavi ③ e ④.

① Cavo video composito (spina fono) (non in dotazione)

② Cavo S video (mini DIN a 4 pin) (non in dotazione)

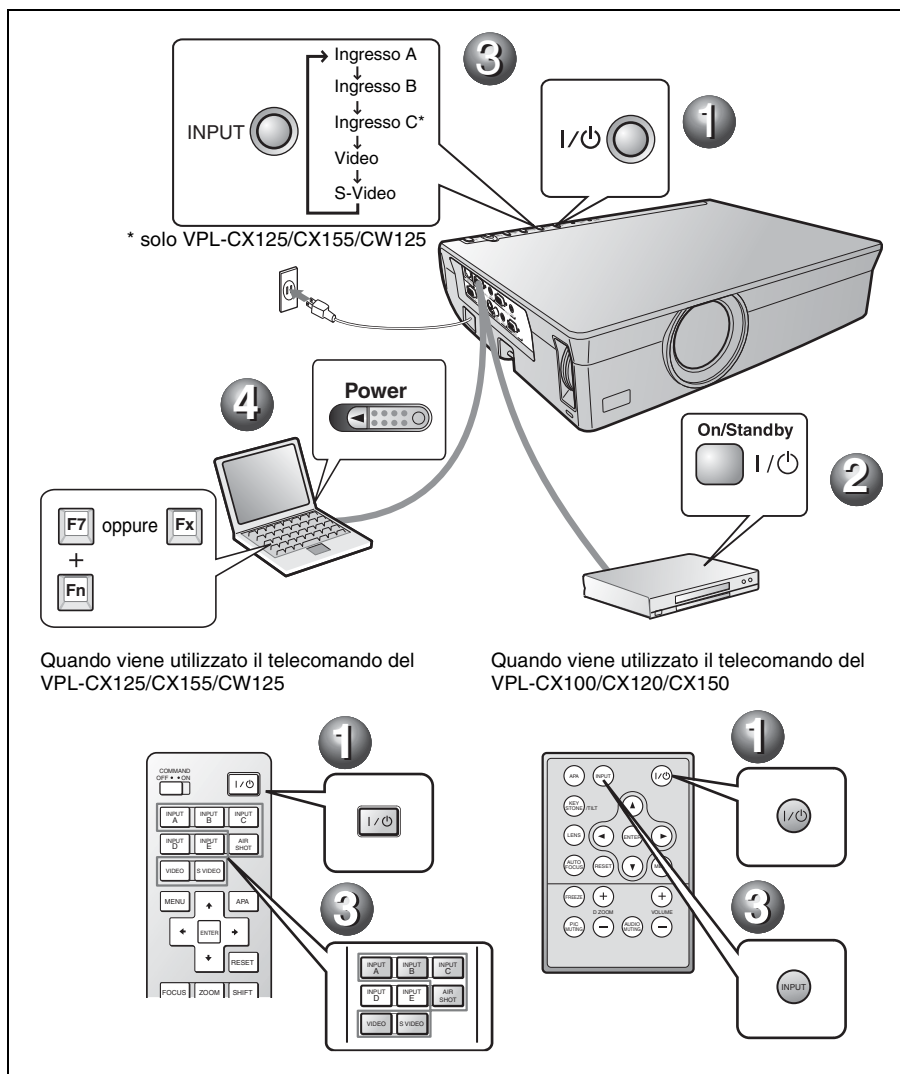
③ Cavo componente (HD D-sub a 15 pin (maschio) ⟷ spina fono × 3) (non in dotazione)

④ Cavo di collegamento audio stereo (minipresa stereo-tipo fono, non in dotazione) (Usare un cavo a resistenza nulla.)

Proiezione

❶ **Premere il tasto I/⏻ (acceso/attesa).**

❷ **Accendere l'apparecchiatura collegata al proiettore.**

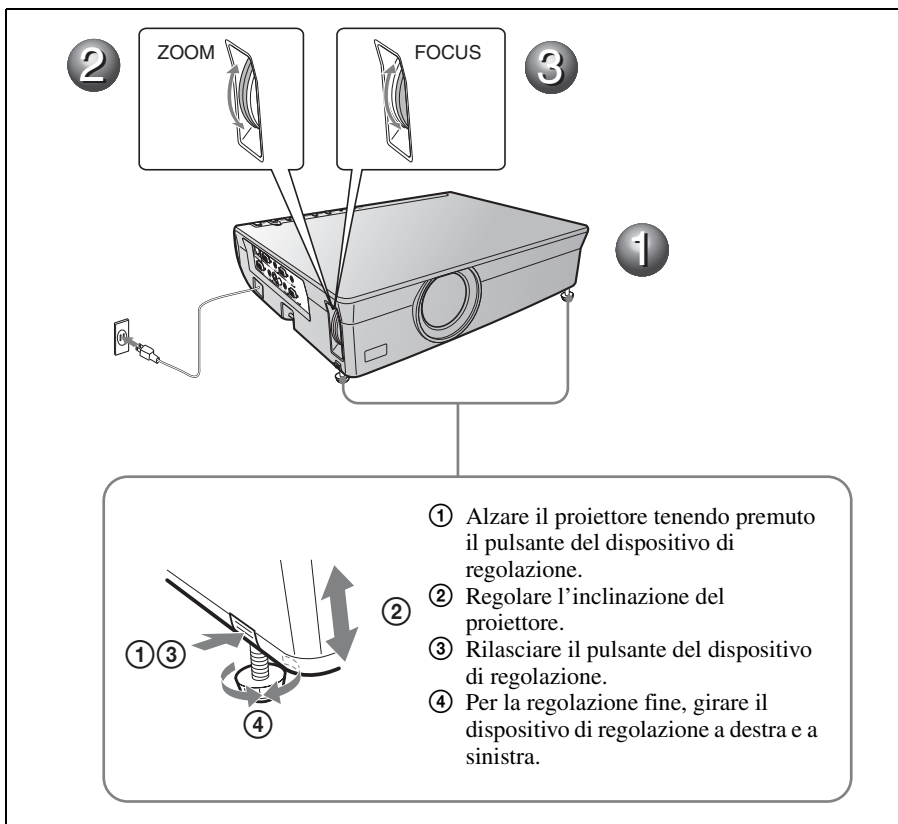
❸ **Premere il tasto INPUT sul telecomando o sul pannello di controllo per selezionare la sorgente d'ingresso.**

❹ **Quando il computer è collegato, impostarlo in modo che trasmetta il segnale solo al monitor esterno.**

Regolazione del proiettore

❶ Regolare la posizione dell'immagine verso l'alto o basso.

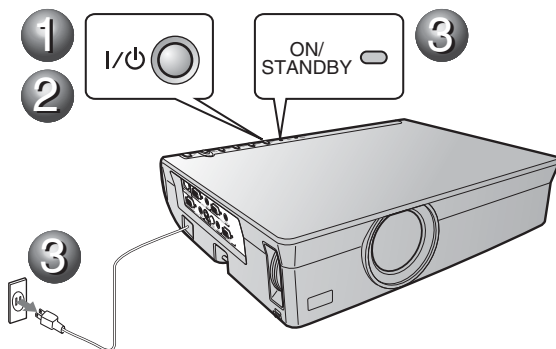
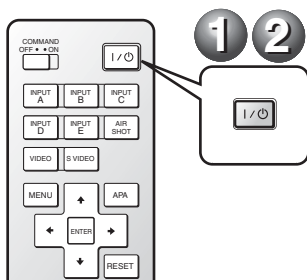
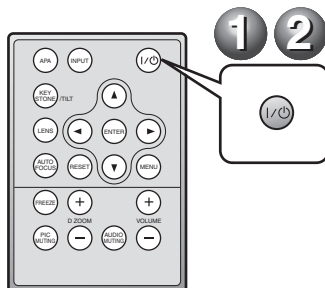
❷ Regolare le dimensioni dell'immagine.

❸ Regolare la messa a fuoco.

Il proiettore dispone del menu Immagine per selezionare il modo dell'immagine e del menu Segnale per selezionare la proporzione adatta all'immagine.

Spegnimento dell’alimentazione

❶ **Premere il tasto I/⏻ (acceso/attesa).**

❷ **Quando appare un messaggio, premere di nuovo il tasto I/⏻ (acceso/ attesa).**

❸ **Scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa di rete dopo che la ventola si è fermata e che la spia ON/STANDBY si è accesa in rosso.**

Sostituzione della lampada

La lampada che costituisce la sorgente di luce è un prodotto consumabile. Sostituirla con una lampada nuova nei casi che seguono.

- Quando la lampada è bruciata o poco luminosa.
- Quando sullo schermo appare "Sostituire la lampada e pulire il filtro.".
- La spia LAMP/COVER lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 3 lampeggi)

La vita utile della lampada varia in funzione delle condizioni d'uso.
Come lampada di ricambio, usare la lampada per proiettore LMP-C200.
L'uso di lampade diverse dalla LMP-C200 potrebbe guastare il proiettore.

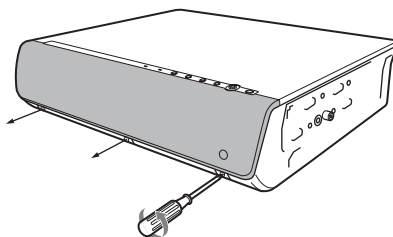
Nota

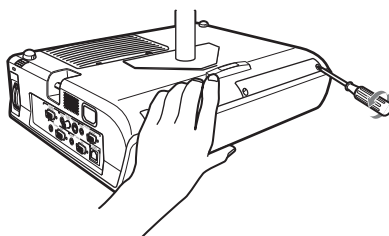
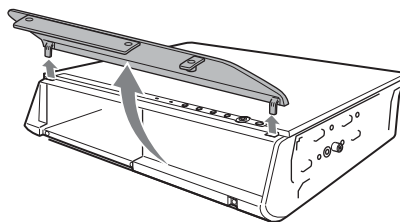
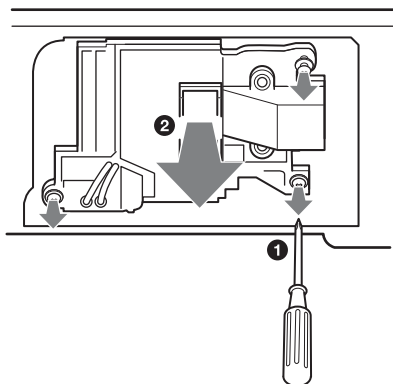
Se la lampada si rompe, rivolgersi a personale Sony qualificato per la sostituzione della lampada e la verifica dell'interno.

1 Spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa c.a.

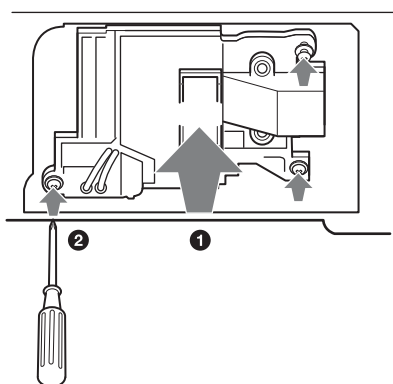
Nota

Prima di sostituire la lampada dopo aver usato il proiettore, attendere almeno un'ora che si raffreddi.

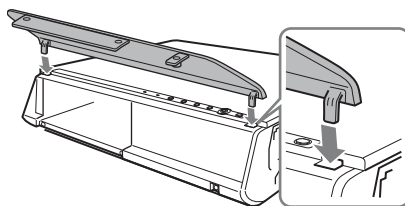
2 Aprire il coperchio della lampada svitando le tre viti con un cacciavite con punta a croce.

Nota

Se il proiettore è montato sul soffitto, sostenere il coperchio della lampada in modo che non cada quando si tolgono le viti.

3 Mettere le dita sotto il coperchio della lampada e smontarlo sollevandolo.

4 Allentare le tre viti sull'unità della lampada con un cacciavite con punta a croce (❶), afferrare la manopola (❷), quindi tirare fuori l'unità della lampada.

Nota

Non inserire oggetti metallici, infiammabili, ecc. nel vano di sostituzione della lampada.

5 Inserire completamente la nuova lampada finché è saldamente in posizione (❶). Serrare le tre viti (❷).

Note

- Prestare attenzione a non toccare la superficie di vetro della lampada.
- L'alimentazione non si accenderà se la lampada non è fissata correttamente.

6 Rimontare il coperchio della lampada nella posizione originale, quindi serrare le tre viti usando il cacciavite con punta a croce.

Nota

Aver cura di montare saldamente il coperchio della lampada come era in origine. Diversamente non sarà possibile accendere il proiettore.

7 Collegare il cavo di alimentazione.
La spia ON/STANDBY si illumina in rosso.

8 Premere il tasto I/⏻ per accendere il proiettore.

9 Premere il tasto MENU, quindi selezionare il menu Impostazione.

10 Selezionare "Reimposta timer lampada", quindi premere il tasto ENTER.

11 Selezionare "Execute" con il tasto ▼, quindi premere il tasto ENTER.

Il timer della lampada è inizializzato a 0 e nella schermata di menu viene visualizzato "Cambiare la lampada e pulire il filtro?".

Cambiare la lampada e pulire il filtro?
Sì: ⬆ No: ⬇

Fare riferimento a "Pulizia del filtro dell'aria".

12 Selezionare "Sì" con il tasto ▲.

Nello schermo del menu viene visualizzato "Timer lampada reimpostato!".

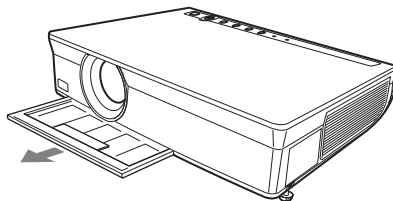
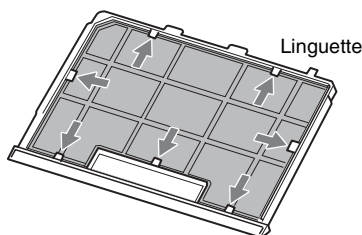
Nota

Per cancellare un messaggio, premere un tasto qualsiasi sul pannello di controllo del proiettore o sul telecomando.

Pulizia del filtro dell'aria

Il filtro dell'aria deve essere pulito ogni volta che si sostituisce la lampada.
Smontare il filtro dell'aria, quindi togliere la polvere con un aspirapolvere.
Il tempo necessario per pulire il filtro dell'aria dipende dall'ambiente o dall'uso del proiettore.

1 Spegnere l'alimentazione e scollegare il cavo di alimentazione.

2 Smontare il coperchio del filtro dell'aria.

3 Liberare il filtro dell'aria da ciascuna delle linguette (7 posizioni) sul coperchio del filtro dell'aria.

4 Pulire il filtro dell'aria con un aspirapolvere.

5 Montare il filtro in modo che si inserisca in ciascuna delle linguette (7 posizioni) sul relativo coperchio.

Nota

La parte anteriore del filtro è diversa dalla parte posteriore. Montare il filtro dell'aria con il lato della griglia verso l'alto, come illustrato.

6 Rimontare il coperchio del filtro dell'aria.

Note

- Se non è possibile togliere la polvere dal filtro dell'aria, sostituirlo con un filtro nuovo. Per dettagli sul nuovo filtro dell'aria, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Montare saldamente il coperchio del filtro dell'aria, poiché l'accensione non sarà possibile se non fosse inserito correttamente.
- Per cancellare un messaggio, premere un tasto qualsiasi sul pannello di controllo del proiettore o sul telecomando.

Risoluzione dei problemi

Se il proiettore funziona in modo irregolare, provare a diagnosticare e correggere il problema con le seguenti istruzioni. Se il problema permane, rivolgersi a personale Sony qualificato.
Per dettagli sui sintomi, vedere le istruzioni d'uso contenute nel CD-ROM.

Alimentazione

Sintomo	Causa e rimedio
L'alimentazione non si accende.	• L'alimentazione è stata spenta e accesa poco dopo con il tasto I/⏻. ➔ Attendere circa 60 secondi prima di accendere l'alimentazione. • Il coperchio della lampada è staccato. ➔ Chiudere completamente il coperchio della lampada. • Il coperchio del filtro dell'aria è staccato. ➔ Chiudere saldamente il coperchio del filtro dell'aria.

Immagine

Sintomo	Causa e rimedio
Nessuna immagine.	• Un cavo è scollegato oppure i collegamenti sono errati. ➔ Verificare che siano stati effettuati i collegamenti corretti. • La selezione dell'ingresso è errata. ➔ Selezionare correttamente la sorgente di ingresso con il tasto INPUT. • L'immagine è disattivata. ➔ Premere il tasto PIC MUTING per annullare la disattivazione dell'immagine. • Il segnale dal computer non è stato impostato per la visualizzazione su monitor esterno, oppure è stato impostato per la visualizzazione sia su un monitor esterno, sia sul monitor LCD del computer. ➔ Impostare il segnale del computer per la visualizzazione solo su un monitor esterno. ➔ In funzione del tipo di computer utilizzato, per esempio un notebook, o un modello con LCD incorporato, potrebbe essere necessario impostare il computer in modo che visualizzi sul proiettore premendo dei tasti particolari o cambiando le impostazioni del computer. Per i dettagli, fare riferimento alle istruzioni d'uso fornite con il computer.
L'immagine è rumorosa.	• Potrebbe presentarsi del rumore sullo sfondo in funzione del rapporto fra il numero di punti del segnale in ingresso sul connettore e il numero di pixel del pannello LCD. ➔ Cambiare l'impostazione del desktop del computer collegato.
L'immagine non è nitida.	• L'immagine è sfocata. ➔ Regolare la messa a fuoco. • Si è depositata della condensazione sull'obiettivo. ➔ Lasciare il proiettore acceso per circa due ore.

Sintomo	Causa e rimedio
L'immagine si estende oltre lo schermo.	• È stato premuto il tasto APA nonostante ci siano dei bordi neri intorno all'immagine. → Visualizzare sullo schermo l'immagine completa e premere il tasto APA. → Regolare correttamente "Spostamento" nel menu Segnale.
L'immagine sfarfalla.	• "Fase punto" nel menu Segnale non è stato regolato correttamente. → Regolare correttamente "Fase punto" nel menu Segnale.

Spie

Messaggio	Significato e rimedio
La spia LAMP/COVER lampeggia in arancione. (Frequenza di ripetizione di 2 lampeggi)	• Il coperchio della lampada oppure il coperchio del filtro dell'aria è staccato. → Montare saldamente il coperchio.
La spia LAMP/COVER lampeggia in arancione. (Frequenza di ripetizione di 3 lampeggi)	• La lampada ha raggiunto il termine della vita utile. → Sostituire la lampada. • La lampada ha raggiunto una temperatura elevata. → Attendere 60 secondi che la lampada si raffreddi, quindi riaccendere l'alimentazione.
ON/STANDBY lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 2 lampeggi)	• La temperatura interna è insolitamente elevata. → Verificare che le prese di ventilazione non siano ostruite. • Il proiettore è utilizzato a una quota elevata. → Verificare che "Modo quota el." nel menu Impostazione sia impostato su "Inser.".
ON/STANDBY lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 4 lampeggi)	La ventola è guasta. → Rivolgersi a personale Sony qualificato.
ON/STANDBY lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 6 lampeggi)	Scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa a muro dopo che la spia ON/STANDBY si è spenta, inserire il cavo di alimentazione nella presa a muro, quindi riaccendere il proiettore. Se la spia ON/STANDBY lampeggia in rosso e il problema permane, si è verificato un guasto nel circuito elettrico. → Rivolgersi a personale Sony qualificato.

Caratteristiche tecniche

Sistema di proiezione
3 pannelli LCD, 1 obiettivo, sistema ad otturatore a colore primario

Panello LCD VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155: pannello XGA da 0,79 pollici (20,1 mm), 2.359.296 pixel (1024 × 768 × 3)
VPL-CW125: pannello WXGA da 0,74 pollici (18,8 mm), 3.280.000 pixel (1366 × 800 × 3)

Obiettivo obiettivo zoom da 1,2 ingrandimenti
f da 23,5 a 28,2 mm/ F da 1,75 a 2,17

Lampada lampada ad altissima pressione di 200 W

Dimensione dell'immagine proiettata
da 40 a 300 pollici (1.016 a 7.620 mm) (misurata diagonalmente)

Flusso luminoso
VPL-CX150/CX155: 3500 lm
VPL-CX120/CX125/CW125: 3000 lm
VPL-CX100: 2700 lm
(Quando modo lampada è impostato su "Alto".)

Distanza di proiezione (quando sistemato sul pavimento.)

VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155:
(Quando il segnale di ingresso è XGA)
40 pollici (1.016 mm): da 1,2 a 1,4 m
60 pollici (1.524 mm): da 1,8 a 2,1 m
80 pollici (2.032 mm): da 2,4 a 2,8 m
100 pollici (2.540 mm): da 3,0 a 3,5 m
120 pollici (3.048 mm): da 3,6 a 4,1 m
150 pollici (3.810 mm): da 4,5 a 5,2 m
180 pollici (4.572 mm): da 5,4 a 6,2 m
200 pollici (5.080 mm): da 6,0 a 6,9 m
250 pollici (6.350 mm): da 7,5 a 8,7 m
300 pollici (7.620 mm): da 9,1 a 10,4 m

VPL-CW125:
(Quando "Formato" nel sul menu Segnale è impostato su "Pieno 2")
40 pollici (1.016 mm): da 1,3 a 1,5 m
60 pollici (1.524 mm): da 1,9 a 2,2 m
80 pollici (2.032 mm): da 2,6 a 3,0 m
100 pollici (2.540 mm): da 3,2 a 3,7 m
120 pollici (3.048 mm): da 3,9 a 4,5 m
150 pollici (3.810 mm): da 4,9 a 5,6 m
180 pollici (4.572 mm): da 5,9 a 6,7 m
200 pollici (5.080 mm): da 6,5 a 7,5 m
250 pollici (6.350 mm): da 8,1 a 9,4 m
300 pollici (7.620 mm): da 9,8 a 11,3 m

Potrebbe esserci una piccola differenza fra il valore effettivo e il valore di progetto precedentemente indicato.

Sistema colore
sistema NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60, commutato automaticamente/manualmente

Segnali da computer compatibili
fH: da 19 a 92 kHz
fV: da 48 a 92 Hz
(massima risoluzione del segnale di ingresso: SXGA 1400 × 1050 fV: 60 Hz)

Segnali video compatibili
15 k RGB/50/60 Hz Componenti, 50/60 Hz componente progressivo, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), video composito, video Y/C

Dimensioni 372 × 90 × 298 mm (l/a/p) (senza le parti sporgenti)

Massa circa 4,1 kg

Requisiti di alimentazione
VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155: da 100 a 240 V c.a., da 2,9 a 1,2 A, 50/60 Hz
VPL-CW125: da 100 a 240 V c.a., da 2,9 a 1,3 A, 50/60 Hz

Potenza assorbita
VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155:
Max. 285 W
in modo di attesa (standard): 7 W, in modo di attesa (bassa): 0,5 W
VPL-CW125: Max. 287 W
in modo di attesa (standard): 7 W, modo di in attesa (bassa): 0,5 W

Accessori forniti
Telecomando (1)
Pile formato AA (R6) (2) (VPL-CX125/CX155/CW125)
Pila al litio CR2025 (1) (VPL-CX100/CX120/CX150)
Coperchio dell'obiettivo (1)
Cavo HD D-sub a 15 pin (2 m) (1) (1-791-992-xx)
Cavo di alimentazione c.a. (1)
CD-ROM (Istruzioni d'uso, software applicativo) (1)
Guida rapida all'uso (1)
Normative di sicurezza (1)
Targhetta di sicurezza (1)

Realizzazione e caratteristiche tecniche soggette a modifica senza preavviso.

Nota

Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.

Accessori opzionali

Lampada del proiettore
LMP-C200 (ricambio)
Strumento di presentazione
RM-PJPK1

关于随机附带的手册

本机附带有下列手册和软件。
在 Macintosh 系统上，您只能阅读使用说明书。

手册

安全规则 （另行印刷的手册）

本手册记述了在操作和使用本投影机时您必须注意的重要注意事项和警告。

快速参考手册 （本手册）

本手册介绍进行所需的连接以后投影图像时的基本操作。

使用说明书 （在 CD-ROM 上）

本使用说明书记述了本投影机的设置和操作方法。

使用说明书用于网络 （在 CD-ROM 上）

本使用说明书记述了如何设置和操作网络发表。

软件 （在 CD-ROM 中）

Projector Station for Air Shot Version 2（Version 2.xx）（仅限于日语和英语）

这是一个用来从电脑向投影机传输数据用的应用程序软件。

关于快速参考手册

本快速参考手册介绍本机的连接方法和基本操作方法，并提供有关操作的注意事项和维护用信息。
有关操作的详细信息，请参见附带的 CD-ROM 上的使用说明书。
有关安全注意事项，请参见另行提供的“安全规则”。

本手册包含对 VPL-CX100、VPL-CX120、VPL-CX125、VPL-CX150、VPL-CX155 和 VPL-CW125 的介绍。请注意，主要使用 VPL-CX155 的图示进行说明。

使用 CD-ROM 手册

附带的 CD-ROM 中含有日语、英语、法语、德语、意大利语、西班牙语和汉语版本的使用说明书和 ReadMe 文件。首先请阅读 ReadMe 文件。

准备工作

若要阅读 CD-ROM 中的使用说明书，需要有 Adobe Acrobat Reader 5.0 或更高版本。如果您的电脑中未安装 Adobe Acrobat Reader，可以从 Adobe Systems 的网站免费下载 Acrobat Reader 软件。

要阅读使用说明书

使用说明书包含在附带的 CD-ROM 中。
将附带的 CD-ROM 插入电脑的 CD-ROM 驱动器，片刻后 CD-ROM 会自动启动。 选择您想要阅读的使用说明书。
根据电脑的不同，CD-ROM 可能不会自动启动。这种情况下，请按以下步骤打开使用说明书的文件：

（使用 Windows 时）

① 打开 “My Computer”。

② 右击 CD-ROM 图标并选择 “Explorer”。

③ 双击 “index.htm” 文件并选择您想要阅读的使用说明书。

（使用 Macintosh 时）

① 双击桌面上的 CD-ROM 图标。

② 双击 “index.htm” 文件并选择您想要阅读的使用说明书。

注

如果无法打开 “index.htm” 文件，在 “Operating_Instructions” 文件夹中双击您想要阅读的使用说明书。

关于商标

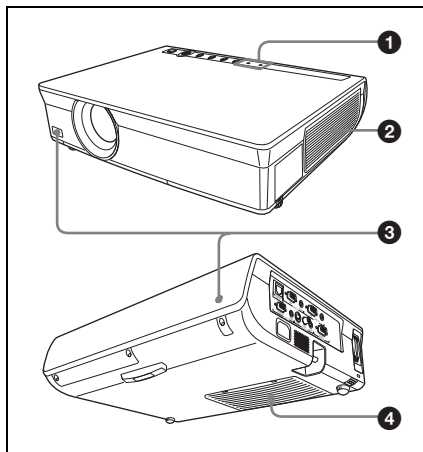
- Windows 是 Microsoft 公司在美国和/或其他国家（或地区）的注册商标。
- Macintosh 是 Apple Computer, Inc. 在美国和 / 或其他国家的注册商标。
- Adobe 和 Acrobat Reader 是 Adobe Systems Incorporated 在美国和 / 或其他国家的注册商标。

CS

使用须知

关于通风孔的注意事项

请勿堵塞通风孔（排气 / 进气）。如果通风孔堵塞，可能会造成内部蓄热并引起火灾或导致本机受损。
请在以下图示中查看通风孔的位置。

有关其他注意事项，请仔细阅读另行提供的“安全规则”。

❶ 指示灯

❷ 通风孔（排气）

❸ 遥控检测器

❹ 通风孔（进气）

投影

连接投影机

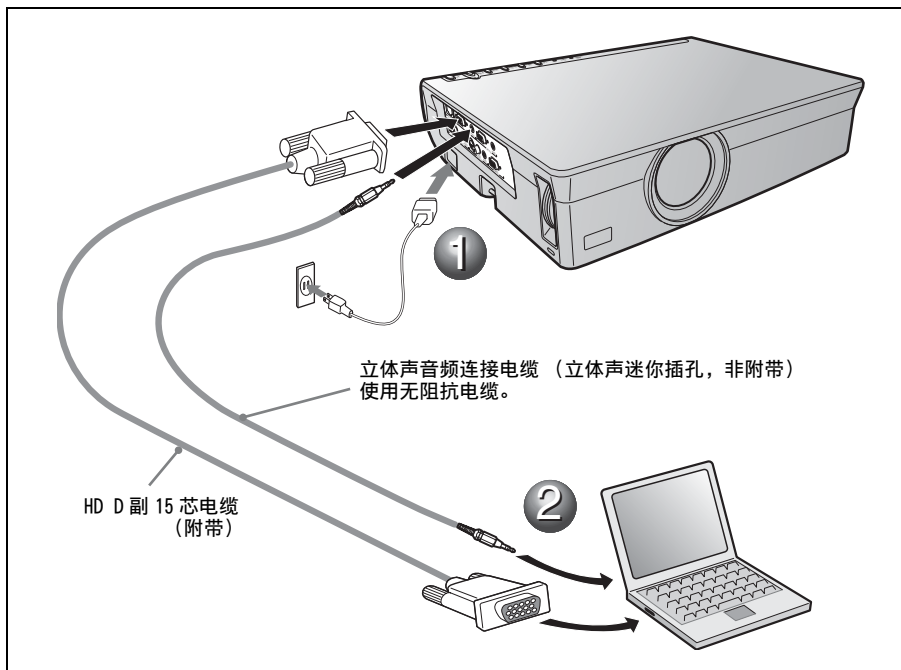
当连接投影机时，务必确认：

- 进行任何连接前关闭所有设备。
- 正确使用各连接用的电缆。
- 插紧电缆插头。在拔出电缆时，务必拔插头，不可拉扯电缆本身。

也请参见要连接的设备的使用说明书。

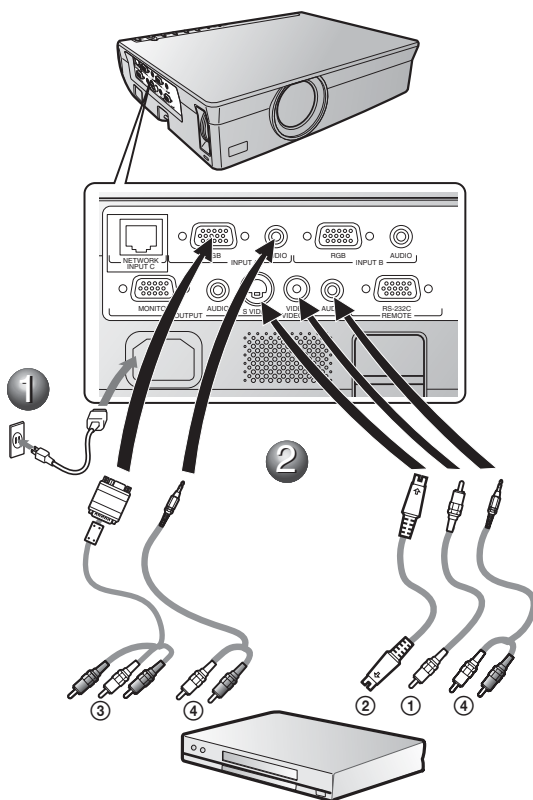
要连接电脑时

❶ **将交流电源线插入墙上电源插座。**

❷ **连接投影机至电脑。**

要连接 VCR/DVD 播放机时

❶ 将交流电源线插入墙上电源插座。

❷ 连接投影机至视频设备。

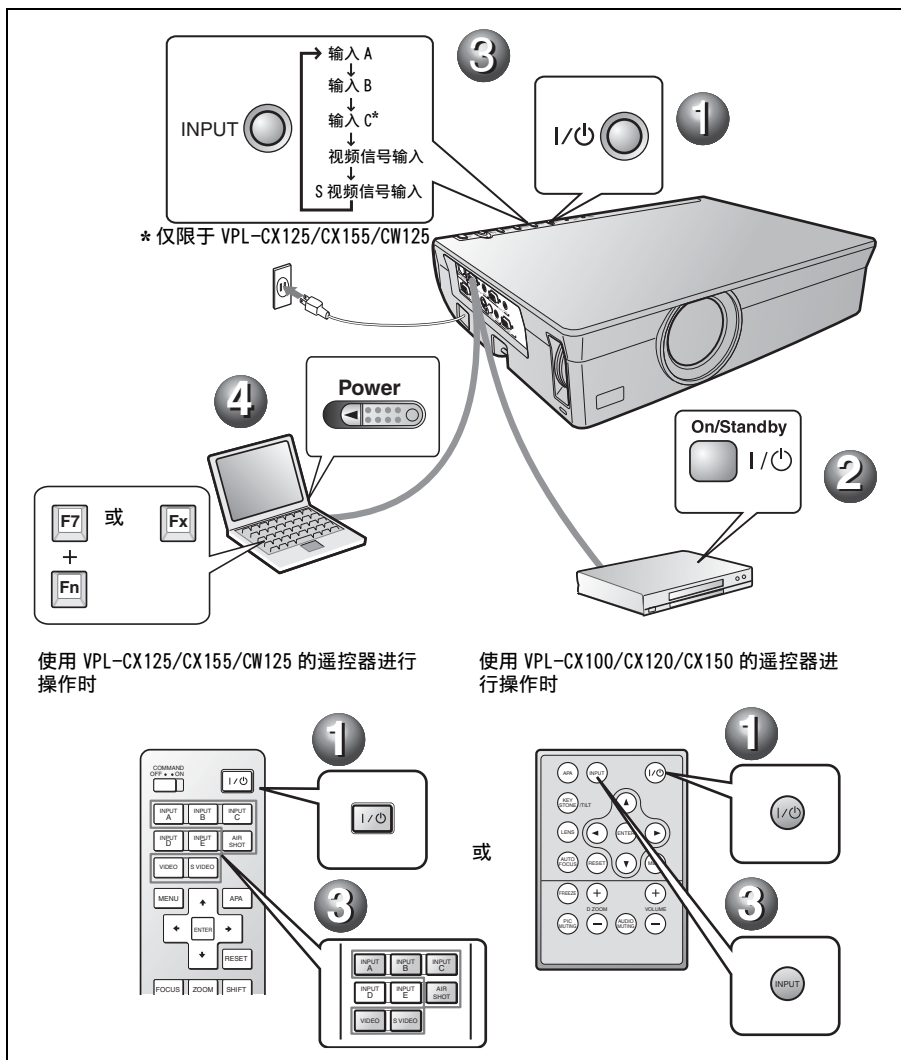
对于视频信号连接，可以采用以下三种连接方式：
要连接至 VCR/DVD 的视频输出连接器时：用电缆 ① 和 ④ 连接。
要连接至 VCR/DVD 的 S 视频输出连接器时：用电缆 ② 和 ④ 连接。
要连接至 VCR/DVD 的视频 GBR/ 分量连接器时：用电缆 ③ 和 ④ 连接。

① 复合视频 （唱机插头）电缆 （非附带）
② S 视频 （微型 DIN 4 芯）电缆 （非附带）
③ 分量 （HD D 副 15 芯 （雄） ⟷ 唱机插头× 3）电缆 （非附带）
④ 立体声音频连接电缆 （立体声迷你插孔－唱机型，非附带）
（使用无阻抗电缆。）

投影

❶ 按 I/⏻ （接通 / 待机）键。

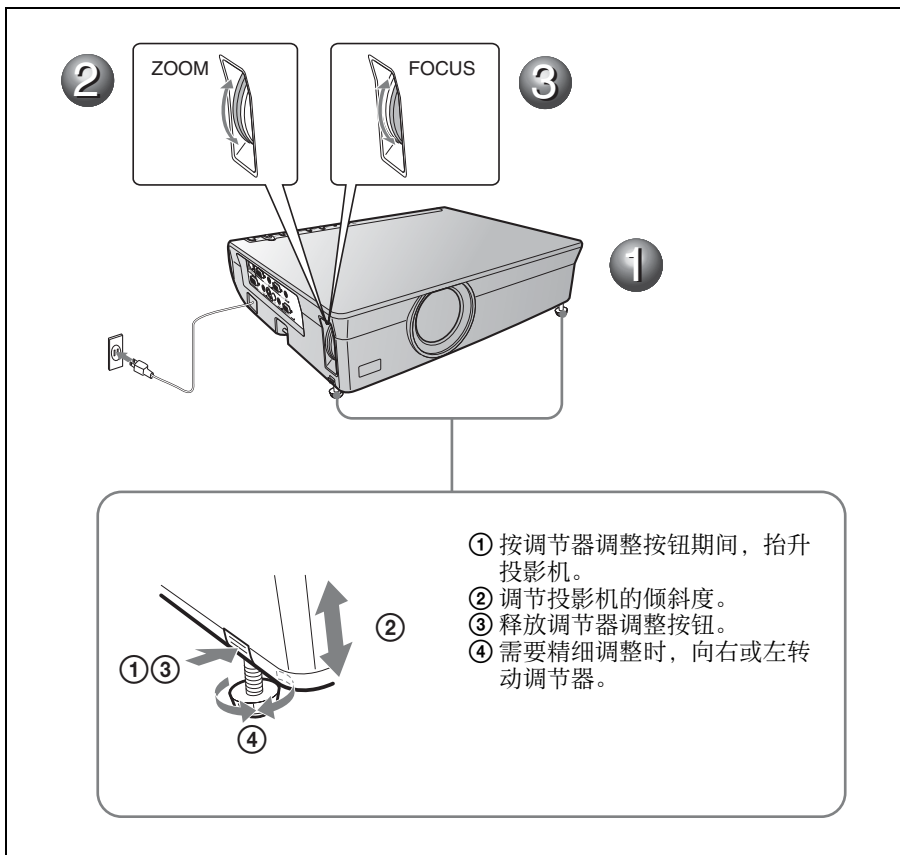
❷ 打开与投影机相连的设备。

❸ 按遥控器上或控制面板上的 INPUT 键选择输入源。

❹ 当连接电脑时，请将其设定为仅向外接显示器输出信号。

调整投影机

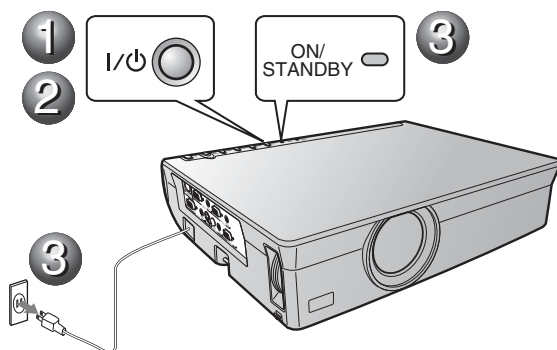
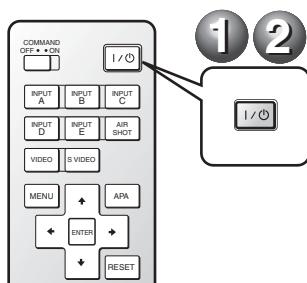
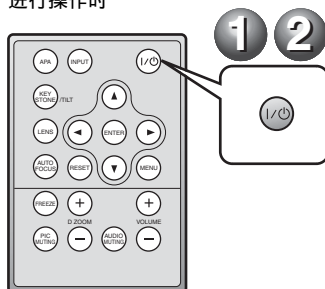
❶ **调整图像的上方或下方的位置。**

❷ **调整图像尺寸。**

❸ **调整图像焦距。**
本投影机装备有用来选择图像模式的图像设定菜单和用来选择适当的图像纵横比的信号设定菜单。

关闭电源

❶ 按 I/⏻（接通 / 待机）键。

❷ 当出现信息时，再次按 I/⏻（接通 / 待机）键。

❸ 在冷却扇停止运转且ON/STANDBY指示灯点亮呈红色后，从墙上电源插座拔下交流电源线。

更换投影灯

光源所使用的投影灯是消耗品。下述情况下请更换新的投影灯。
• 投影灯烧坏或变暗时
• 屏幕上出现 “请更换投影灯并清洁滤网 .”。
• LAMP/COVER 指示灯以红色闪烁。(以 3 次闪烁为一个循环)

投影灯的寿命根据使用条件不同而不同。
请用 LMP-C200 投影机用投影灯进行更换。
使用 LMP-C200 以外的其它投影灯可能造成投影机损坏。

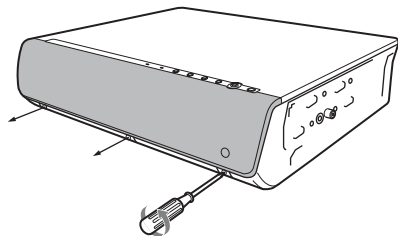
注

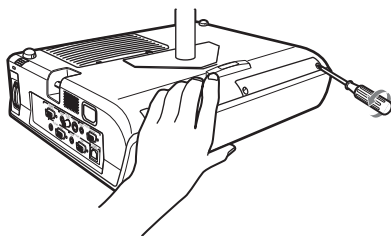
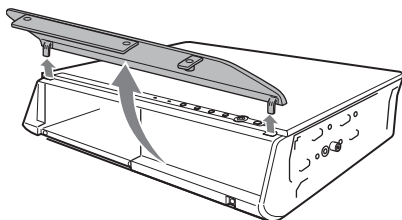
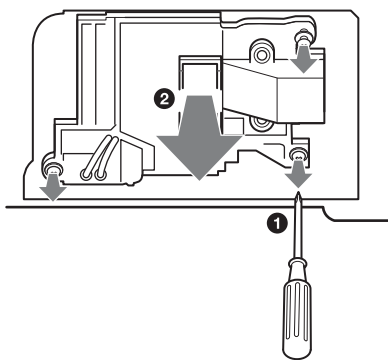
如果投影灯损坏，请向 Sony 专业技术人员咨询更换投影灯及内部检查的方法。

1 关闭投影机电源并从交流电源插座拔下交流电源线。

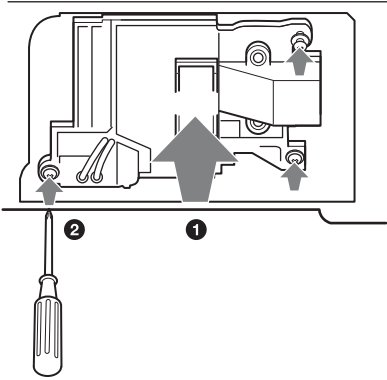
注

在使用投影机后更换投影灯时，请至少等候 1 个小时让投影灯冷却。

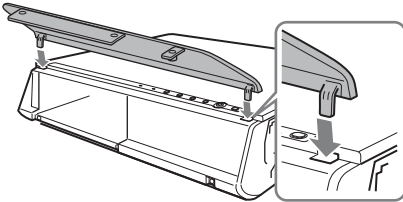
2 用十字螺丝刀拧松三个螺丝，打开投影灯盖。

注

如果对悬挂在天花板上的投影机进行操作，拧松螺丝时请握住投影灯盖，以防止其落下。

3 把手指放到投影灯盖下将其拉出，拆下投影灯盖。

4 用十字螺丝刀 (❶) 拧松投影灯单元上的三个螺丝，握住突起部 (❷)，然后将投影灯单元拉出。

注

不要让任何金属物品、易燃物品等落入投影灯更换插槽内。

5 将新的投影灯完全插入，使其固定到位置（❶）。拧紧螺丝（❷）。

注

- 小心不要触摸投影灯的玻璃表面。
- 如果投影灯没有完全固定好，将无法接通电源。

6 将投影灯盖放回原位并用十字螺丝刀拧紧三个螺丝。

注

务必关严投影灯盖使其恢复原状。否则，无法接通投影机的电源。

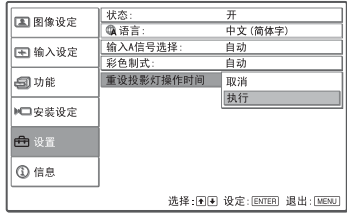
7 连接电源线。
ON/STANDBY 指示灯点亮呈红色。

8 按 I/⏻ 键接通投影机的电源。

9 按 MENU 键，然后选择设置菜单。

10 选择"重设投影灯操作时间"，然后按 ENTER 键。

图像设定	状态：	开
输入设定	语言：	中文（简体字）
功能	输入A信号选择：	自动
安装设定	彩色制式：	自动
设置	重设投影灯操作时间	取消 / 执行
信息		

选择：⬆⬇ 设定：ENTER 退出：MENU

11 用 ▼ 键选择"执行"，然后按 ENTER 键。
投影灯操作时间被初始化为 0，并在菜单画面上显示"更换投影灯并清洁滤网吗？"。

请参阅"清洁空气滤网"。

12 用 ▲ 键选择"是"。
在菜单画面上显示"投影灯操作时间重设完毕！"。

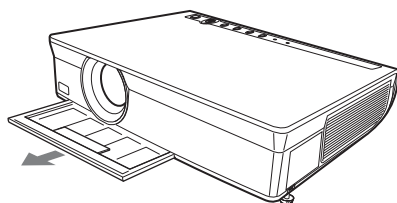
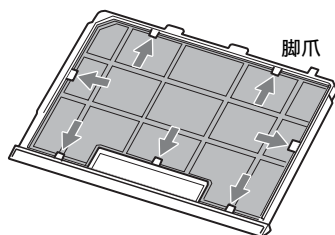
注

要删除信息时，按投影机控制面板或遥控器上的任意键。

清洁空气滤网

请在每次更换投影灯时清洁空气滤网。
拆下空气滤网，然后用真空吸尘器清除灰尘。
清洁空气滤网所需的时间根据投影机的使用环境或使用方法而异。

1 关闭电源，拔下电源线。

2 拆下空气滤网盖。

3 从空气滤网盖上的每个脚爪（7处）拆下空气滤网。

4 用真空吸尘器清洁空气滤网。

5 将空气滤网安装固定在空气滤网盖上的每个脚爪内（7 处）。

注

空气滤网有前后之分。如图所示，将空气滤网的网格侧朝上安装。

6 更换空气滤网盖。

注

- 如果无法除掉空气滤网上的灰尘，请更换新的空气滤网。
  有关新的空气滤网的详情，请与 Sony 专业技术人员咨询。
- 务必牢固安装空气滤网盖；如果没有牢固插入空气滤网盖，可能无法接通电源。
- 要删除信息时，按投影机控制面板或遥控器上的任意键。

故障排除

如果发现投影机工作不正常，请使用下述说明尝试诊断并解决问题。 如果问题依然存在，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
有关症状的详细信息，请参见 CD-ROM 上的使用说明书。

电源

症状	原因和对策
无法接通电源。	• 用 I/⏻ 键以很短的间隔关闭和接通了电源。 ➔ 接通电源之前请等候约 60 秒钟。 • 投影灯盖松脱。 ➔ 关严投影灯盖。 • 空气滤网盖脱落。 ➔ 关严空气滤网盖。

图像

症状	原因和对策
无图像。	• 电缆被拔下或未正确连接电缆。 ➔ 查看是否已经正确地连接了电缆。 • 输入选择不正确。 ➔ 使用 INPUT 键选择正确的输入信号源。 • 图像被消除。 ➔ 按 PIC MUTING 键解除图像消除功能。 • 电脑信号未被设定为向外部显示器输出，或被设定为同时向外部显示器和电脑 LCD 显示器输出。 ➔ 将电脑的信号设定为仅向外部显示器输出。 ➔ 根据电脑类型的不同，例如笔记本型或一体型 LCD，可能必须通过按某个键或改变电脑设定来切换电脑的输出，以便向投影机输出信号。 有关详细信息，请参见随电脑附带的电脑使用说明书。
图像有杂讯。	• 根据由连接器输入的点数和 LCD 面板上的像素数的组合，背景上可能会出现杂讯。 ➔ 改变所连接的电脑的桌面图案。
图像不清晰。	• 图像未聚焦。 ➔ 调整图像焦距。 • 镜头上有水气凝聚。 ➔ 接通投影机电源并放置约 2 小时。
影像超出屏幕。	• 尽管按下 APA 键，影像周围仍有黑边。 ➔ 在屏幕上显示完整影像并按 APA 键。 ➔ 正确调整信号设定菜单上的 “移位”。
图像闪动。	• 没有正确地调整信号设定菜单上的 “点相位”。 ➔ 正确调整信号设定菜单上的 “点相位”。

指示灯

信息	含义和对策
LAMP/COVER 指示灯以橙色闪烁。（以 2 次闪烁为一个循环）	• 投影灯盖或空气滤网盖脱落。 → 将盖装严。
LAMP/COVER 指示灯以橙色闪烁。（以 3 次闪烁为一个循环）	• 投影灯达到了使用寿命。 → 更换投影灯。 • 投影灯的温度过高。 → 请等候 60 秒钟让投影灯冷却，然后再次接通电源。
ON/STANDBY 指示灯以红色闪烁。（以 2 次闪烁为一个循环）	• 内部温度异常升高。 → 检查通风孔是否堵塞。 • 在高海拔地区使用投影机。 → 请务必确认设置菜单上的“高海拔高度模式”设定为“开”。
ON/STANDBY 指示灯以红色闪烁。（以 4 次闪烁为一个循环）	冷却扇损坏。 → 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
ON/STANDBY 指示灯以红色闪烁。（以 6 次闪烁为一个循环）	在 ON/STANDBY 指示灯熄灭后，从墙上电源插座拔下交流电源线，将电源线插进墙上电源插座，然后重新接通投影机电源。如果 ON/STANDBY 指示灯以红色闪烁并且该状态持续，说明电气系统有故障。 → 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。

规格

投影系统　3 LCD （液晶屏幕），1 镜头，原色快门系统

LCD （液晶屏幕）
VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155：0.79 英寸（20.1 毫米）XGA 面板，2359296 像素（1024 × 768 × 3）
VPL-CW125：0.74 英寸（18.8 毫米）WXGA 面板，3280000 像素（1366 × 800 × 3）

镜头　1.2 倍变焦镜头
f23.5 至 28.2 mm ／ F1.75 至 2.17

投影灯　200 W 超高压投影灯泡

投影图像的尺寸
40 至 300 英寸 （1016 至 7620 毫米）（ 对角线测量 ）

光输出　VPL-CX150/CX155：3500 流明
VPL-CX120/CX125/CW125：3000 流明
VPL-CX100：2700 流明
（当投影灯模式设置为 “高” 时。）

投射距离 （安装在地板上时。）

VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155:
(当输入 XGA 信号时)
40 英寸 （1016 毫米）：1.2 至 1.4 m
60 英寸 （1524 毫米）：1.8 至 2.1 m
80 英寸 （2032 毫米）：2.4 至 2.8 m
100 英寸 （2540 毫米）：3.0 至 3.5 m
120 英寸 （3048 毫米）：3.6 至 4.1 m
150 英寸 （3810 毫米）：4.5 至 5.2 m
180 英寸 （4572 毫米）：5.4 至 6.2 m
200 英寸 （5080 毫米）：6.0 至 6.9 m
250 英寸 （6350 毫米）：7.5 至 8.7 m
300 英寸 （7620 毫米）：9.1 至 10.4 m

VPL-CW125:
（当信号设定菜单中的 “纵横比” 设置为 “全屏幕 2” 时）
40 英寸 （1016 毫米）：1.3 至 1.5 m
60 英寸 1524 毫米）：1.9 至 2.2 m
80 英寸 （2032 毫米）：2.6 至 3.0 m
100 英寸 （2540 毫米）：3.2 至 3.7 m
120 英寸 （3048 毫米）：3.9 至 4.5 m
150 英寸 （3810 毫米）：4.9 至 5.6 m
180 英寸 （4572 毫米）：5.9 至 6.7 m
200 英寸 （5080 毫米）：6.5 至 7.5 m
250 英寸 （6350 毫米）：8.1 至 9.4 m
300 英寸 （7620 毫米）：9.8 至 11.3 m

实际值与上面显示的设计值之间可能微有差异。

彩色制式　NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60 系统，自动 / 手动切换

可接收的电脑信号
fH：19 至 92 kHz
fV：48 至 92 Hz
（最大输入信号分辨率：SXGA+1400 × 1050 fV：60Hz）

适用视频信号
15 k RGB/ 分量 50/60 Hz，顺序分量 50/60 Hz，DTV （480/60i，575/50i，480/60p，575/50p，720/60p，720/50p，1080/60i，1080/50i），复合视频，Y/C 视频

尺寸　372 × 90 × 298 (mm) (宽 / 高 / 深) (不包括突出部分)

质量　约 4.1 kg

电源要求　VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155：交流 100 至 240 V，2.9 至 1.2 A，50/60 Hz
VPL-CW125：交流 100 至 240 V，2.9 至 1.3 A，50/60 Hz

功耗　VPL-CX100/CX120/CX125/CX150/CX155：最大 285 W
待机状态时 （标准）：7 W，
待机状态时 （低）：0.5 W
VPL-CW125：最大 287 W
待机状态 （标准）：7 W
待机状态 （低）：0.5 W

随机附件	遥控器（1） AA（R6）尺寸电池（2） （VPL-CX125/CX155/CW125） 锂电池 CR2025（1） （VPL-CX100/CX120/CX150） 镜头盖（1） HD D 副 15 芯电缆（2 m）（1） （1-791-992-xx） 交流电源线（1） CD-ROM（使用说明书，应用程序软件）（1） 快速参考手册（1） 安全规则 (1) 安全标签（1）

设计和规格如有变更，恕不另行通知。

注

在使用前请始终确认本机运行正常。
无论保修期内外或基于任何理由，SONY 对任何损坏（包括但不限于）概不负责。由于本机故障造成的现有损失或预期利润损失，不进行退货或赔偿。

选购附件

投影灯	LMP-C200（更换用）
发表工具	RM-PJPK1